

防災講習会テキスト

平成24年11月18日

地域の防災まちづくり 自治連15ブロック内防災力向上事業

昭島市自治会連合会15ブロック地域合同防災訓練実行委員会

【平成24年度東京都地域の底力再生事業助成 対象事業】



目 次

第 1 章	東京を襲う地震と被害想定	1
第 2 章	防災・減災対策	17
第 3 章	避難所について	63
第 4 章	合同防災訓練報告	71
第 5 章	東京都地域の底力再生事業助成について	99
第 6 章	参考情報	103

第 1 章 東京を襲う地震と被害想定

1. 1 東京を襲う地震像

1 首都東京を襲う想定地震

東京は、これまでも関東大震災などの大地震により、大きな被害を受けている。

また、東日本大震災の経験から、遠隔地の地震であっても連鎖的被害が懸念される地震があることが明らかになった。我々は、こうした東京の抱えるリスクを十分認識し、これを正しく理解する必要がある。

(1) 東京の地勢的特徴

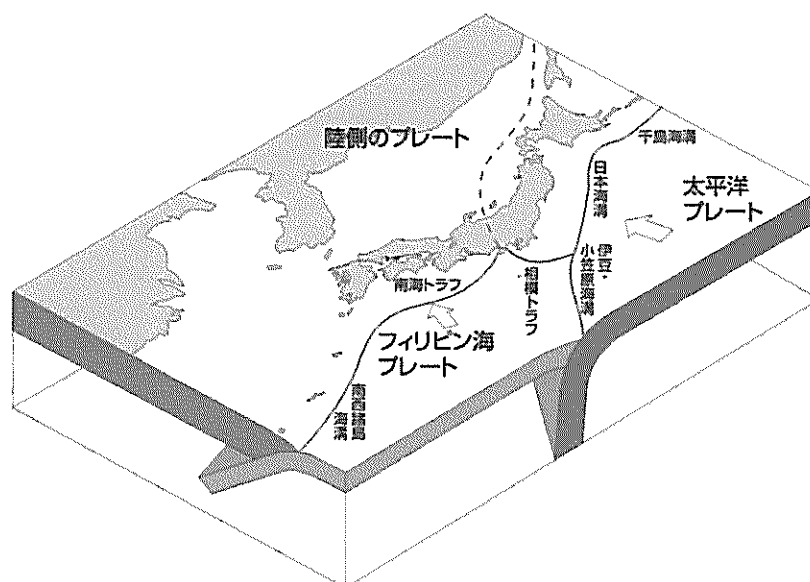
首都東京の直下では、陸側のプレートの下に、東から太平洋プレートが、南からフィリピン海プレートが沈み込んでいる。

また、これらのプレート境界では、プレート先端が跳ね上がることでM8クラスの海溝型地震が発生する可能性がある。

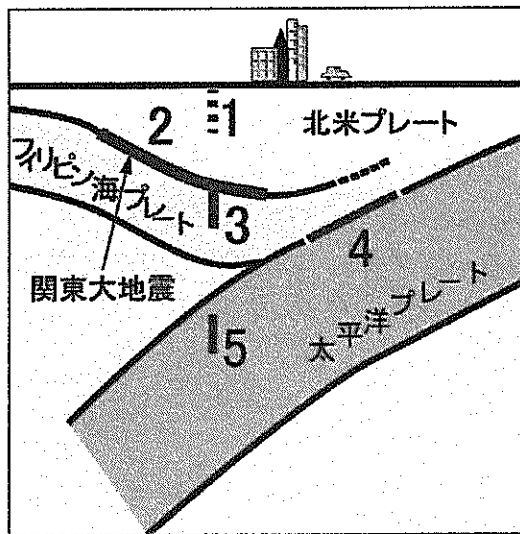
南関東では、200～300年間隔で発生する関東大震災クラスの地震の間に、M7クラスの直下型地震が数回発生すると想定されている。

さらに、東京は、都市機能を支える電力のほか、食糧や生活必需品など多くの物資を他の地域に依存しており、首都圏以外の地震によって、電力供給停止や物流の途絶などの連鎖的被害が引き起こされることも懸念される。

【日本周辺のプレートの概要（内閣府ホームページより）】



【首都直下のプレート概要（内閣府ホームページより）】



- 1：地殻内の浅い地震
- 2：フィリピン海プレートと北米プレートとの境界の地震
- 3：フィリピン海プレート内の地震
- 4：フィリピン海プレートと太平洋プレートとの境界の地震
- 5：太平洋プレート内の地震

(2) 具体的な地震例

＜首都直下地震＞

東京湾北部地震 (M7.3)、プレート境界多摩地震 (M7.3) など

首都直下地震とは、首都直下におけるプレート内やその境界で発生する地震のことです。国の長期評価では、南関東の直下地震について、その平均活動間隔は、23.8年とされている。

平成18年の都の被害想定では、東京湾北部を震源とした地震で、震度6強のゆれが、区部東部を中心に発生する。

建物被害は、区部の木造住宅密集地域を中心に発生する。

人的被害は、死亡は火災を原因とするものが多く、負傷は建物倒壊及び屋内収容物の転倒を原因とするものが多い。

道路や鉄道などの被害は、区部東部の震度6強のエリア内で発生する。ほとんどの鉄道は一時運行停止し、また緊急交通路の渋滞も発生することから、大量の帰宅困難者が発生するとともにターミナル駅に乘客等が集中し大きな混乱が生じると見込まれている。

ライフラインは、区部東部に被害が多く発生する。避難者は、発災直後よりもライフラインの停止などの影響の出る1日後にピークを迎える。さらに、エレベーターの閉じ込めが都内全域にわたり発生することが想定される。

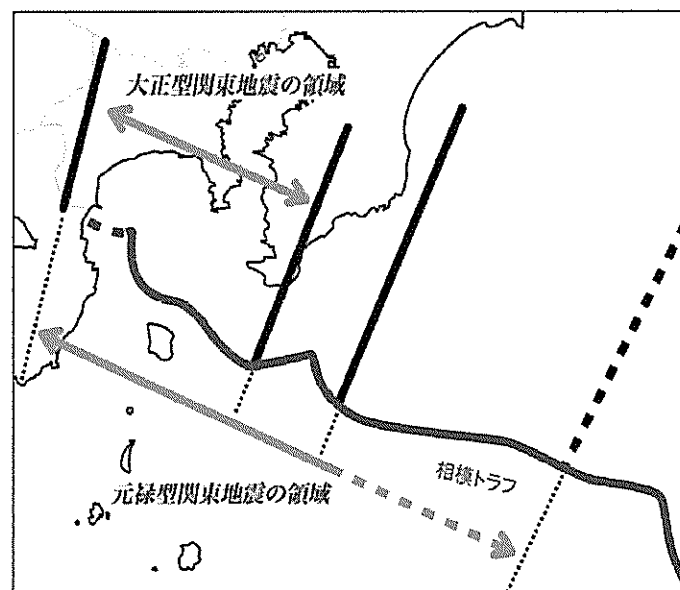
<海溝型地震>

大正型関東地震(M7.9)、元禄型関東地震(M8.1) など

海溝型地震として例示している関東地震とは、相模湾から房総半島南東部にかけての相模トラフ沿いに発生する地震で、主にフィリピン海プレートが、関東地方がのっている陸のプレートの下に沈み込むことに伴い、これら二つのプレートの境界付近が破壊される（ずれる）ことによって発生する。

この相模トラフに震源を持つ地震が発生した場合、平成3年の都の被害想定では、一部の区の谷筋の地域が、大きな地震加速度を受けると想定されている。東京湾岸では最大1.2m程度の津波が到達し、液状化が区部東部の地域などで発生すると想定されている。

【相模トラフの位置（文部科学省ホームページより）】



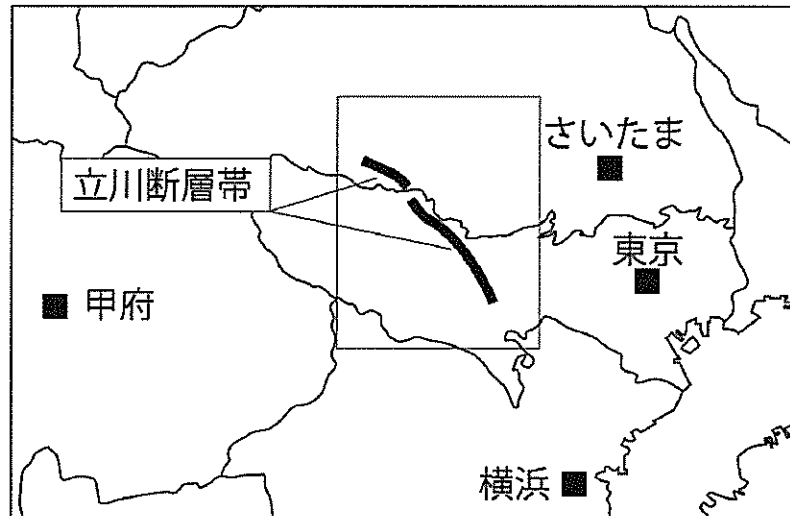
<活断層で起こる地震>

立川断層帯 (M7.4 程度) など

立川断層帯は、埼玉県入間郡名栗村から東京都青梅市、立川市を経て府中市に至る活断層帯である。この断層がずれることにより規模の大きな地震が発生するが、国の評価では平均活動間隔は、10,000～15,000 年程度とされている。東日本大震災による地殻変動により、国は、立川断層帯について「地震発生確率が高くなっている可能性がある」と公表したが、現在の発生確率は0.5～2%とされており、首都直下地震と比較するとその発生頻度はまれであると考えられる。

平成16年の国の被害想定によると、立川断層帯を震源とする地震が発生した場合、地震規模が大きく、埼玉県、東京都、神奈川県の大範囲で被害が発生すると想定されている。震度6強以上の強震度を受けるエリアに中規模の人口（20～30万人）を有する複数の都市を包含しており、揺れによる建物被害も多い。また、火災による被害の割合が高く、全建物被害の71%、全死者の54%を占めるものと想定されている。

【立川断層帯の位置 (文部科学省ホームページより)】



<連鎖的被害が懸念される(又は発生した)地震>

東海・東南海・南海連動地震、東北地方太平洋沖地震、新潟県中越沖地震など

東海・東南海・南海連動地震については、現在、国の南海トラフの巨大地震モデル検討会において、地震の規模について検証中であり、その結果によって、新たな被害想定が出される予定である。

また、東北地方太平洋沖地震では、長周期地震動などによる直接的被害に加え、電力の供給停止、放射性物質による影響、物流やサプライチェーンの断絶による経済活動の停滞などの連鎖的被害が発生している。

こうした地震による被害のリスクに加え、台風や高潮など他の災害が複合的に発生する可能性があり、あらゆる事態を想定した災害への備えを固め直す必要がある。

(3) これまでの震災と被害想定と比較

	これまでの主な地震災害		都の被害想定
想定地震・災害名等	東日本大震災 ※1	阪神・淡路大震災 ※2	首都直下地震 東京湾北部地震
	(H23.3.11 発生)	(H7.1.17 発生)	(H18.5 公表)
	M9.0 14時46分	M7.3 5時46分	M7.3 冬18時 風速15m/s
死者・行方不明者(人)	19,515	6,437	6,413
負傷者(人)	5,943	43,792	160,860
火災(件)	287	293	1,145
建物全壊被害(件)	119,879	104,906	471,586
最大避難者数(人)	450,000 超	300,000 超	3,990,231

※1 出典:「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(平成23年11月1日17:00:緊急災害対策本部発表資料)」、その他各省庁ホームページより

※2 出典:「阪神・淡路大震災について(確定報)(平成18年5月19日、消防庁)」より

これまでの震災と都の被害想定を比較してみると、首都直下地震は、東京都内のみの想定数字であるにもかかわらず、負傷者数や、火災件数、建物被害などの項目で、過去の震災と比べ大きな被害が想定されている。

2 震災への備え

都では、震災による被害の軽減のために、地域防災計画などにに基づき、救急搬送体制の強化、火災による延焼を防止するための延焼遮断帯の整備、橋梁、上下水道、建築物の耐震化促進など様々な対策を講じてきた。

また、東日本大震災の発生を受けて、平成 23 年 5 月に「東京緊急対策 2011」をとりまとめ、今回の震災で被害を受けた中小企業への金融支援や、震災時に拠点となる建築物の耐震化、学校の防災力の向上を図る取組などの対策を進めてきた。

震災による被害を減少させるためには、こうした対策の効果を踏まえ、有効な対策を一層推進していくことが必要である。

東京の抱えるリスクを直視した上で、災害への万全の体制を整えていく。

1. 2 東京都の新たな被害想定

～首都直下地震等による東京の被害想定～

○ 東日本大震災を踏まえ、現行の被害想定を見直し

- ◆ 客観的なデータや科学的な裏付けに基づき、より実態に即した被害想定へと全面的に見直し（地震モデル、火災の想定手法の改良）

再検証	【首都直下地震】	東京湾北部地震 (M7.3)	多摩直下地震 (M7.3)	首都直下地震防災・減災特別プロジェクトの研究成果を反映し、最新のモデルで検証
追加	【海溝型地震】	元禄型関東地震 (M8.2)		大規模海溝型地震の検証
追加	【活断層で発生する地震】	立川断層帯地震 (M7.4)		地下の浅い部分で発生する地震の検証

- ◆ フィリピン海プレート上面の深度が従来の想定より浅いという最新の知見を反映
⇒ 震源が浅くなるため、従来の想定より震度が大きくなる
- ◆ 津波による被害想定を実施
⇒ 過去の記録等で、都内に最も大きな津波をもたらしたとされる元禄関東地震（1703年）をモデルとして検証

○ 想定結果の特徴

- ◆ 最大震度7の地域が出るとともに、震度6強の地域が広範囲に
震度6強以上の範囲は、東京湾北部地震 区部の約7割
多摩直下地震 多摩の約4割
- ◆ 東京湾沿岸部の津波高は、満潮時で最大T.P.2. 61m（品川区）※地盤沈下を含む。（T.P. = 東京湾平均海面）
河川敷等で一部浸水のおそれがあるが、死者などの大きな被害は生じない
- ◆ 東京湾北部地震の死者が最大で約9,700人
区部木造住宅密集地域で、建物倒壊や焼失などによる大きな被害

◎今後の予定 被害想定の結果を踏まえ、東京都地域防災計画を修正（9月までに素案とりまとめ）

○ 被害の概要（冬の夕方18時・風速8m/秒）

		【首都直下地震】		【海溝型地震】		【活断層で発生する地震】	
		東京湾北部地震 (M7.3)	多摩直下地震 (M7.3)	元禄型関東地震 (M8.2)	立川断層帯地震 (M7.4)		
人的被害	死者	約 9,700 人	約 4,700 人	約 5,900 人	約 2,600 人		
	揺れ	約 5,600 人	約 3,400 人	約 3,500 人	約 1,500 人		
	火災	約 4,100 人	約 1,300 人	約 2,400 人	約 1,100 人		
	負傷者	約 147,600 人	約 101,100 人	約 108,300 人	約 31,700 人		
	(うち重傷者)	(約 21,900) 人	(約 10,900) 人	(約 12,900) 人	(約 4,700) 人		
	原因別						
物的被害	揺れ	約 129,900 人	約 96,500 人	約 98,500 人	約 27,800 人		
	火災	約 17,700 人	約 4,600 人	約 9,800 人	約 3,900 人		
	建物被害	約 304,300 棟	約 139,500 棟	約 184,600 棟	約 85,700 棟		
	揺れ	約 116,200 棟	約 75,700 棟	約 76,500 棟	約 35,400 棟		
	火災	約 188,100 棟	約 63,800 棟	約 108,100 棟	約 50,300 棟		
	避難者の発生(ピーク:1日後)	約 339万 人	約 276万 人	約 320万 人	約 101万 人		
帰宅困難者		約 517万 人					

II. 想定される被害

II-1. 被害想定的前提条件

1. 想定するシーン

時間帯によって人々の滞留特性は大きく異なるため、地震の発生時刻が変わると人的被害の発生する様相も変化する。

また、時間帯や季節によって火気器具等の使用状況が異なるため、火災の出火件数も変化すると考えられる。このため、本調査では、想定される被害が異なる3種類の特徴的なシーン（季節・時刻）を設定する。

図表 想定するシーン(季節・時刻)

シーン設定		想定される被害の特徴
基本シーン	①冬、朝5時	- 兵庫県南部地震と同じ発生時間帯 - 多くの人々が自宅で就寝中に被災するため、家屋倒壊による圧死者が発生する危険性が高い。 - オフィスや繁華街の屋内外滞留者や、鉄道・道路利用者は少ない。
	②冬、昼12時	- オフィス、繁華街、映画館、テーマパーク等に多数の滞留者が集中しており、店舗等の倒壊、落下物等による被害拡大の危険性が高い。 - 住宅内滞留者数は、1日の中で最も少なく、老朽木造家屋の倒壊による死者数はシーン①と比較して少ない。
	③冬、夕18時	- 火気器具利用が最も多いと考えられる時間帯で、これらを原因とする出火数が最も多くなるケース - オフィスや繁華街周辺、ターミナル駅では、帰宅、飲食のため多数の人が滞留 - ビル倒壊や落下物等により被災する危険性が高い。 - 鉄道、道路もほぼラッシュ時に近い状況で人的被害や交通機能支障による影響拡大の危険性が高い。

2. 想定対象項目

想定項目		想定内容
地震動		震度分布、長周期地震動、地震動継続時間
地盤		液状化危険度 (P_L 値) 急傾斜地崩壊危険箇所
津波		津波高 浸水深
建物		ゆれによる建物被害（全壊・半壊） 液状化による建物被害（全壊・半壊） 急傾斜地崩壊による建物被害（全壊・半壊） 火災による建物被害（出火、焼失） 津波による建物被害（全壊・半壊）
人的被害		建物全壊（ゆれ・液状化）による死傷者数 急傾斜地崩壊による死傷者数 火災被害による死傷者数 津波浸水による死者数 屋内収容物の転倒・落下等による負傷者数 ブロック塀等の転倒による死傷者数 落下物等による死傷者数
交通	道路	橋梁・橋脚の被害 細街路の閉塞 緊急交通路の渋滞区間延長
	鉄道	橋梁・高架橋橋脚の被害
	港湾・空港	港湾施設被害 ☆空港施設被害
ライフライン		ライフライン（電力、通信、ガス、上水道、下水道）の被害 ☆各ライフラインの復旧
避難者		発災後の避難者数
帰宅困難者		帰宅困難者の人数 主要なターミナル駅別人数
その他		エレベーター閉じ込め台数 災害時要援護者 自力脱出困難者 震災廃棄物 ☆地下街の被災 ☆長周期地震動による被害
☆複合災害シナリオ		

☆は定性的評価

II-2. 被害の全体像

1. 首都直下地震

図表 東京湾北部地震(M7.3)の主な被害

条件	時期及び時刻	冬の朝5時		冬の昼12時		冬の夕方18時	
	風速	4m/秒	8m/秒	4m/秒	8m/秒	4m/秒	8m/秒
人的被害	死者	7,613人	7,649人	6,228人	6,296人	9,413人	9,641人
	原因別						
	ゆれによる建物全壊	6,927人	6,927人	4,972人	4,972人	5,378人	5,378人
	急傾斜地崩壊による建物全壊	76人	76人	79人	79人	76人	76人
	地震火災	504人	540人	1,071人	1,138人	3,853人	4,081人
	ブロック塀	103人	103人	103人	103人	103人	103人
	落下物	4人	4人	4人	4人	4人	4人
	負傷者	138,657人	138,804人	134,562人	134,854人	146,596人	147,611人
	(重傷者)	18,032人	18,073人	18,186人	18,267人	21,609人	21,893人
	原因別						
	ゆれによる建物全壊	133,140人	133,140人	126,530人	126,530人	125,964人	125,964人
	急傾斜地崩壊による建物全壊	95人	95人	99人	99人	94人	94人
	地震火災	1,578人	1,725人	4,089人	4,381人	16,694人	17,709人
	ブロック塀	3,543人	3,543人	3,543人	3,543人	3,543人	3,543人
	落下物	301人	301人	301人	301人	301人	301人
物的被害	建物被害※2	134,974棟	136,297棟	163,604棟	166,906棟	293,153棟	304,300棟
	原因別						
	ゆれ液状化などによる建物全壊	116,224棟	116,224棟	116,224棟	116,224棟	116,224棟	116,224棟
	地震火災	19,842棟	21,240棟	50,904棟	54,417棟	189,406棟	201,249棟
	交通						
	道路	6.8%	6.8%	6.8%	6.8%	6.8%	6.8%
	鉄道※3	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
	電力施設	11.9%	11.9%	12.8%	12.9%	17.2%	17.6%
	通信施設	1.2%	1.3%	2.4%	2.6%	7.2%	7.6%
	ガス施設	26.8～74.2%	26.8～74.2%	26.8～74.2%	26.8～74.2%	26.8～74.2%	26.8～74.2%
その他	ライフライン						
	上水道施設	34.5%	34.5%	34.5%	34.5%	34.5%	34.5%
	下水道施設	23.0%	23.0%	23.0%	23.0%	23.0%	23.0%
	帰宅困難者	5,166,126					
	避難者	2,651,297人	2,656,898人	2,774,238人	2,788,191人	3,337,937人	3,385,489人
	閉じ込めにつながり得るエレベーター停止台数	7,005台	7,008台	7,089台	7,096台	7,447台	7,473台
	災害要援護者死者数	3,638人	3,654人	2,894人	2,934人	4,786人	4,921人
その他	自力脱出困難者	60,450人	60,450人	56,419人	56,419人	56,564人	56,564人
	震災廃棄物	3,878万t	3,882万t	3,949万t	3,957万t	4,263万t	4,289万t

※1 小数点以下の四捨五入により合計は合わないことがある。

※2 ゆれ液状化等による建物全壊と地震火災の重複を除去しているため、原因別の被害の合算値とは一致しない。

※3 新幹線の被害を除く。

図表 多摩直下地震(M7.3)の主な被害

条件	時期及び時刻	冬の朝5時		冬の昼12時		冬の夕方18時	
	風速	4m/秒	8m/秒	4m/秒	8m/秒	4m/秒	8m/秒
人的被害	死者	5,089人	5,115人	3,516人	3,546人	4,658人	4,732人
	原因別 ゆれによる建物全壊	4,489人	4,489人	2,840人	2,840人	3,220人	3,220人
	急傾斜地崩壊による建物全壊	123人	123人	111人	111人	109人	109人
	地震火災	378人	403人	465人	496人	1,229人	1,302人
	ブロック塀	97人	97人	97人	97人	97人	97人
	落下物	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	負傷者	114,600人	114,658人	94,701人	94,799人	100,983人	101,102人
	(重傷者)	11,302人	11,319人	9,696人	9,724人	10,871人	10,902人
	原因別 ゆれによる建物全壊	110,119人	110,119人	89,859人	89,859人	92,831人	92,831人
	急傾斜地崩壊による建物全壊	154人	154人	139人	139人	137人	137人
	地震火災	805人	864人	1,182人	1,280人	4,494人	4,614人
	ブロック塀	3,349人	3,349人	3,349人	3,349人	3,349人	3,349人
	落下物	172人	172人	172人	172人	172人	172人
	建物被害※2	89,976棟	90,947棟	98,230棟	99,788棟	135,118棟	139,436棟
物的被害	原因別 ゆれ液状化などによる建物全壊	75,668棟	75,668棟	75,668棟	75,668棟	75,668棟	75,668棟
	地震火災	14,711棟	15,707棟	23,211棟	24,811棟	61,323棟	65,770棟
	交通路	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%
	鉄道※3	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%
	電力施設	7.3%	7.3%	7.6%	7.6%	8.7%	8.8%
	通信施設	0.7%	0.7%	0.9%	1.0%	1.9%	2.0%
	ガス施設	6.5~84.6%	6.5~84.6%	6.5~84.6%	6.5~84.6%	6.5~84.6%	6.5~84.6%
	上水道施設	36.9%	36.9%	36.9%	36.9%	36.9%	36.9%
	下水道施設	23.2%	23.2%	23.2%	23.2%	23.2%	23.2%
	帰宅困難者	5,166,126					
その他	避難者	2,556,330人	2,560,236人	2,589,796人	2,596,041人	2,739,518人	2,756,681人
	閉じ込めにつながり得るエレベーター停止台数	5,047台	5,048台	5,063台	5,066台	5,123台	5,130台
	災害要援護者死者数	2,343人	2,354人	1,825人	1,842人	2,505人	2,549人
	自力脱出困難者	33,798人	33,798人	27,338人	27,338人	28,230人	28,230人
	震災廃棄物	3,005万t	3,007万t	3,024万t	3,028万t	3,111万t	3,121万t

※1 小数点以下の四捨五入により合計は合わないことがある。

※2 ゆれ液状化等による建物全壊と地震火災の重複を除去しているため、原因別の被害の合算値とは一致しない。

※3 新幹線の被害を除く。

2. 海溝型地震

図表 元禄型関東地震(M8.2)の主な被害

条件	時期及び時刻	冬の朝5時		冬の昼12時		冬の夕方18時	
	風速	4m/秒	8m/秒	4m/秒	8m/秒	4m/秒	8m/秒
人的被害	死者	5,099人	5,125人	3,694人	3,736人	5,732人	5,875人
	原因別						
	ゆれによる建物全壊	4,552人	4,552人	2,955人	2,955人	3,330人	3,330人
	急傾斜地崩壊による建物全壊	113人	113人	103人	103人	101人	101人
	地震火災	345人	371人	547人	589人	2,212人	2,355人
	津波浸水※4(水門開放時)	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	ブロック塀	87人	87人	87人	87人	87人	87人
	落下物	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	負傷者	113,420人	113,511人	98,036人	98,198人	107,723人	108,341人
	(重傷者)	11,664人	11,690人	10,511人	10,556人	12,774人	12,946人
	原因別						
	ゆれによる建物全壊	109,307人	109,307人	92,898人	92,898人	95,256人	95,256人
	急傾斜地崩壊による建物全壊	141人	141人	129人	129人	127人	127人
	地震火災	824人	914人	1,862人	2,023人	9,192人	9,811人
	ブロック塀	2,988人	2,988人	2,988人	2,988人	2,988人	2,988人
	落下物	160人	160人	160人	160人	160人	160人
物的被害	建物被害※2	89,838棟	90,834棟	101,835棟	103,834棟	177,845棟	184,794棟
	原因別						
	ゆれ液状化などによる建物全壊	76,465棟	76,465棟	76,465棟	76,465棟	76,465棟	76,465棟
	地震火災	13,697棟	14,736棟	26,455棟	28,565棟	107,194棟	114,534棟
	津波浸水(水門開放時)	230棟	230棟	230棟	230棟	230棟	230棟
	交通						
	道路	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%
	鉄道※3	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
	電力施設	8.6%	8.6%	9.0%	9.1%	11.6%	11.8%
	通信施設	2.8%	2.8%	3.2%	3.2%	5.8%	6.1%
その他	ライフライン						
	ガス施設	3.0~53.1%	3.0~53.1%	3.0~53.1%	3.0~53.1%	3.0~53.1%	3.0~53.1%
	上水道施設	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%
	下水道施設	22.9%	22.9%	22.9%	22.9%	22.9%	22.9%
	帰宅困難者	5,166,126人					
	避難者	2,807,568人	2,811,542人	2,855,698人	2,863,681人	3,172,713人	3,200,981人
	閉じ込めにつながり得るエレベーター停止台数	5,673台	5,676台	5,710台	5,716台	5,971台	5,991台
その他	災害要援護者死者数	2,330人	2,341人	1,761人	1,784人	2,889人	2,971人
	自力脱出困難者	35,407人	35,407人	30,012人	30,012人	30,704人	30,704人
	震災廃棄物	2,892万t	2,895万t	2,921万t	2,926万t	3,104万t	3,121万t

※1 小数点以下の四捨五入により合計は合わないことがある。

※2 ゆれ液状化等による建物全壊と地震火災の重複を除去しているため、原因別の被害の合算値とは一致しない。

※3 新幹線の被害を除く。

※4 津波死者は堤外地(河川敷含む)や浸水域の地下空間にいる人口は考慮していない。

3. 活断層で発生する地震

図表 立川断層帯地震(M7.4)の主な被害

条件	時期及び時刻	冬の朝5時		冬の昼12時		冬の夕方18時	
	風速	4m/秒	8m/秒	4m/秒	8m/秒	4m/秒	8m/秒
人的被害	死者	2,427人	2,442人	1,658人	1,681人	2,512人	2,582人
	ゆれによる建物全壊	2,083人	2,083人	1,193人	1,193人	1,417人	1,417人
	急傾斜地崩壊による建物全壊	83人	83人	64人	64人	66人	66人
	地震火災	219人	233人	358人	381人	986人	1,056人
	ブロック塀	42人	42人	42人	42人	42人	42人
	落下物	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	負傷者	36,966人	36,987人	27,168人	27,243人	31,399人	31,690人
	(重傷者)	4,731人	4,737人	3,630人	3,651人	4,586人	4,668人
	ゆれによる建物全壊	34,965人	34,965人	24,645人	24,645人	26,183人	26,183人
	急傾斜地崩壊による建物全壊	103人	103人	80人	80人	82人	82人
	地震火災	396人	417人	941人	1,016人	3,631人	3,922人
	ブロック塀	1,453人	1,453人	1,453人	1,453人	1,453人	1,453人
	落下物	49人	49人	49人	49人	49人	49人
	建物被害※2	43,575棟	44,127棟	52,368棟	53,482棟	82,342棟	85,735棟
物的被害	ゆれ液状化などによる建物全壊	35,407棟	35,407棟	35,407棟	35,407棟	35,407棟	35,407棟
	地震火災	8,565棟	9,147棟	17,907棟	19,089棟	48,689棟	53,302棟
	交通路	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%
	鉄道※3	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
	電力施設	2.8%	2.8%	3.1%	3.1%	3.9%	4.0%
	通信施設	0.3%	0.3%	0.5%	0.5%	1.3%	1.4%
	ガス施設	0.8~11.3%	0.8~11.3%	0.8~11.3%	0.8~11.3%	0.8~11.3%	0.8~11.3%
	上水道施設	13.3%	13.3%	13.3%	13.3%	13.3%	13.3%
	下水道施設	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%
	帰宅困難者	5,166,126					
その他	避難者	850,596人	852,491人	882,979人	886,785人	995,083人	1,007,138人
	閉じ込めにつながり得るエレベーター停止台数	2,253台	2,253台	2,264台	2,266台	2,304台	2,308台
	災害要援護者死者数	1,050人	1,056人	911人	923人	1,373人	1,412人
	自力脱出困難者	16,204人	16,204人	9,974人	9,974人	10,681人	10,681人
	震災廃棄物	1,065万t	1,066万t	1,086万t	1,089万t	1,158万t	1,166万t

※1 小数点以下の四捨五入により合計は合わないことがある。

※2 ゆれ液状化等による建物全壊と地震火災の重複を除去しているため、原因別の被害の合算値とは一致しない。

※3 新幹線の被害を除く。

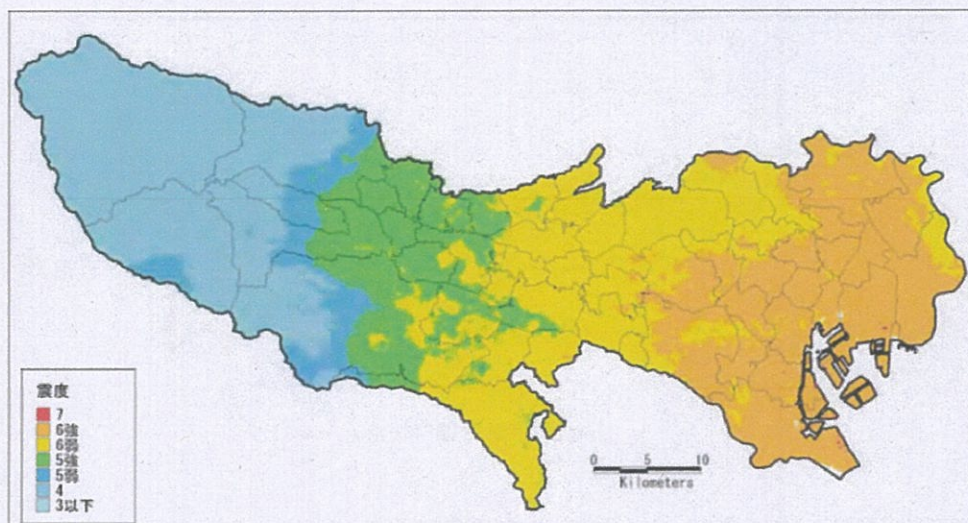
II-3. 被害の特徴

1. 地震動等の分布について

1.1 地震動分布

1) 東京湾北部地震の地震動分布

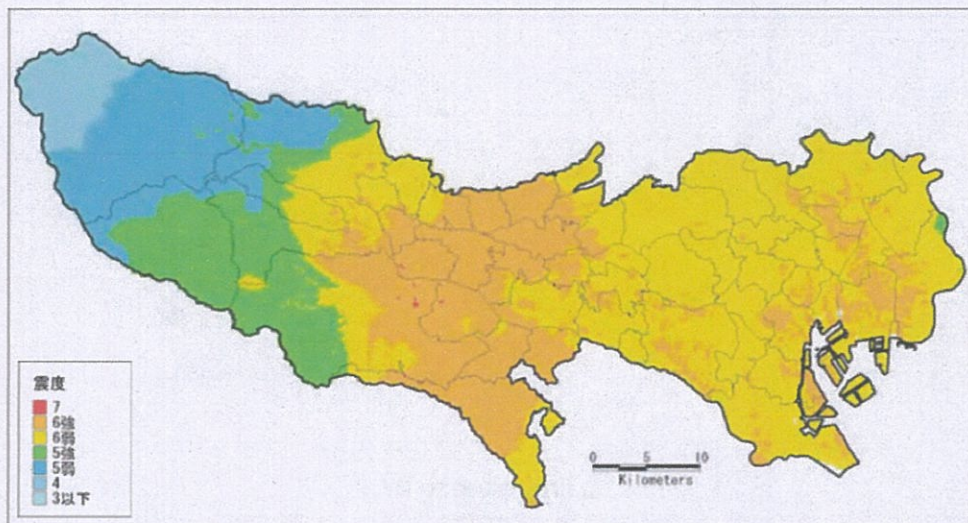
フィリピン海プレートの上面深度が浅くなったため、想定した地表震度が大きくなっている。具体的には、震度7の地域も見られ、震度6強の面積は前回調査結果（平成18年5月）の約305km²に比べ約444km²と増えている。



東京湾北部地震(M7.3)

2) 多摩直下地震の地震動分布

フィリピン海プレートの上面深度が浅くなったため、前回調査結果で、多摩地区はほとんど6弱の震度であったが、今回の想定では6強が主体となっている。具体的には、震度7の地域も若干見られ、震度6強の面積は前回調査結果（平成18年5月）の約21km²に比べ約459km²と増えている。



多摩直下地震(M7.3)

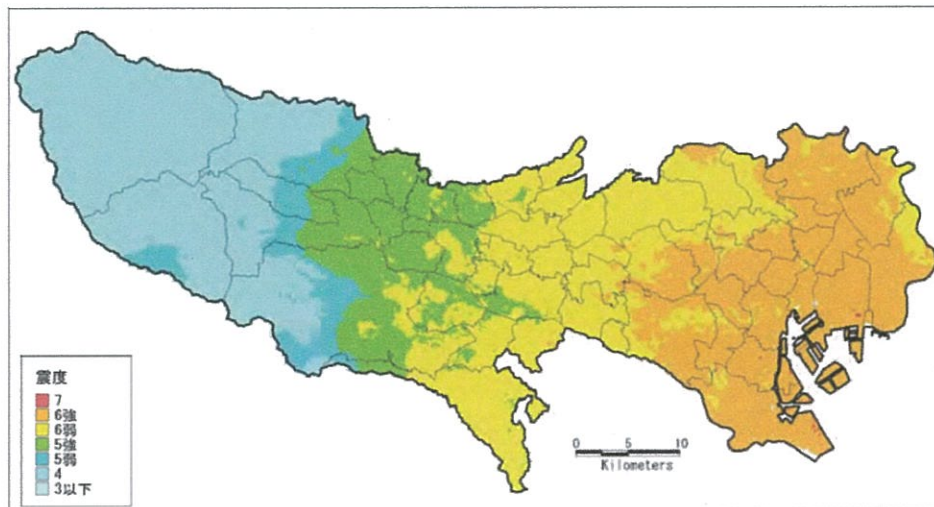
II-3. 被害の特徴

1. 地震動等の分布について

1.1 地震動分布

1) 東京湾北部地震の地震動分布

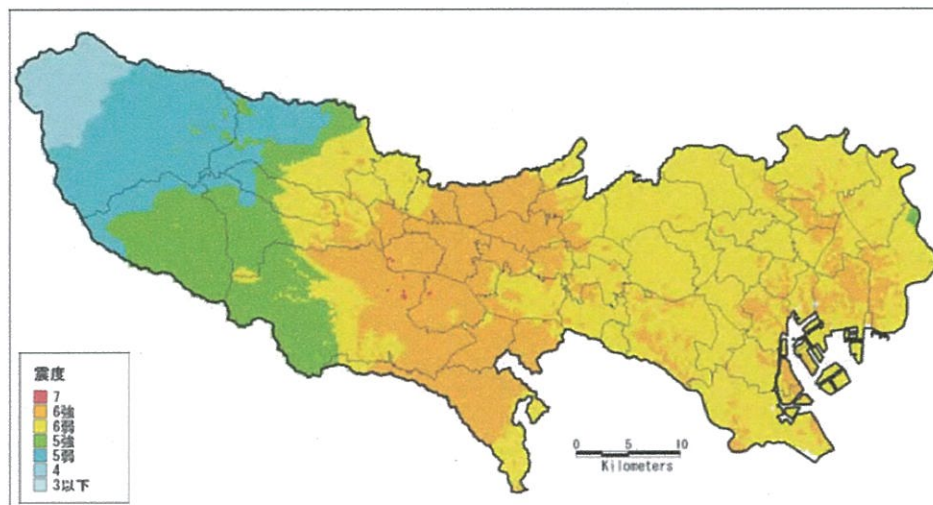
フィリピン海プレートの上面深度が浅くなったため、想定した地表震度が大きくなっている。具体的には、震度7の地域も見られ、震度6強の面積は前回調査結果（平成18年5月）の約305km²に比べ約444km²と増えている。



東京湾北部地震(M7.3)

2) 多摩直下地震の地震動分布

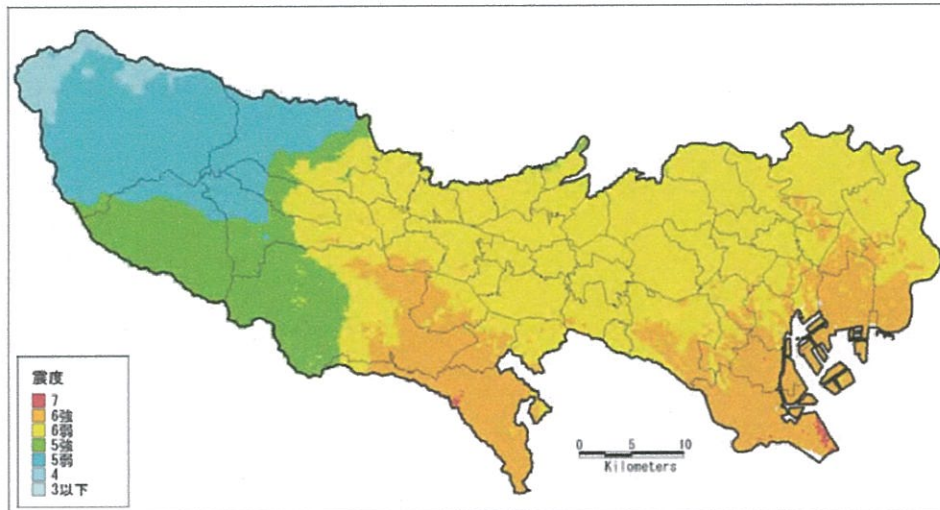
フィリピン海プレートの上面深度が浅くなったため、前回調査結果で、多摩地区はほとんど6弱の震度であったが、今回の想定では6強が主体となっている。具体的には、震度7の地域も若干見られ、震度6強の面積は前回調査結果（平成18年5月）の約21km²に比べ約459km²と増えている。



多摩直下地震(M7.3)

3) 元禄型関東地震の地震動分布

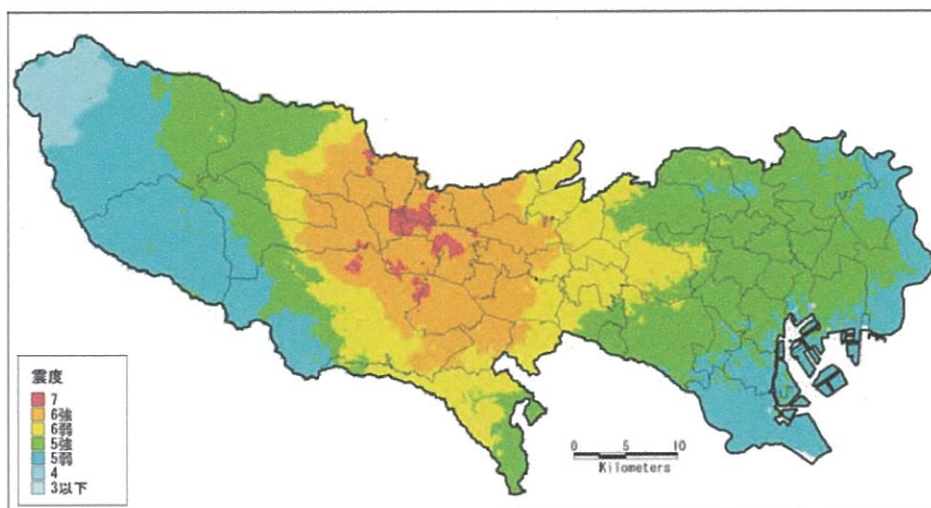
元禄型関東地震の震源断層モデルは、大正型関東地震の断層モデルと津波の波源モデルを合わせたものを用いている。地表震度は東京都の南側で大きく、品川区、大田区及び町田市で震度6強が主体である。震度7の地域も若干見られ、震度6強の面積は約364km²である。



元禄型関東地震(M8.2)

4) 立川断層帯地震の地震動分布

立川断層帯地震の震源断層モデルは、地震調査研究推進本部地震調査委員会(2009)で設定された破壊開始点が南側にあるケースを採用している。地表震度は立川市を中心に震度7も予測されており、震度7の面積は約24km²、震度6強の面積は約318km²である。なお、破壊開始点が北側にある場合も参考として地表震度を想定している。



立川断層帯地震(M7.4)

第2章 防災・減災対策

2. 1 自助の必要性

いつかは来る大地震に備えて、自助の必要性が叫ばれていますが、現実はどうでしょうか？

行政は、自助：共助：公助の比率は、7：2：1 と言っていますが、一般市民は、逆に、1：2：7 という認識で、公助に対する期待が大変大きいものとなっています。

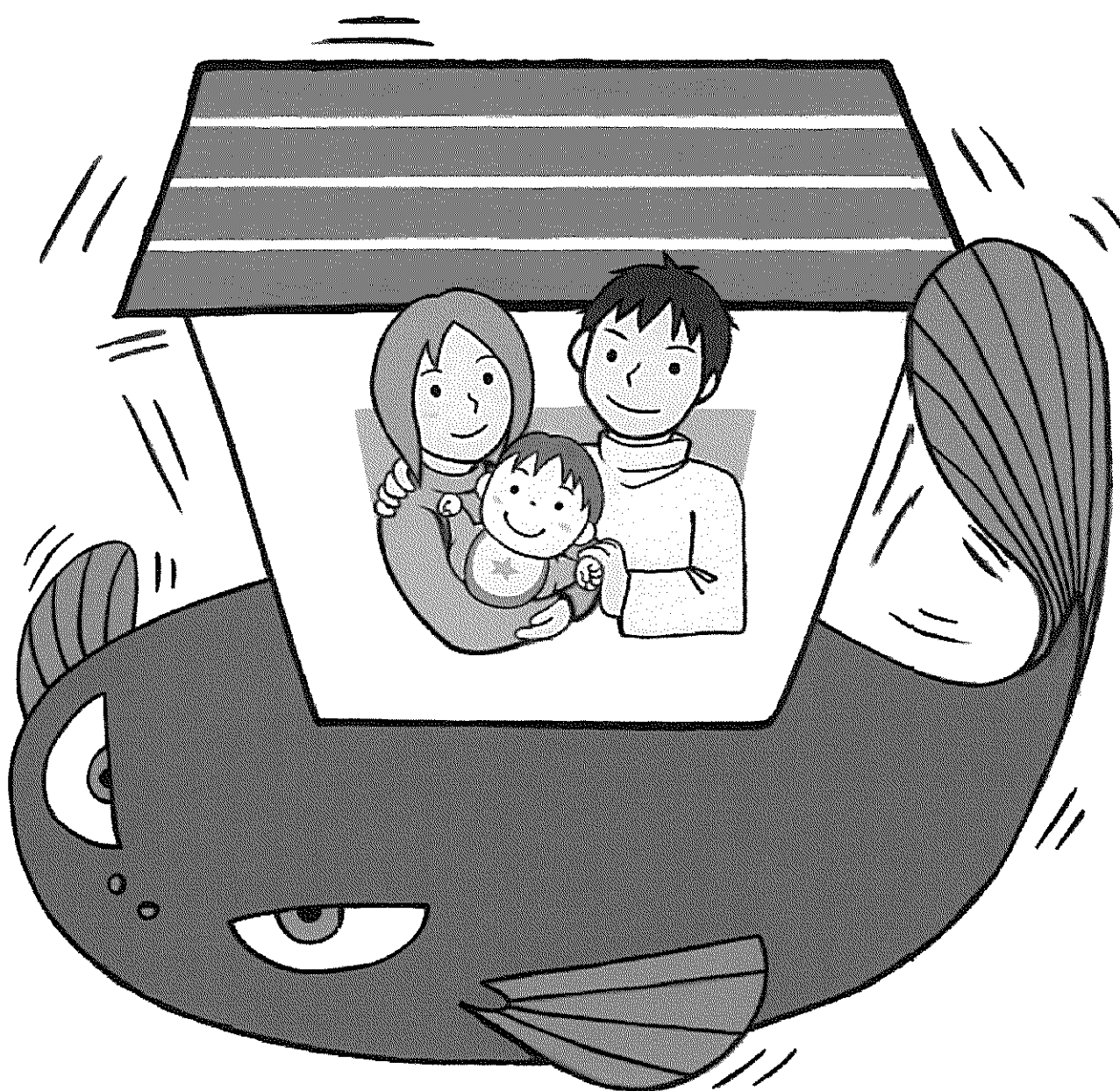
「自分は、一人だし、災害が起きても助けは入らない」、「何とかなる」と考えている人もいるそうです。

しかしながら、もし自分の家から火災が発生すれば近所に迷惑をかけることになり、最低限の自助は必要と言えます。

この章では、自助のために何をすればよいのか、いろいろな出版物や、ホームページから見ることはできますが、その中から、東京都福祉保健局少子社会対策部子ども医療課が作成した「地震がくる前に子どものためにできること」（平成19年3月発行）と、東京消防庁が作成した「東日本大震災 改訂版 家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック―室内の地震対策―」（平成24年7月発行）から身近に必要な内容を抜粋したものを紹介しました。

地震がくる前に 子どものために できること

—お母さん・お父さんになったあなたへ—



阪神・淡路大震災では
約400人の子どもたちが
亡くなりました。^{※1}

阪神・淡路大震災と
同じ規模の地震が
東京で今後30年間に
起きる可能性は70%
とされています。^{※2}

※1 出典：財団法人厚生統計協会「国民衛生の動向」平成8年

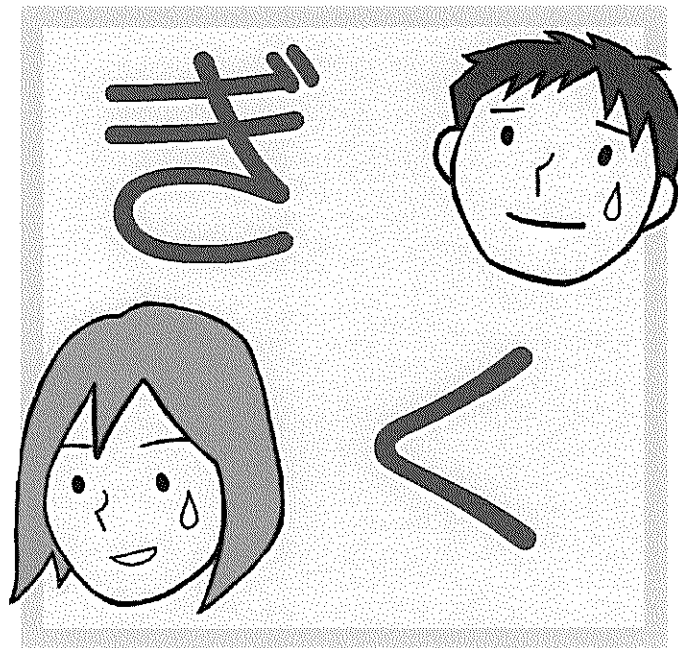
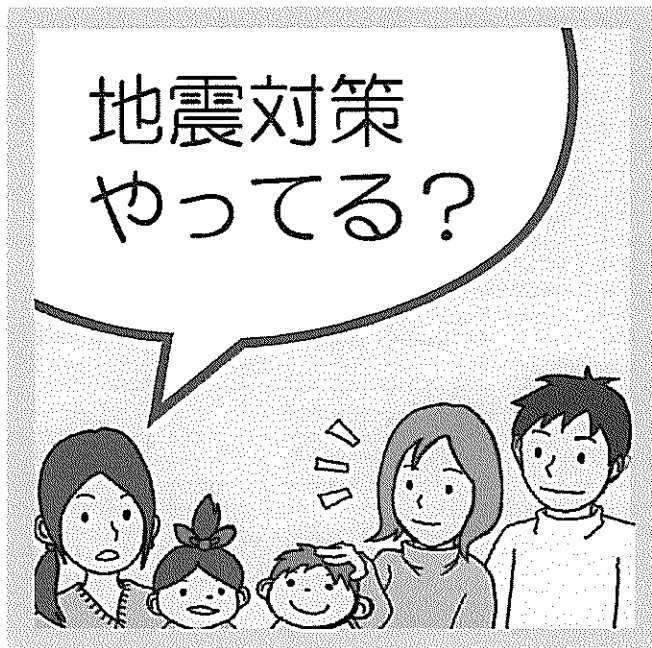
※2 出典：地震調査研究推進本部地震調査委員会「全国を概観した地震動予測地図」平成18年改訂

一人でも多くの子どもを地震の
被害から救い、被災後もその健
康が守られることを願い、この
パンフレットを作成しました。^{※3}

地震から子どもを守るには、
子どものこと、家族のことを
一番知っている
あなたの力が必要です!!

※3 「子どもを守る災害対策検討会」（事務局：東京都）において、パンフレットの内容について検討を行いました。

でも、現実には・・・

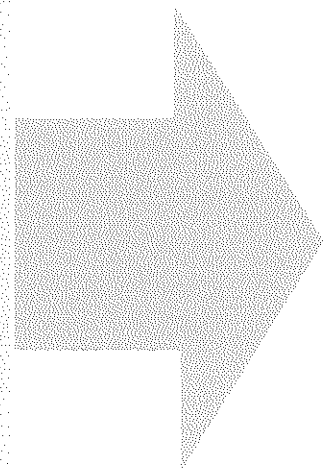
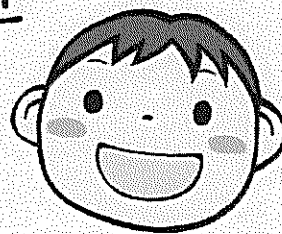


家族等と連絡方法を決めている：約20%
家具等の転倒防止策をしている：約30%

※4

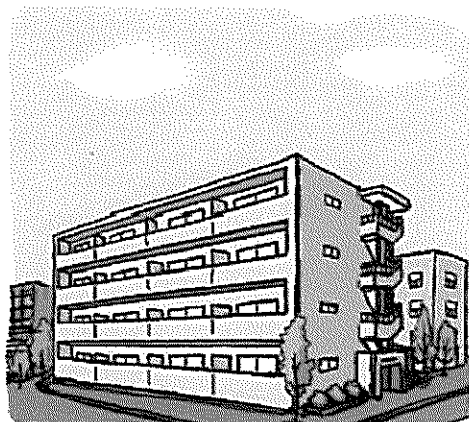
※4 出典：東京都「妊婦・乳幼児の災害対策に関する都民アンケート集計結果」平成18年

それでは、
地震から子どもを
守るためには
どうしたら良い
でしょうか？



大地震のとき、子どもとあなたは大丈夫？

1. 家



家の耐震性を
知っていますか？

昭和56年以降の
「新耐震基準」で
建てられた家ですか？

昭和56年以前の
耐震基準で建てられた
家については耐震診断を
していますか？

2. 部屋



家具の
転倒防止対策を
していますか？

重いものや
危ないものを
高い位置に置いて
いませんか？

ガラス窓に
飛散防止フィルムを
貼っていますか？

それぞれのご家庭によって、有効な防災対策は異なります。
実際に地震が起きたら子どもとあなたに何が起きるのか想像して、
自分の家庭に合った防災対策をしましょう。

3. 防災用品

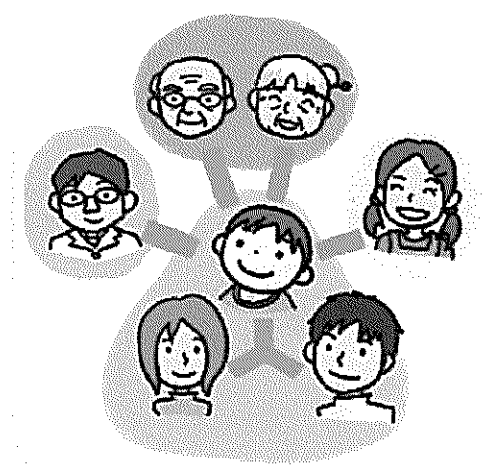


非常持出袋を
すぐ使える所に
用意してありますか？

災害に備えて
子ども用品を
準備していますか？

飲料水や食料を
3日分蓄えて
いますか？

4. 情報

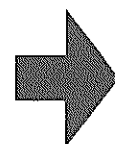


緊急時の対応について
かかりつけ医と話して
いますか？

災害時の家族の
連絡方法や集合
場所を決めて
いますか？

幼稚園や
保育園等の
防災対策を
知っていますか？

次のページから、1～4の各対策について
詳しく見ていきましょう。

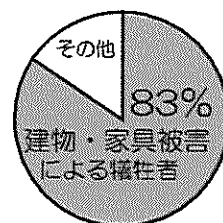


1.家

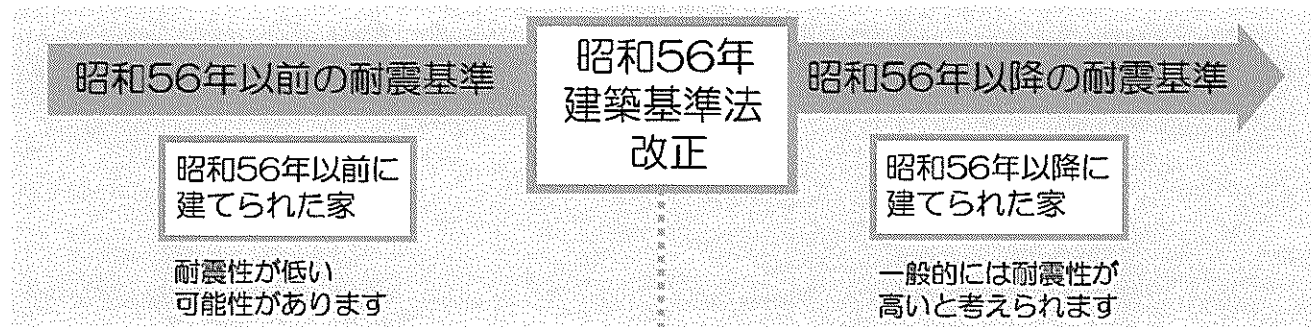
自分の家を安全な場所にしましょう！

阪神・淡路大震災で地震発生後2週間以内に亡くなった神戸市内の方の死因をみると、建物や家具の被害によるものが約80%、しかも大半が地震後15分以内、レスキュー隊が到着する前でした。家を安全な場所にする、これが「命を落とさない」ための大事なポイントです。

参考：西村明儒・井尻巖・上野易弘／へるす出版「救急医学別冊」平成7年



自宅の耐震性の目安になるのは、「新耐震基準」が設定された昭和56年です。



自宅がいつ建てられたかを確認しましょう！

賃貸住宅にお住まいの方

建築年が昭和56年以前の場合は、耐震性が低い可能性があります。
建物管理者に耐震性を確認しておきましょう。
また、今後の引越しの際は耐震性を考慮して物件を選びましょう。

分譲住宅にお住まいの方

建築年が昭和56年以前の場合は、建物の耐震性を点検し、必要に応じた耐震補強を実施する必要があります。
マンション管理組合等を確認しておきましょう。

木造一戸建て住宅にお住まいの方

自宅の耐震性を確認しましょう。
一般的な木造一戸建て住宅について、誰でもおおよその目安がつけられる耐震診断法があります。

参考：(財)日本建築防災協会ホームページ（誰でもできる我が家の耐震診断）
<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/seismic/wagaya.html>

詳しくは、お住まいの区市町村の防災担当課に相談してみましょう。
(耐震診断や耐震補強の相談・助成を行っている場合があります)

2.部屋

安全なスペースの確保は災害時だけでなく
子どもの事故予防にも役立ちます。

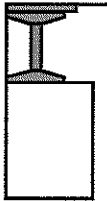
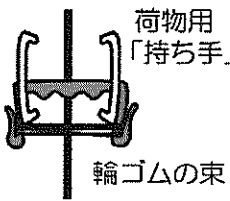
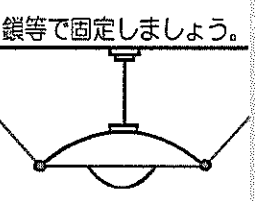
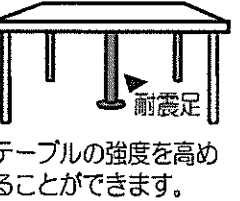
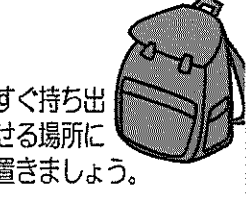
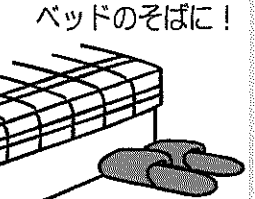
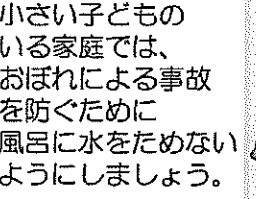
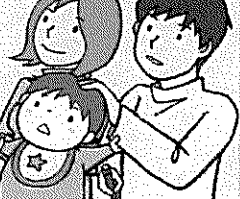
揺れても家具等が倒れてこない安全なスペースはどこですか？
子どもとあなたは普段そこにいますか？

部屋のレイアウト

居間や寝室・台所など、子どもとあなたが長く
過ごす部屋のレイアウトを書いてみましょう。

安全なスペースを囲んでみましょう。

↓チェックしてみましょう。

☐ 転倒防止  背の高い／ 重い家具 を固定し ましょう。	☐ 飛び出し防止  荷物用 「持ち手」 輪ゴムの束	☐ 落下防止  鎖等で固定しましょう。	☐ 飛散防止  ガラスにフィルム を貼りましょう。	☐ テーブル補強  テーブルの強度を高め ることができます。
☐ 通路  玄関ま での通 路に倒 れそう な家具 はあり ません か？	☐ 非常持出袋  すぐ持ち 出せる 場所に 置きま しょう。	☐ スリッパ・靴  ベッドのそばに！	☐ 風呂水について  小さいこ どもの いる家 庭では 、おぼ れによ る事故 を防ぐ ために 風呂に 水をた めない ように しまし ょう。	

3.防災用品

最低限3日分の備えをしましょう！

過去の災害では電気・水道・ガス等のライフラインが止まり、住民の方々は長期間不便な生活を送りました。

自治体職員も被災し、交通・情報網も遮断されるため、最初の3日間は生活に必要な物資を入手できないこともあると考えましょう。

一次持ち出し品

被災した時にまず持ち出す品です。
実際に荷物を作って持てるか確かめましょう。

一般的なもの ※赤いチェックボックスは、普段から持ち歩いていると良いものです。

食料等

- ☐ 非常食
- ☐ 飲料水

貴重品

- ☐ 保険証のコピー
- ☐ 通帳等貴重品の控え
- ☐ 現金

情報収集用品

- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 家族との災害時の取り決めメモ
- ☐ 携帯電話・非常用充電器
- ☐ 小銭（公衆電話用に10円玉、100円玉）
- ☐ メモ帳
- ☐ ボールペン

便利品

- ☐ 懐中電灯
- ☐ ビニール袋
- ☐ 呼び笛
- ☐ 保温シート
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 軍手
- ☐ ライター
- ☐ 給水袋
- ☐ 電池

清潔・健康のための品

- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ 下着
- ☐ 着替え
- ☐ タオル
- ☐ 常備薬
- ☐ キズ薬

お母さんのために

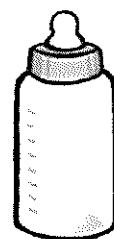
- ☐ 母子健康手帳
- ☐ 診察券
- ☐ お薬手帳
- ☐ 生理用品
- ☐ 清浄綿
- ☐ 母乳パッド



母子健康手帳は、お母さんとお子さんの健康状態や予防接種の記録が書かれているので医療機関を受診した際に役立ちます。

子どものために

- ☐ 飲料水（ミルク用）
- ☐ 粉ミルク
- ☐ プラスチック製ほ乳びん
- ☐ 離乳食・子どものおやつなど
- ☐ タオルやガーゼのハンカチ
- ☐ 紙オムツ
- ☐ おしりふき
- ☐ 肌着・赤ちゃんの服
- ☐ おんぶひも
- ☐ 子どものおもちゃ
- ☐ 子ども用歯ブラシ



二次持ち出し品

ライフライン等が止まっている時の生活のために準備しておきましょう。

食料関連

- ☐ 非常食3日分
- ☐ 飲料水(一人1日3リットル)
- ☐ 食品用ラップ
- ☐ 万能ナイフ
- ☐ 粉ミルク
- ☐ カセットコンロ
- ☐ カセットガス

清潔・健康のための品

- ☐ 災害用トイレ
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ おしりふき
- ☐ 紙オムツ
- ☐ 生理用品
- ☐ ビニール袋(オムツ入れ等)
- ☐ 水のいらないシャンプー
- ☐ 常備薬
- ☐ 新聞紙
- ☐ 赤ちゃん用爪切り

その他

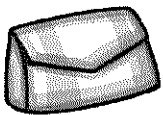
- ☐ ビニールシート
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 布製テープ
- ☐ ポリタンク
- ☐ 台車
- ☐ レインコート

母乳育児の方も、災害時に万が一母乳が出なくなった場合のために粉ミルクやほ乳びんを用意しておきましょう。

普段からの持ち歩き品

地震以外にも困った時に使えます。

一次持ち出し品の欄でチェックボックスが赤色のものは、普段から持ち歩いておくと外出時に被災した場合に役立ちます！



片手にのるくらいの大きさにまとまります！

- ☐ 母子健康手帳
- ☐ 飲料水(ミルク用)
- ☐ 粉ミルク
- ☐ プラスチック製ほ乳びん
- ☐ 非常食
- ☐ 保険証のコピー
- ☐ 通帳等貴重品の控え
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 家族との災害時の取り決めメモ
- ☐ 懐中電灯
- ☐ ビニール袋
- ☐ 呼び笛
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 携帯トイレ

ウチにはコレも

子どもや自分に必要な品を書き込みましょう。

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐

子どもの持病等を考慮して薬や食料を用意しましょう。

子どものお気に入りのおしゃぶりや毛布は、被災後の情緒を安定させるために役立ちます。



4. 情報

家族との安否確認や待ち合わせ、どうしますか？

自宅周辺の地図を描いてみましょう！



★あなたのまちの危険度

- 火災危険度・・・ ☐
- 建物倒壊危険度・・・ ☐
- 避難危険度・・・ ☐
- 総合危険度・・・ ☐

※東京都では、都内都市計画区域の5,073町丁目について、各地域における地震に対する危険性を建物、火災、避難の面から5つのランクで相対的に評価しています。

地域危険度測定調査結果の概要は、東京都都市整備局のホームページでもご案内しています。
http://www.toshiseibimetro.tokyo.jp/bo sai/chousa_5/home.htm
 お住まいの地域の危険度をお調べになりたい方は、同ホームページの「第5回地域危険度一覧表」（町丁目別）を見てください。

★避難する場所の一般的な呼び名

（各区市町村によって定義・呼び方は異なります）

いっとき

一時集合場所

地震直後、自主防災組織を中心に救援活動や集団避難などを行うための集合場所。

あなたのまちでの名称と所在地

広域避難場所

大地震による広域火災などから一時的に身を守るための場所。（大きな火災が起きなければ、ここに避難する必要はない。）

あなたのまちでの名称と所在地

避難所

危険が去った後に、住居を失った住民の方々が避難生活を送る場所。公立小・中学校等に開設される。

あなたのまちでの名称と所在地

※詳しくは各区市町村のホームページや広報を見て調べるか、区役所の防災担当課に問い合わせましょう。

災害時の家族との集合場所を決めておきましょう。

家族等と

緊急時の連絡手段は

171 (NTT災害用伝言ダイヤル) 災害用伝言板 書き置き等

自宅

職場

※メモを残すことは有効ですが、空き巣等の被害を防ぐために置く場所に注意しましょう。

災害時に安否を確認したい人の連絡先リスト

※171 (NTT災害用伝言ダイヤル)

…固定電話の番号を使い、メッセージの吹き込み・確認ができます。171にかけると音声案内が流れます。毎月1日には体験利用ができます。

※災害用伝言板

…携帯電話等でメッセージの入力・確認ができます。

かかりつけのお医者さんと

子どもの病院

病院 1

TEL

住所

あなたや他の家族の病院

病院 2

TEL

住所

病院 3

TEL

住所

保育園・幼稚園等と

緊急時の園との取り決めは？

緊急時の連絡先は

園

TEL

住所

引き取りの方法等は

東京で地震が起こったら

17:00

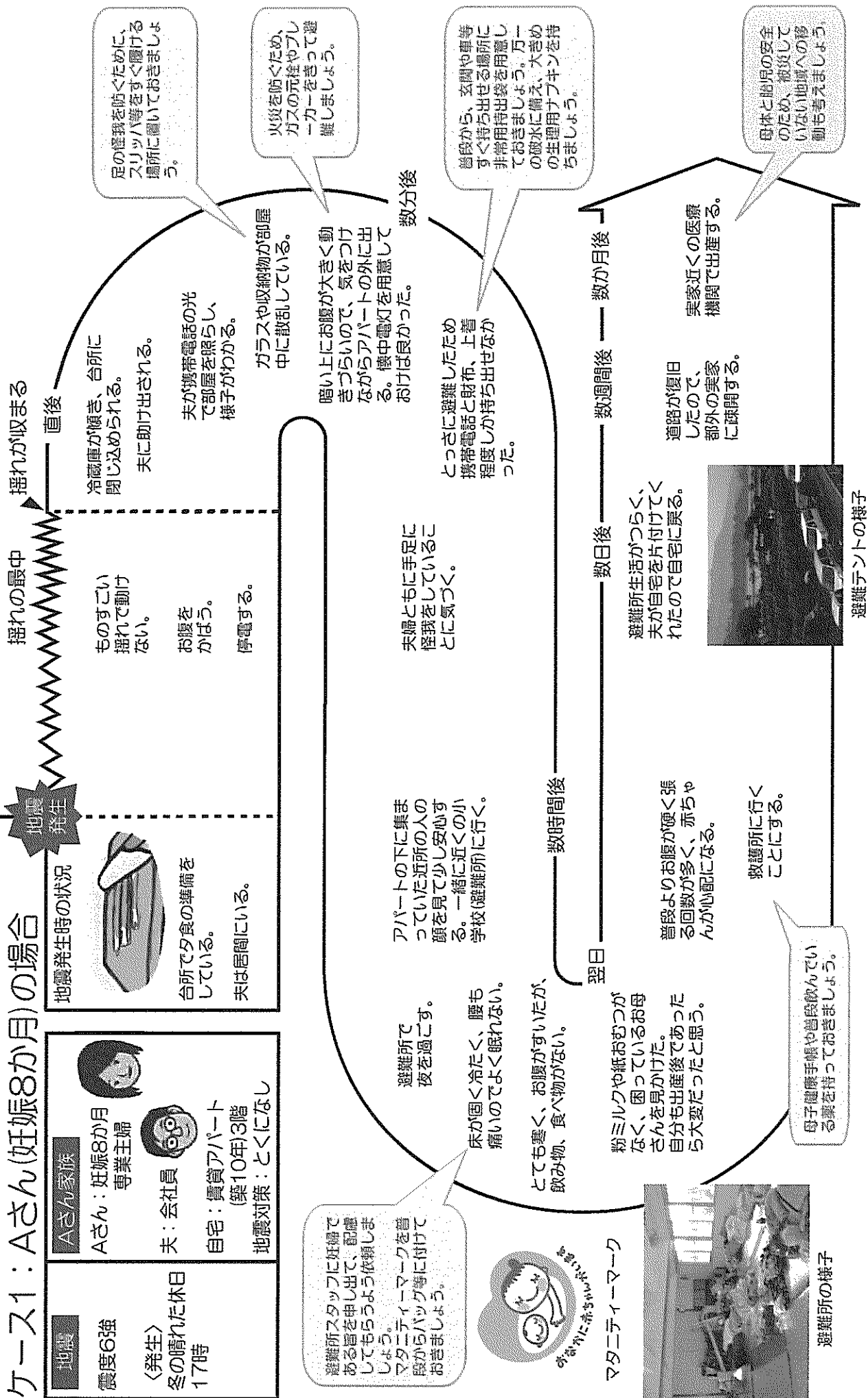
ケース1：Aさん(妊娠8か月)の場合

地震 震度6強 〈発生〉 冬の晴れた休日 17時	Aさん家族 Aさん：妊娠8か月 専業主婦 夫：会社員 自宅：賃貸アパート (築10年)3階 地震対策：とくになし
--------------------------------------	--

地震発生時の状況



台所で夕食の準備をしている。
夫は居間にいる。



避難テナントの様子



避難所の様子

避難所スタッフに妊婦である旨を申し出て、配慮してもらおうよう依頼しましょう。
マタニティマークを各段からバッグ等に付けておきましょう。



マタニティマーク

ケース2：Bさん(2歳児の母)の場合

地震

震度6強
〈発生〉
夏の晴れた平日
17時

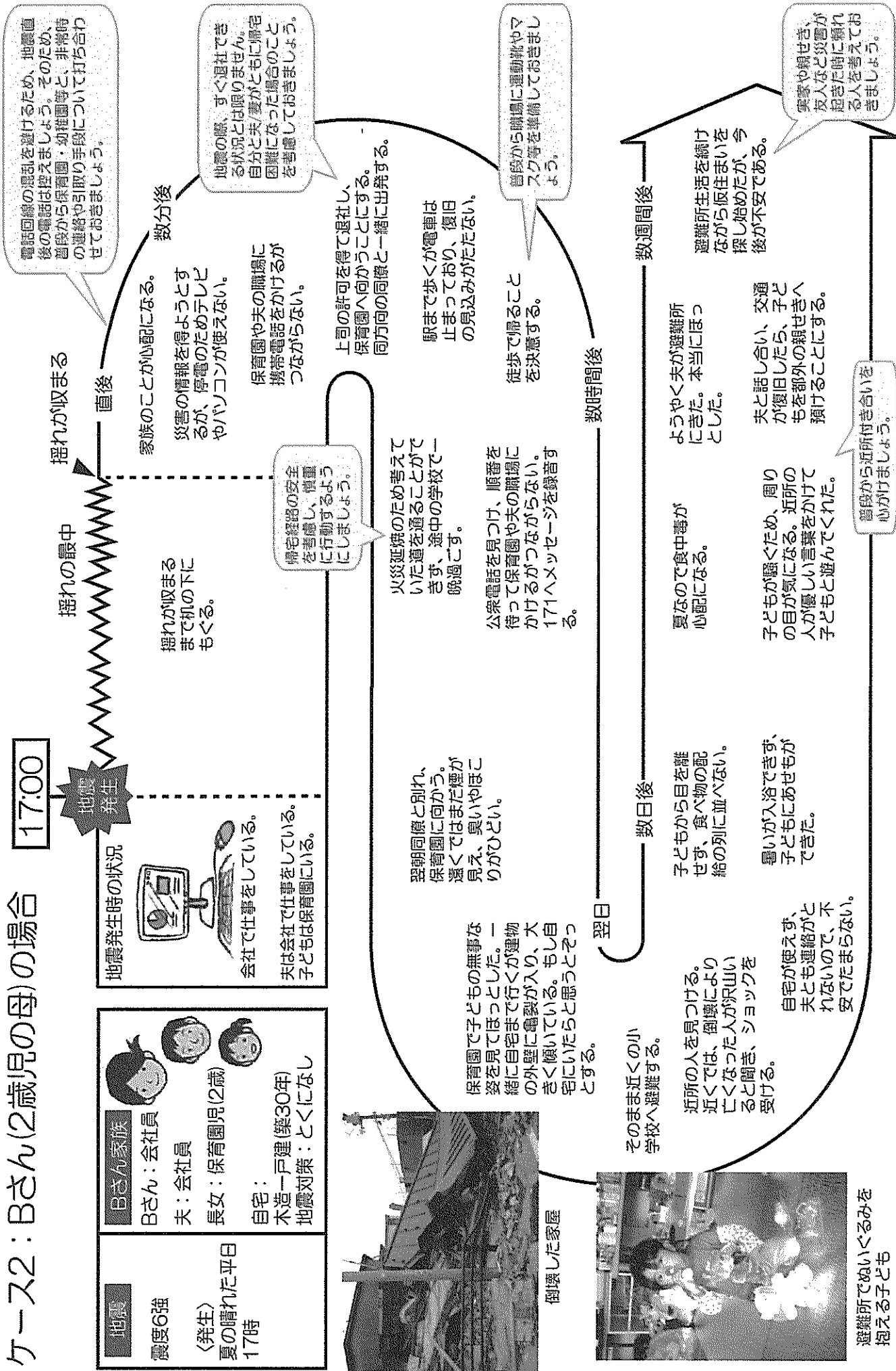
Bさん家族

Bさん：会社員
 夫：会社員
 長女：保育園児(2歳)
 自宅：
 木造一戸建(築30年)
 地震対策：とくになし

地震発生時の状況

揺れが収まるまで机の下にこもる。

会社で仕事をしている。
夫は会社で仕事をしている。
子どもは保育園にいる。



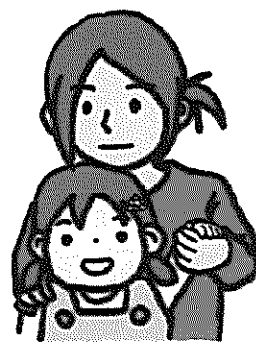
倒壊した家屋



避難所でぬいぐるみを抱える子ども

地震を経験した方が あなたへ伝えたいこと

新潟県中越地震(平成16年10月23日発生)の被災地の
妊婦・乳幼児の保護者の方々からのメッセージです。



発生時台所にいましたが、近くにいた子どもを抱きかかえながら転倒物のない場所へ避難しました。

揺れがひどくテーブルの下まではいけませんでした。あとで見たらテーブルわきの水槽が割れ、テーブル下はガラスだらけだったので、結果的には行かなくてよかったです。

一般的なマニュアルだけでなく、自分の家ではどこが安全か確認しておくとういと思いました。

近所づきあいをして、人とのつながりを大切にしてください。周りの人たちからの励ましや助けが何よりです。

常に「もし何かあったら…」と頭の隅においておくことだと思いました。

「ここだけは大丈夫！」は絶対にありません。

※原文のまま掲載しています。

夜中の地震に備え、娘を寝かせる位置に配慮しました。
(家具の転倒に関係ないところ)

小さい子どもとの避難生活は本当に大変です。

ショックで母乳も出なくなり、ミルクのお湯も十分になく、オムツの量もぎりぎりでした。

携帯電話などが全く使えなかったのも、そういう災害が起こったときの連絡手段を、普段から話し合っておくことが大切だと感じました。

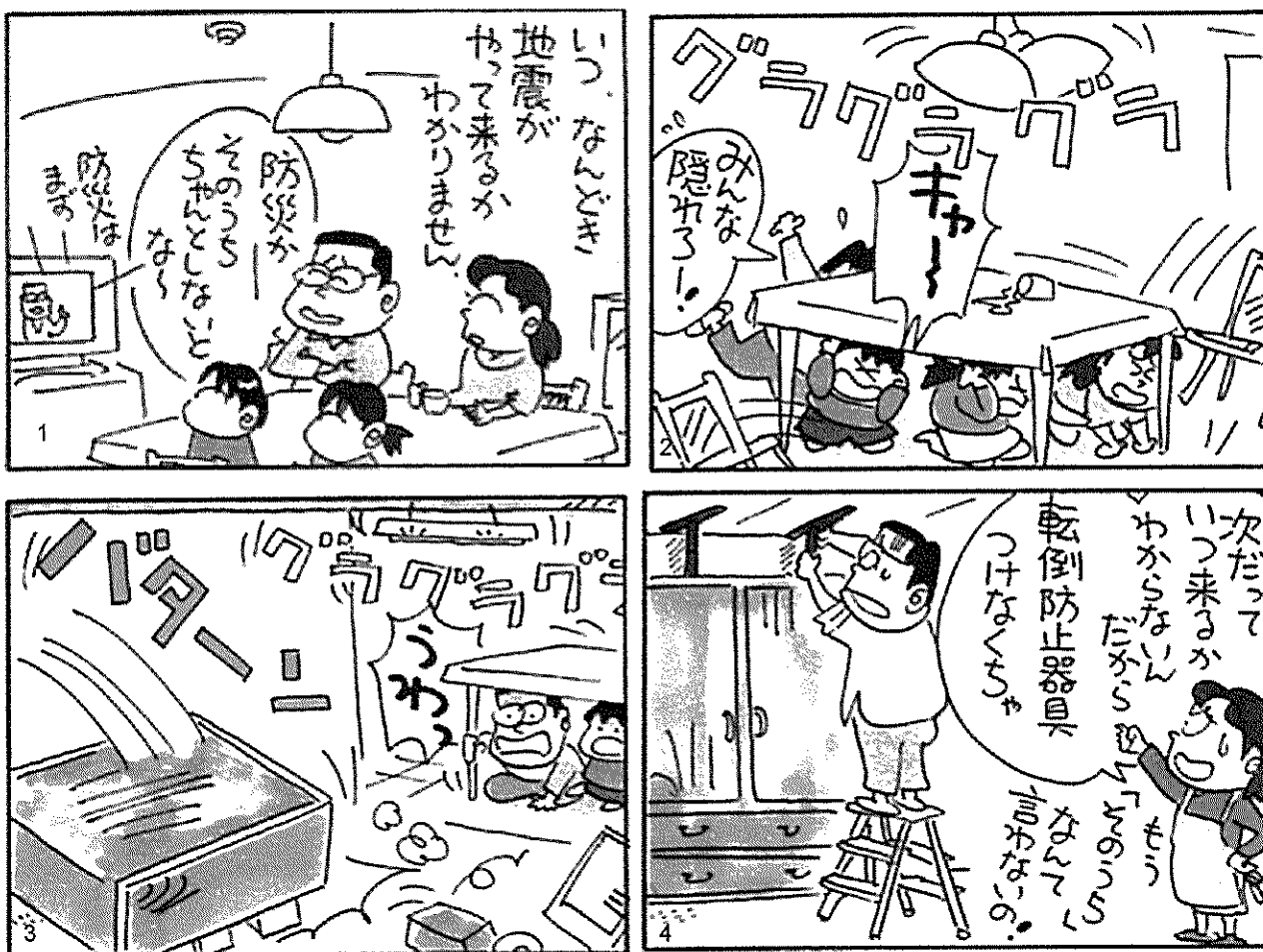
被災すると自分自身もこわかったり、不安だったり、イライラしたりしますが、子どもたちは、それ以上のストレスがあります。普通の状況ではありません。

どんな状況でも、とにかく受け入れてあげてほしいです。ワガママや甘えがとても多いですが、全て受け入れてほしいです。

家具類の転倒・落下・移動防止対策 ハンドブック

— 室内の地震対策 —

やくみつる画



平成24年7月

東京消防庁

はじめに

東京消防庁では、大きな被害を伴う地震が発生した場合、被害状況の現地調査を行っています。その結果、近年発生した地震被害では負傷者の3～5割の方々が屋内における家具類の転倒・落下によって負傷していることが判明しました。

そこで、東京消防庁では、平成16年度から17年度にかけて、地震時に室内で発生する負傷者を減らすために、家具類の転倒・落下防止対策に関する委員会を設置し、実験・検討を行なってきました。平成18年3月には、この結果をまとめ、家庭用家具、家電製品、オフィス家具類についての転倒・落下防止対策を公表しました。

また、平成19年7月の新潟県中越沖地震において東京消防庁が行ったアンケート調査では、転倒防止対策をしていたにもかかわらず、家具が転倒したとの回答が複数ありました。分析の結果、強度のない石膏ボード等の壁に直接固定したため、壁そのものが壊れ家具が転倒してしまったものと推定されました。

このため、転倒防止に有効な壁や天井の構造と補強方法や、都民の皆様に正しい取付けの知識を普及するための方策等について、再度委員会を設置して実験を行い検討いたしました。

さらに、平成23年3月の東日本大震災を受け、東京消防庁が実施した調査では、家具類の転倒・落下・移動が高層階に行くほど多く発生している傾向が確認されました。この原因の一つに長周期地震動の影響が考えられることから、東京消防庁では、長周期地震動を含む地震に対する高層階の室内安全対策専門委員会を設置し、高層階等における家具類の転倒・落下・移動防止対策を検討しました。

本ハンドブックは、これらの委員会の検討結果を踏まえ、住宅や事務所内での転倒防止対策を進めるうえで参考となるよう作成したものです。大いに活用していただくようお願いいたします。

このハンドブックが対象とする家具類等
○ 家庭内のダンス、本棚、食器棚などの家具
○ 事務所内のキャビネット、ロッカーなどのオフィス家具
○ テレビ、冷蔵庫、電子レンジなどの家電製品

(※付イラストは、社団法人日本オフィス家具協会提供による)

していますか？

家具類の転倒・落下・移動防止対策



地震時の家具類の転倒に注意



地震時の落下物に注意



地震時の家具類の移動に注意

目 次

● なぜ家具類の転倒・落下・移動防止対策が必要なのか？	p1
・ 地震による負傷原因	p1
・ 東日本大震災における教訓	p2
● 地震による家具類の動きと被害	p3
● 地震に対する家具類への対策	p4
・ 安全な家具の配置	p5
・ 家の安全スペース	p6
・ 対策器具の種類	p7
・ 地震動に対する対策器具の効果	p9
● 家庭用家具の転倒・落下・移動防止対策	p10
・ 壁に固定する場合	p10
・ 付け鴨居に固定する場合	p11
・ ボール式転倒防止器具・ストッパー式器具の取付方法	p12
・ 連結金具の取付	p13
・ ガラス飛散防止フィルムの貼り付け	p13
・ 扉開放防止器具の取付	p14
・ 収容物の工夫	p14
・ 家具類の移動防止対策	p15
・ 大きくゆっくりした揺れに対し注意すべき家具類への対策	p16
● 家電製品の転倒・落下・移動防止対策	p17
・ テレビの転倒・落下・移動防止対策	p17
・ 冷蔵庫の転倒・移動防止対策	p18
・ 電子レンジの落下・移動防止対策	p18
● オフィス家具類の転倒・落下・移動防止対策	p19
・ 東日本大震災における東京都内のオフィス内の被害	p19
・ 安全な家具の配置	p20
・ 家具の配置・物の置き方	p21
・ オフィスの安全スペース	p21
・ キャビネットの転倒防止対策	p22
・ 書架・物品棚・移動ラックの転倒防止対策	p23
・ コンクリート壁への固定方法	p24
・ 軽量鉄骨下地中空壁への固定方法	p24
・ フリーアクセスフロアで固定する場合	p25
・ 床材質と家具の転倒・移動	p26
・ デスク周辺での注意	p27
・ ローパーティションの固定方法	p28
・ 複写機・複合機・デジタル印刷機の転倒・移動防止対策	p28
● 多く寄せられる質問	p29
● チェックリスト	p30
・ 家庭内の転倒・落下・移動防止チェックリスト	p30
・ オフィス内の転倒・落下・移動防止対策チェックリスト	p33

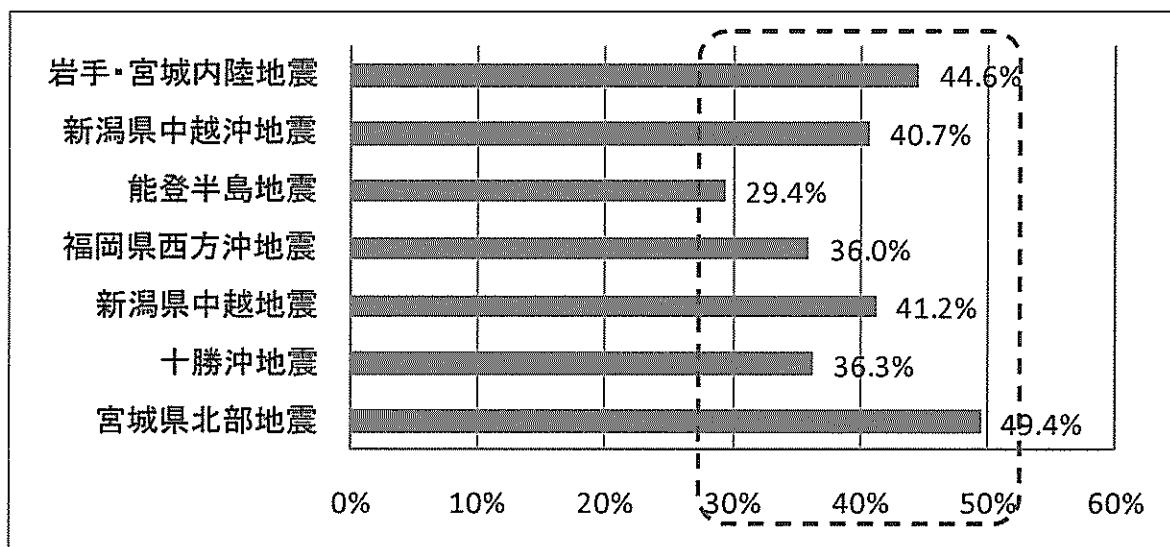
注：このテキストでは、オフィスに関する記述は割愛しています。

なぜ家具類の転倒・落下・移動防止対策が必要なの？

● 地震による負傷原因

近年発生した地震でけがをした原因を調べると、約30～50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。

家具類の転倒・落下・移動は、直接当たってけがをするだけでなく、つまずいて転んだり、割れた食器やガラスを踏んだり、避難通路を塞いだりするなど、いろいろな危険をもたらします。



近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合

地震被害の概要

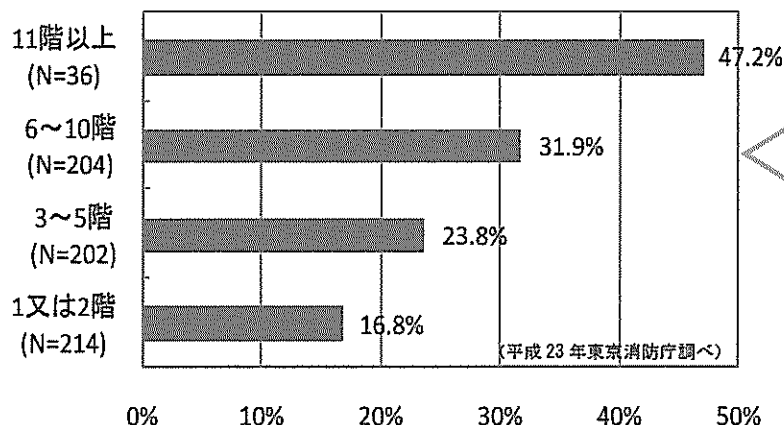
地震名	東日本 大震災	岩手・宮城 内陸	新潟県 中越沖	能登 半島	福岡県 西方沖	新潟県 中越	十勝沖
発生日時 (平成年/月/日)	23/3/11 14時46分	20/6/14 8時43分	19/7/16 10時13分	19/3/25 9時41分	17/3/20 10時53分	16/10/23 17時56分	15/9/26 4時50分
最大震度	7	6強	6強	6強	6弱	7	6弱
マグニチュード	9.0	7.2	6.8	6.9	7.0	6.8	8.0
死者・行方不明(人)	19,272	23	15	1	1	68	2
負傷者(人)	6,179	426	2,346	356	1,204	4,805	849
全壊家屋(棟)	129,198	30	1,331	686	144	3,175	116
損傷家屋(棟)	969,430	2,667	43,010	28,698	9,691	119,492	1,948
出火件数(件)	284	4	3	なし	2	9	4

平成 24 年 3 月 13 日現在

● 東日本大震災における教訓（高層階における室内危険）

東日本大震災の発生後行った東京都内でのアンケート調査では、階層別の家具類の転倒・落下・移動の割合から次のようなことがわかりました。

都内における階層別の家具類の転倒・落下・移動発生割合

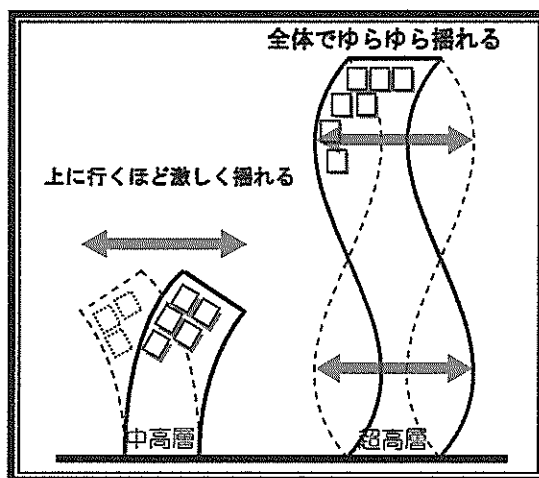


高層階になるほど、転倒・落下・移動している割合が多くなっています。
これは、長周期地震動が一因と考えられます。

※「移動」とは、家具類が転倒せずに概ね 60cm 動いた場合をいいます。

【長周期地震動の特徴】

- 1 海の波のように遠くまで伝わります。
- 2 地震動が終息した後も、建物が数分に渡って揺れることがあります。
- 3 東海・東南海・南海地震などのM8クラスの地震が起こると、都内の50階ビルでは片振幅2mに達する揺れが10分以上継続する可能性があります。
- 4 高い建物の高層階が被害を受けやすい特徴があります（建物や地域によって異なる。）。

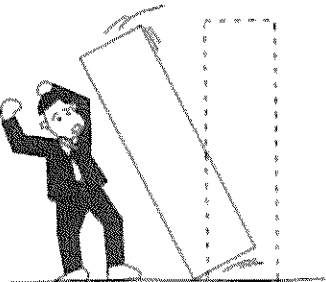
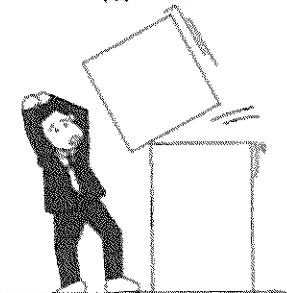
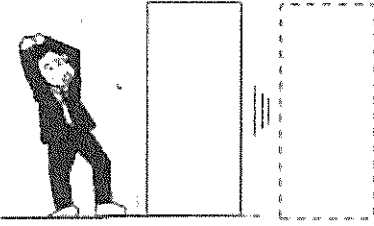
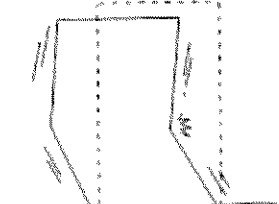
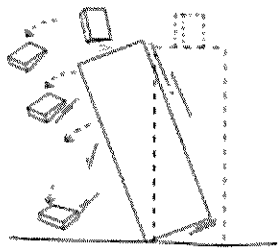
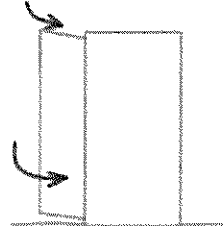
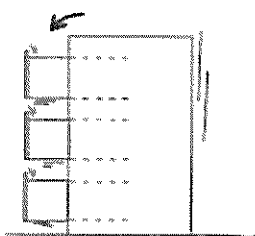
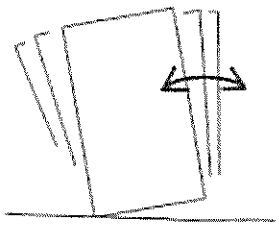


長周期地震動が発生すると、建物の室内（概ね10階以上）では、以下のような危険性が考えられます。

！ 危険性	高層階では、下層階に比べ揺れが大きくなる傾向があり、家具類の転倒・落下に加え、「移動」が発生する。
	キャスター付きの家具類は特に移動しやすい。（ワゴン、コピー機など）
	家具の移動により、挟まれる、ぶつかることによる負傷や、通路を塞ぐなどの避難障害が生じる可能性がある。
	机などの引き出し付きの家具は、引き出しが飛び出して倒れることがある。
	水槽などは中の水が大きく揺れ、転倒しやすくなる。
	吊り下げ式の照明などは大きく揺れて落下する可能性がある。
	家具類の転倒・落下・移動による火災が発生することがある。

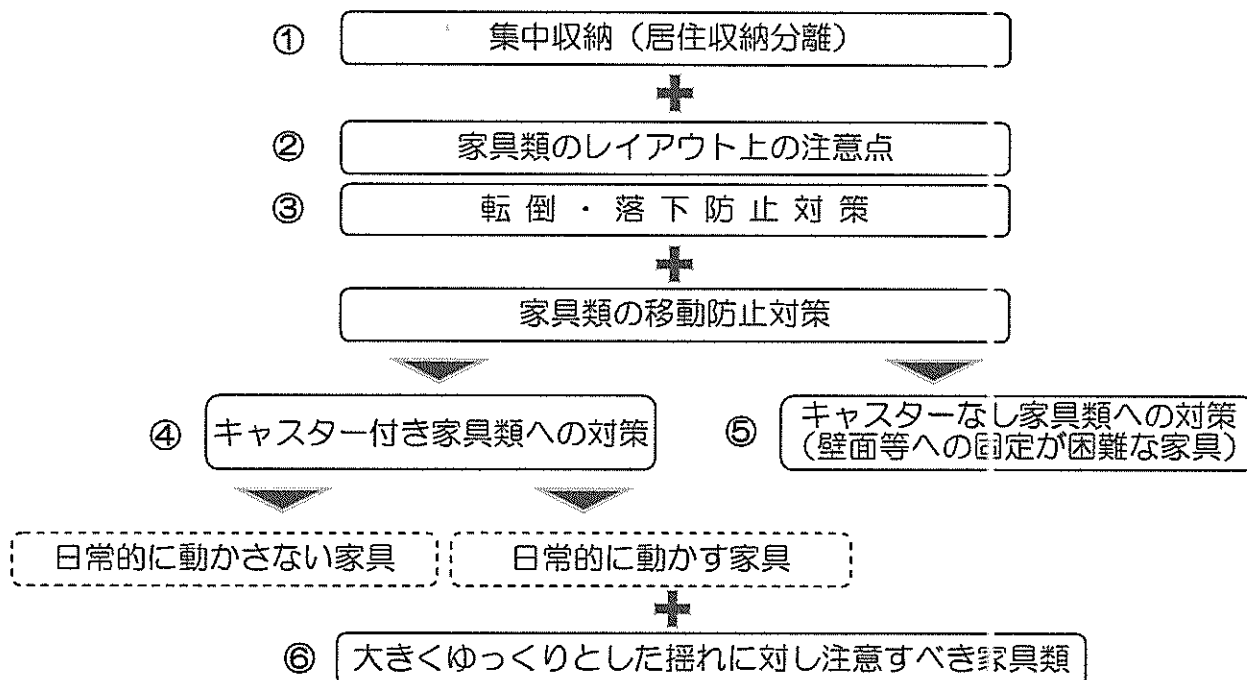
地震による家具類の動きと被害

地震の揺れで家具類や家電製品が、どのような動きをして被害をもたらすかをまとめると次のようになります。

家具の挙動 被害傾向		
転倒 	落下 	移動 
○ 周囲の人、物への重大な被害 ○ 避難通路の障害 ○ 火気器具への転倒による火災発生	○ 周囲の人、物への重大な被害 ○ 避難通路の障害 ○ 火気器具上への落下による火災発生	○ 周囲の人・物への被害 ○ 避難通路の障害
変形 	収納物の落下 	扉の開閉・落下 
○ 収納物の移動、落下、破損	○ 周囲の人への被害 ○ 収納物破損 ○ 避難通路の障害 ○ 収納物が火気器具上に落下することによる火災発生	○ 人への被害 ○ 発音による心理的影響 ○ 避難通路の障害 ○ 収納物の落下
引き出しの飛び出し 	ロッキング 	
○ 周囲の人、物への被害 ○ 収納物破損 ○ 避難通路の障害	○ 周囲の人、物への被害 ○ 収納物破損 ○ 発音による心理的影響	

(*) 一部加筆

地震に対する家具類への対策



① 納戸やクローゼット、据え付け収納家具への集中収納により、努めて生活空間に家具類を置かないようにしましょう。

② 負傷や避難障害を発生させにくいレイアウト上の工夫を行うことが重要です。
【詳しくはp 5】

③ レイアウト上の対策をしたうえで適切な転倒・落下・移動防止対策を行きましょう。
【詳しくはp 7～】

④ キャスター付きの家具には日常的に移動することを求められるものと日常的な移動は求められないものがあります。日常的に移動が求められないものとは、引っ越しや部屋の模様替えの時だけ移動するような家具です。
【詳しくはp 15】

⑤ 長周期地震動では、テーブルやイスなど、必ずしも壁面に接して配置することがない背の低い家具類も移動する可能性があるため、これらの家具類の移動防止対策をする必要があります。
【詳しくはp 15】

⑥ 長周期地震動は大きくゆっくり揺れる特徴があることから、天井から吊り下がっている電球や、水のように揺れに合わせて大きく揺れ重心が移動するものなどは、対策を講じる必要があります。
【詳しくはp 16】

Point

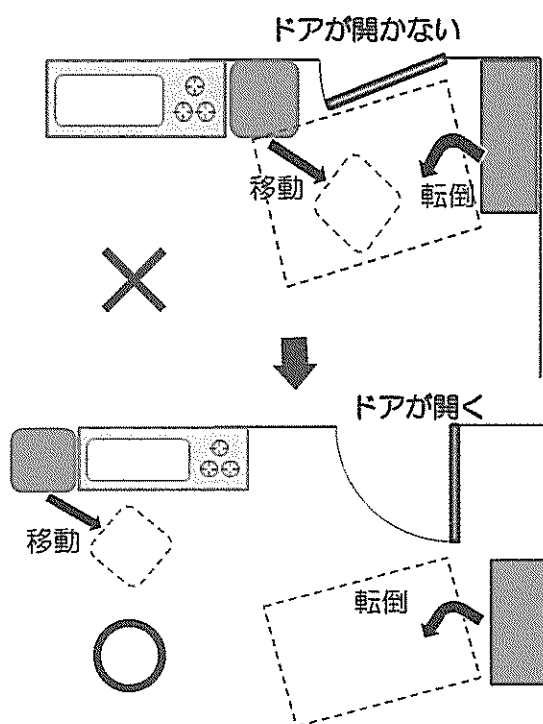
○ 概ね10階以上にお住まいの方は、従来の転倒・落下防止対策に加え移動防止対策も行うことが大切です。

安全な家具の配置

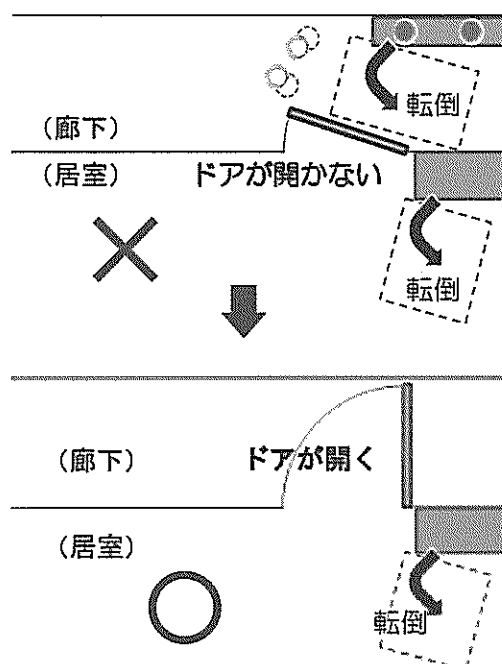
Point

- 避難通路、出入口周辺に転倒、移動しやすい家具類を置かないようにしましょう。
- 引き出しが飛び出すことで、つまずいてケガをしたり、避難の妨げになることがあるので、家具類を置く方向にも注意しましょう。

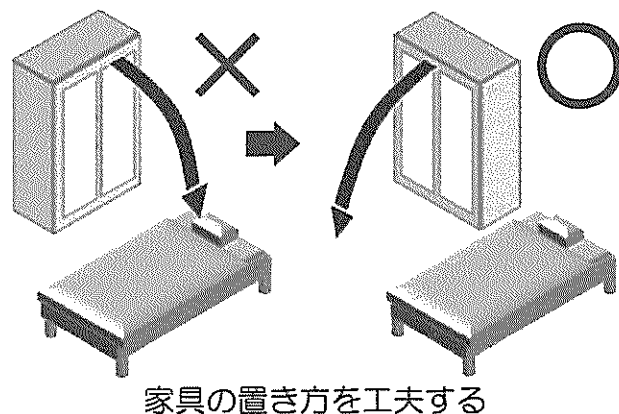
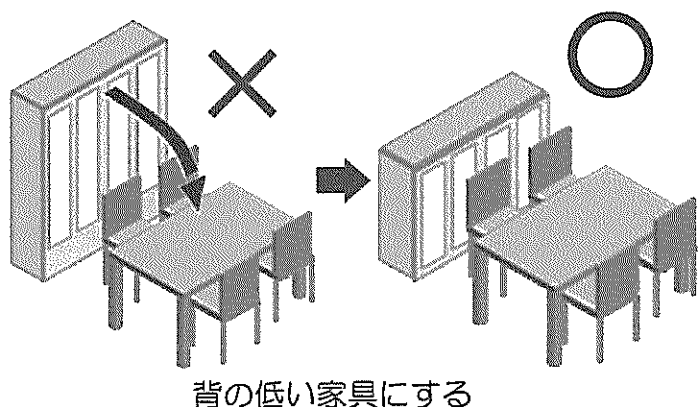
避難路をふさがない配置にします。



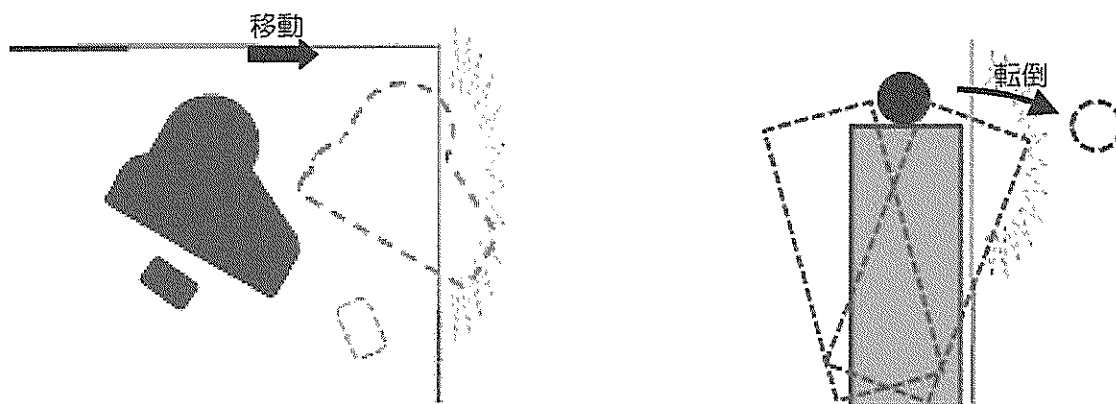
廊下には家具類を置かないようにします。



「寝る場所」や「座る場所」にはなるべく家具を置かないようにしましょう。
置く場合には背の低い家具にするか、家具の置き方を工夫します。



窓際には重量物や転倒・落下・移動しやすい物を置かないようにします。（外に落下する危険があります）



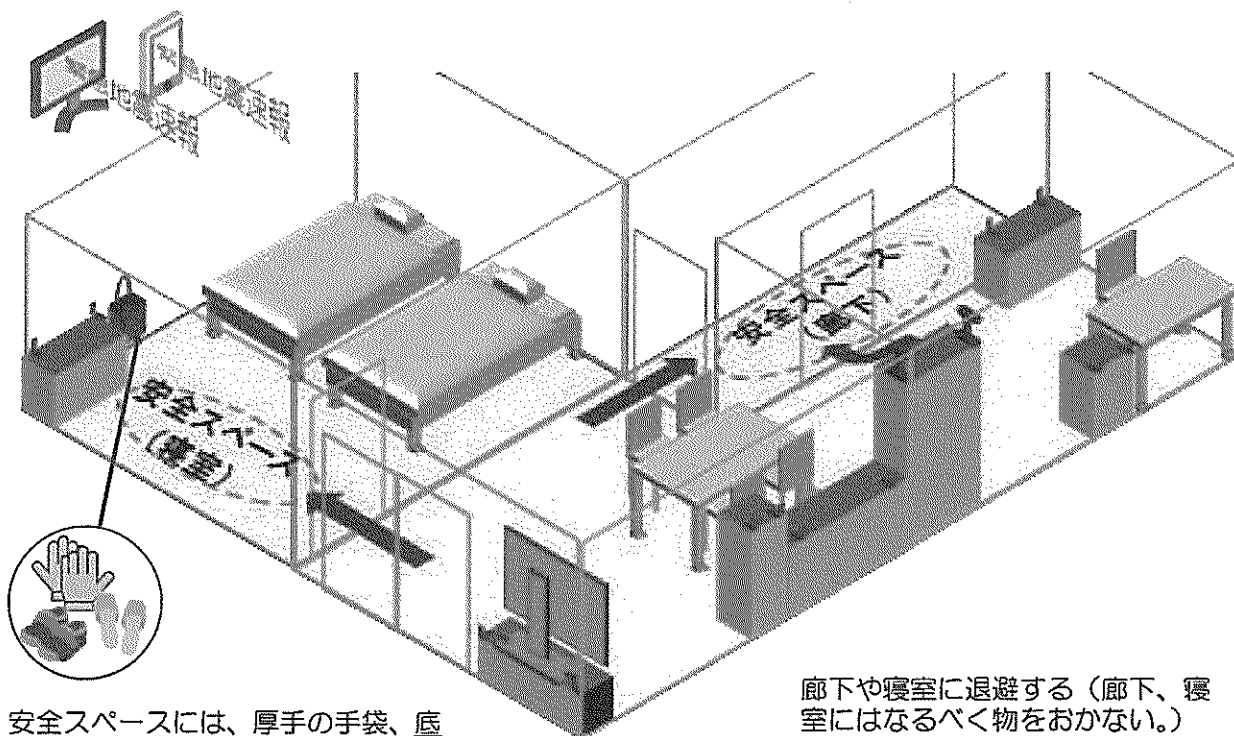
● 家の安全スペース

Point

- 住居内で、なるべくものを置かない安全スペースを作っておきましょう。
- 緊急地震速報を受けた場合は、予め定めた安全スペースへ退避し、姿勢を低くして身の安全を図りましょう。

【安全スペースの例】

寝室・自宅内廊下・共用廊下・エレベーターホールなど



安全スペースには、厚手の手袋、底の厚い履物を用意しておく

廊下や寝室に退避する（廊下、寝室にはなるべく物をおかない。）

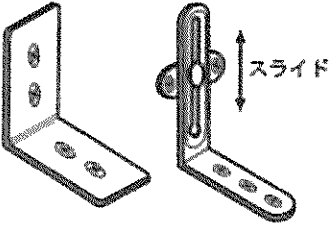
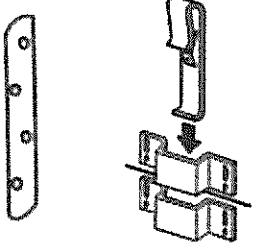
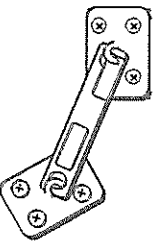
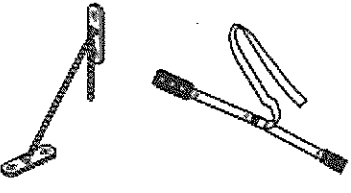
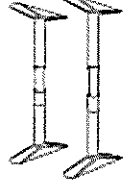
安全スペースには避難時に散乱した屋内収容物（陶器など）やガラスなどによる負傷を避けるため、厚手の手袋、底の厚い履物などを用意しておきましょう。

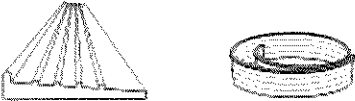
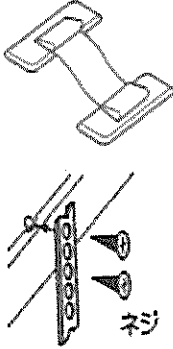
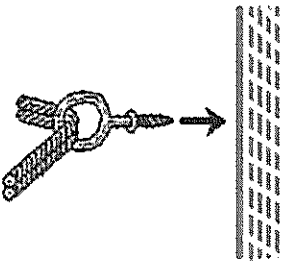
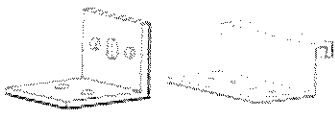
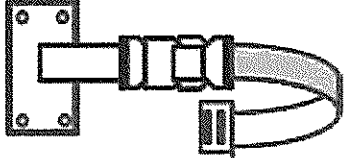
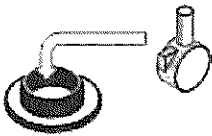
● 対策器具の種類

一般に家具や家電製品を対象とした転倒・落下・移動防止の対策器具と呼ばれているものには、次のものがあります。

[適合するものの区分]

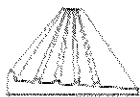
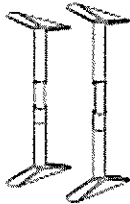
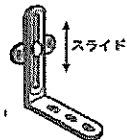
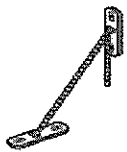
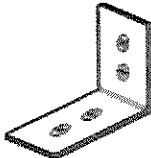
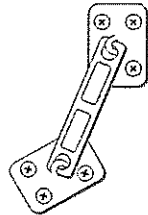
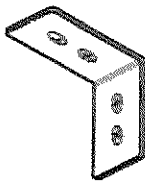
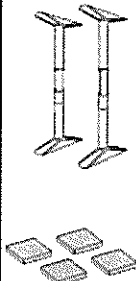
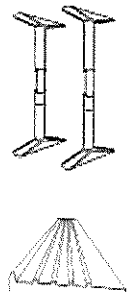
◎：効果が高い ○：効果がある △：条件によっては効果的でない場合がある。

対策器具の名称と機能	一般的形状	適合するもの 家：家庭用家具 オ：オフィス家具 電：家電製品等
L型金具 家具と壁を木ネジ、ボルトによって固定するタイプ		家：◎ 壁に強度が必要 オ：◎ 専用のものを用いる。 電：△ 形状等により適合しないものがある。
木製家具用連結金具 家具の上下を連結し転倒、落下を防ぐためのもの ネジ止めするための平金具や「かんぬき」状の金具などがある。		家：◎
プレート式器具 家具と壁にそれぞれネジ止めた金具を、金属プレートなどで結んだタイプ		家：◎
ベルト式、チェーン式、ワイヤー式 家具等と壁にそれぞれネジ止めた金具をベルト、金属チェーン、ワイヤーなどで結んだタイプ		家：○ 壁に強度が必要 電：○ 家電製品に応じた専用のものを使用する。
ポール式（つっぱり棒式） ネジ止めすることなく、家具と天井の間に設置する棒状のタイプ		家：○ 天井に強度が必要 オ：△ 家具の強度が不足し適合しないものが多い。

ストッパー式 家具の前下部にくさび状に挟み込み、家具を壁側に傾斜させるタイプ		家：○ 背の高い家具の場合は、単独で使用しても効果は小さい。
ストラップ式 樹脂製ストラップの両端に両面テープを貼付したバックルを連結したものや、ストラップの端をネジ留めすることで、主にテレビやOA機器と台とを連結する器具		電：○ 家電製品の形状、重量に応じ使用する本数を増やす。
マット式（粘着マット式） 粘着性のゲル状のもので、家具の底面と床面を接着させるタイプの器具		家：○ 比較的小さい物 電：○ 家電製品の重量等に応じ使用する大きさを変える。有効期限に注意する。
ヒートン+ロープによる方法 壁にねじ込んだヒートン（端部がリング状になった木ネジ）と家電製品等を細紐などで結んだ方式 主にテレビなどの転倒防止に用いられる。		電：○ 家電製品の重量に応じヒートンやロープの太さ、強度を増す。 壁の強度が必要
床固定金具 オフィス家具を床に固定するための金具（*）		オ：◎ 可能な限り壁固定と併用するのが望ましい。
連結金具とボルトナット オフィス家具と壁や、オフィス家具同士を連結するための金具とボルトナット（*）		オ：◎ 電：○ ボルトはM6（直径6mmのボルト）以上を使用する。
移動防止着脱式ベルト 壁とキャスター付きの家具を繋げ、家具の移動防止をするためのベルト		家：○ オ：○ 日常的に移動する家具類に使用する。
キャスター下皿 キャスターの下に置き家具類の移動を防止するもの。		家：○ オ：○ 電：○ 日常的に移動しない家具類に使用する。移動防止に併せて転倒防止を行うことが望ましい。

● 地震動に対する対策器具の効果

転倒防止器具は、震度6強の揺れを再現した実験で、その効果を測定しました。

使用条件	器具の効果				
	小				大
単 独 使 用	ストッパー式 	ポール式 	L型金具 (スライド式)  ベルト式  チェーン式 	L型金具 (上向き取付け)  プレート式 	L型金具 (下向き取付け) 
	マット式 	取付け条件 家具と天井に十分な強度が必要			
	取付け条件 家具、壁面や器具に十分な強度が必要				
組 合 せ 使 用 (例)			ポール式 + マット式 	ポール式 + ストッパー式 	

Point

- 家具をL型金具などで壁に直接ネジ固定する方法が最も効果が高い。
- 家具の上部と天井の間に、ポール式やすき間家具などで家具を固定する場合は、ストッパー式や粘着マット式を併用すると効果が高い。
- ポール式の場合は、天井に下からの突き上げに耐える強度が必要で、強度がない場合は、当て板等で補強する必要がある。
- マット式やストッパー式の器具の単独使用は効果が小さい。家具の重量、奥行きなどの条件によつての違いはあるが、一般に大きな家具には適していない。

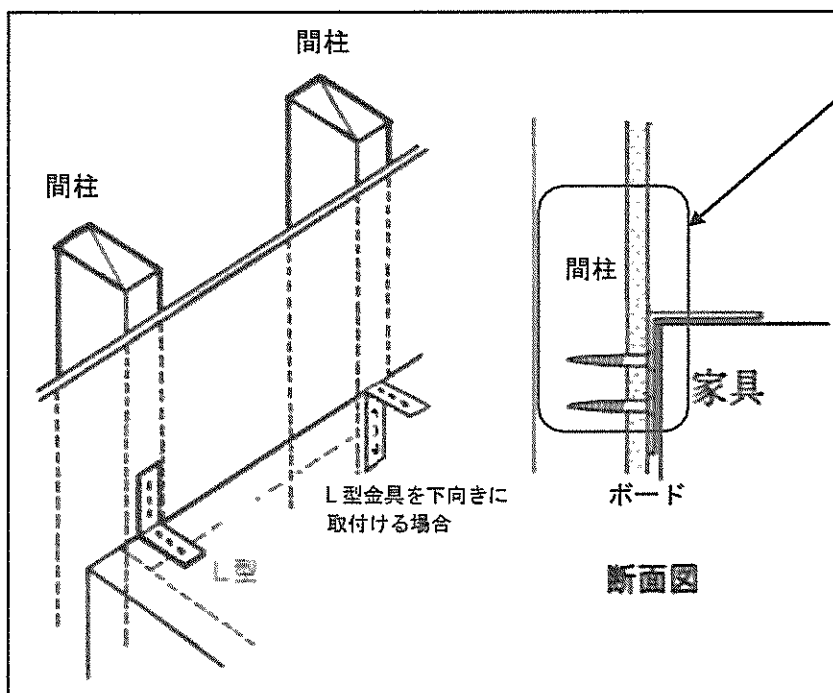
家庭用家具の転倒・落下・移動防止対策

壁に固定する場合

Point

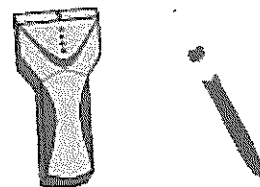
- 転倒・落下・移動防止対策の基本は、ネジによる固定です。その場合、家具を固定する対象は、壁下地の柱、間柱、胴縁等とします。
- 木ネジは長めのものを使用し、ネジ頭までしっかりねじ込みます。
- 付け鴨居は、強度が確認された場合、これに固定することが可能です。
- 上下2段式の家具など、やむを得ず積み重ねる場合は金具などで連結します。

L型金具の取付け



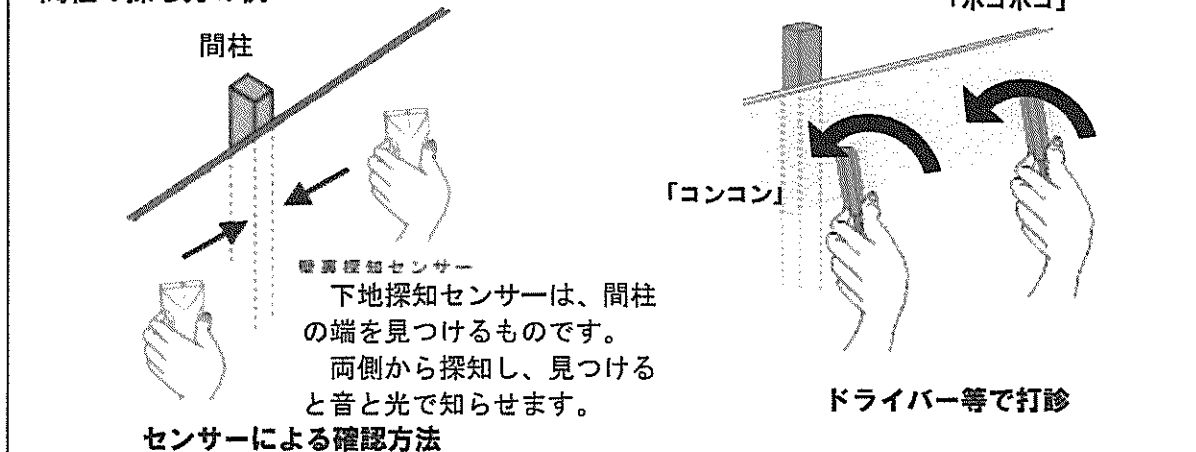
壁にL型金具を用いて固定するには、壁の下地材に取付けることが大切です。

下地材の位置は、下地探知用センサー等の機器、市販の専用プッシュピンといった器具、音による打診により判断できます。



下地探知用センサー・プッシュピン

間柱の探し方の例



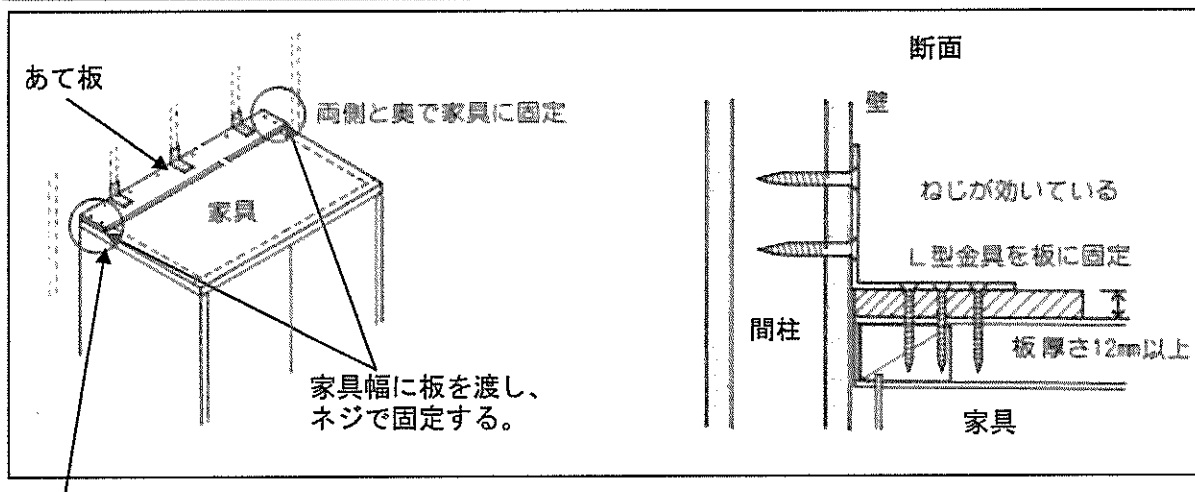
壁面探知センサー

下地探知センサーは、間柱の端を見つけるものです。両側から探知し、見つけると音と光で知らせます。

センサーによる確認方法

ドライバー等で打診

L型金具の取付（家具の天板に強度がない場合）



家具の天板の後ろ側にしっかりとした棧の入っていないものは、家具の幅全体に板を渡しネジ止めしてから金具を取り付けます。

金具をネジ止めする際には、長めの木ネジを使用して取り付けてください。

● 付け鴨居に固定する場合

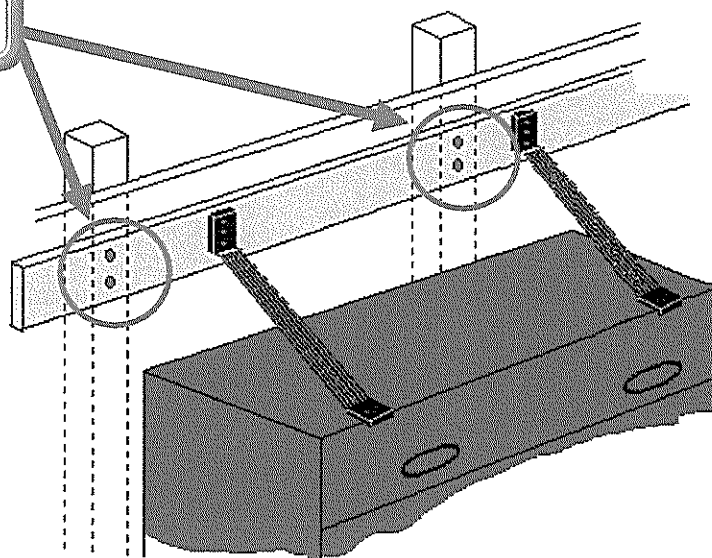
居室の壁に付け鴨居や長押、横木などがある場合は、ベルト式やチェーン式などの器具を使って固定する方法があります。

従来の木造住宅は、真壁構造が多く、付け鴨居は構造部材の一つで強度がありますが、最近の木造住宅は大壁構造となっており、付け鴨居は石膏ボードに接着されているものが多くなっています。

Point

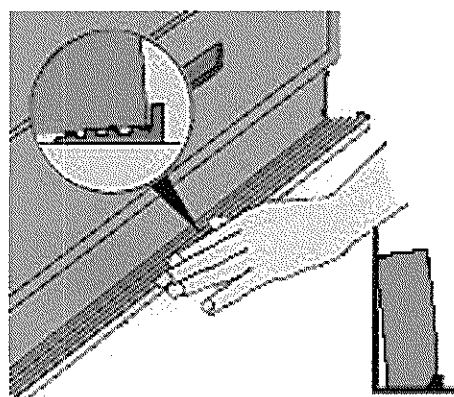
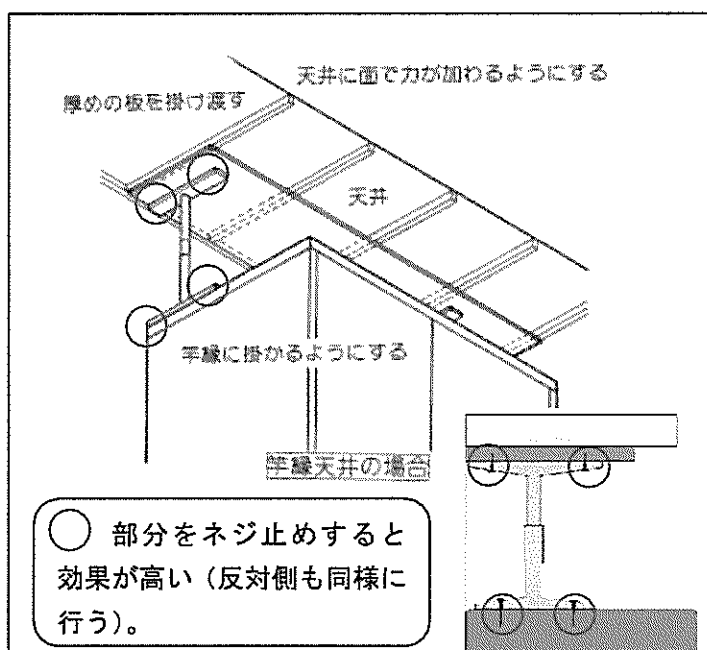
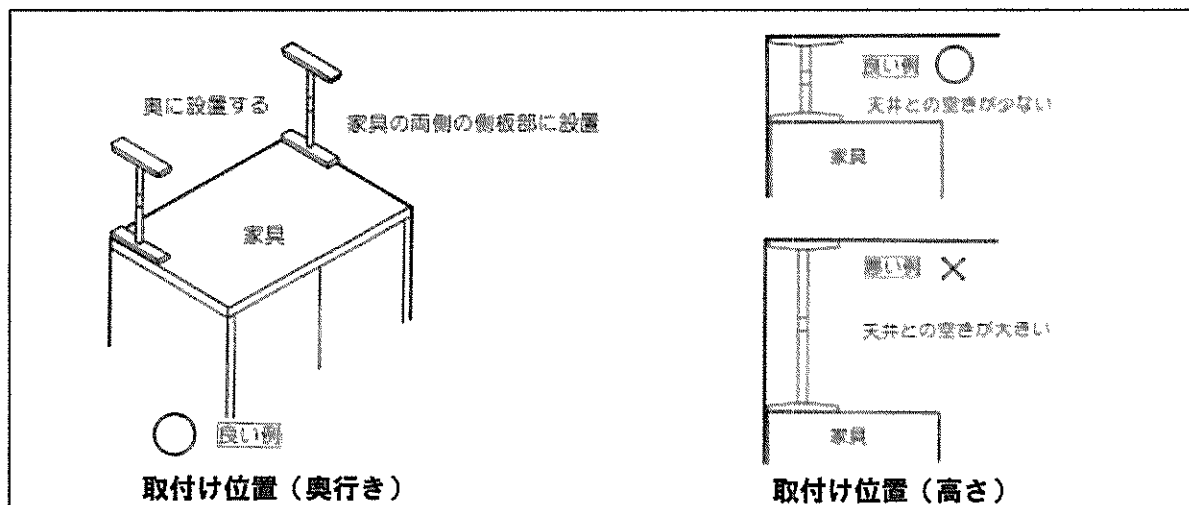
付け鴨居等が石膏ボードに接着剤で付けられている構造の場合は、付け鴨居等を間柱等に木ネジで止めた上で、対策器具を取り付けます。

間柱等に対して、付け鴨居をネジで固定する。



● ポール式転倒防止器具・ストッパー式器具の取付方法

壁や柱にネジ止めできない場合、天井との間にポールを突っ張って、固定する方法などがあります。



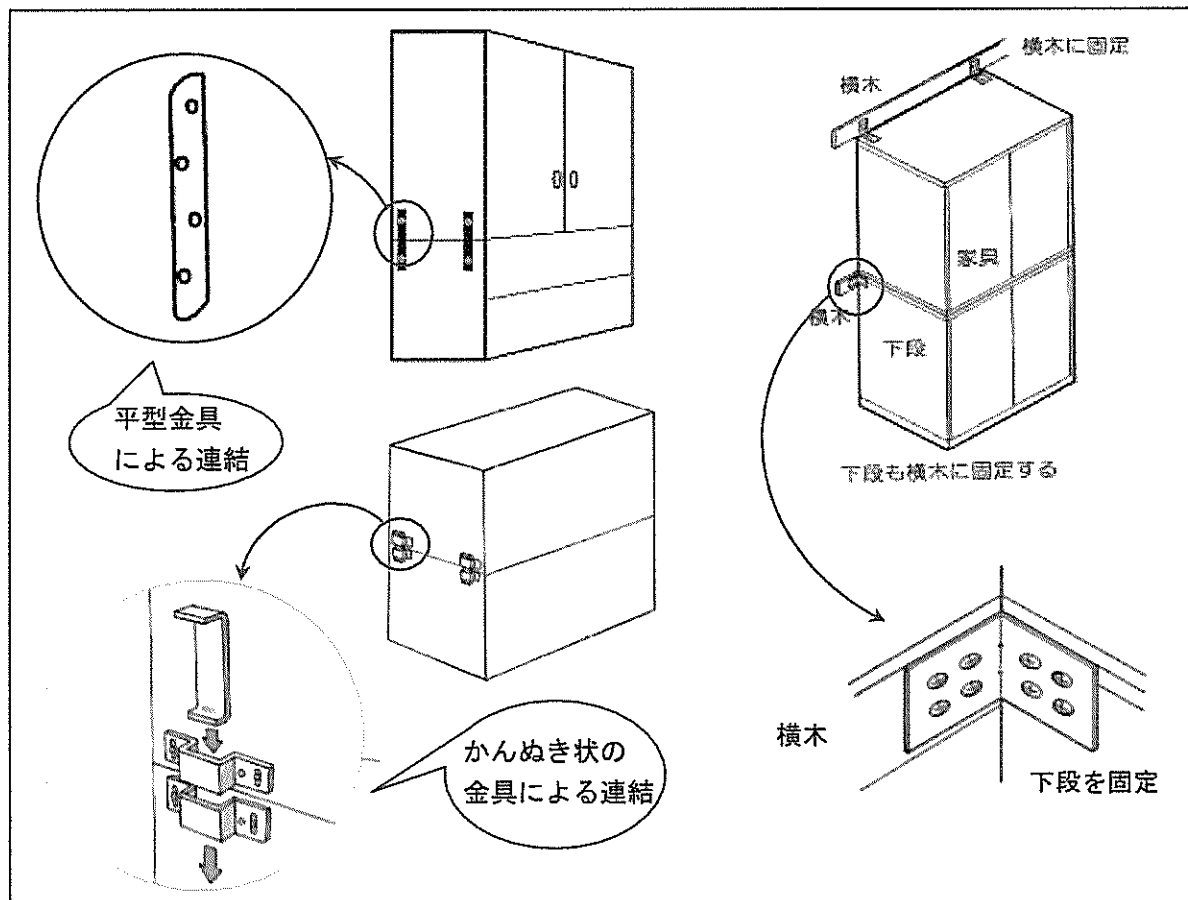
ポール式を使用する場合は、ストッパー式やマット式と併用し、家具の上下に対策を取る。



Point

- ポール式器具は、家具の両側の側板部の壁側奥に設置します。
- ポール式器具はできるだけ奥に取付けます。
- ポール式器具を取り付ける時は天井に十分な強度（マンションのコンクリート天井など）があることを確認します。
- 天井に強度がない場合には、天井側に家具の幅以上の板で補強し、更にポール式と当て板をネジで固定すると効果が高くなります。
- ポール式器具は奥行きのない家具、天井との間隔が大きい場合には不向きです。
- ストッパー式器具は家具の端から端まで敷きます。
- ※ ストッパー式やマット式の単独使用は、大きな家具の場合は一般的に適しません。

● 連結金具の取付



二段重ねの家具類は、上下を平型金具等で連結して一体化したうえで、家具の固定を行います。連結をしない場合は、上段、下段それぞれを横木等に固定します。

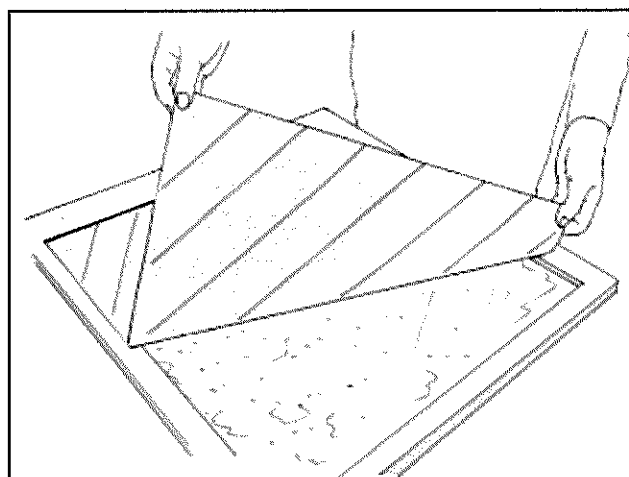
● ガラス飛散防止フィルムの貼り付け

ガラスの破損や収納物の飛び出しを防止するためには、ガラス飛散防止フィルムの貼付が効果的です。

ガラス戸の両面にはることにより飛散防止効果が高くなります。

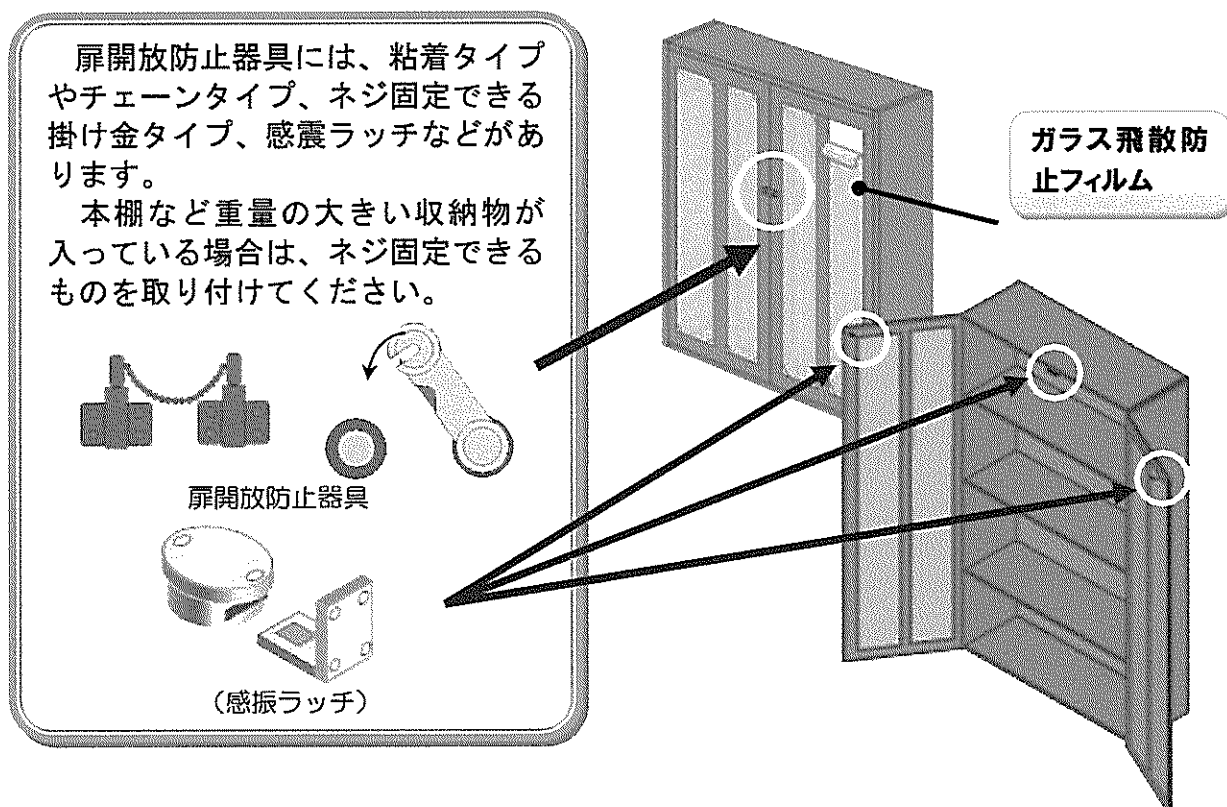
片面に貼る場合は、外側のガラス面に貼って下さい。

霧吹きなどで、ガラスとフィルムに十分な水を吹きかけて貼付します。



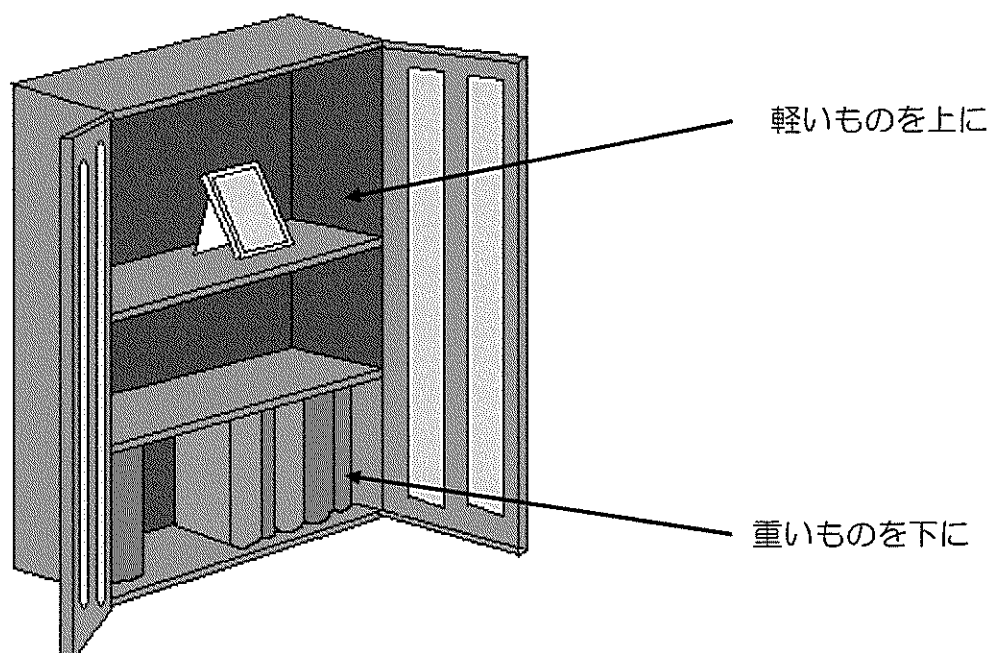
● 扉開放防止器具の取付

食器棚等は、地震動によって扉が開いた場合、収納物が散乱し、食器類の割れた破片などでけがをする危険性があるので、観音開きの扉には扉開放防止器具を設置します。



● 収容物の工夫

重いものを下に置くことで、家具の重心を下げ、転倒しにくくします。

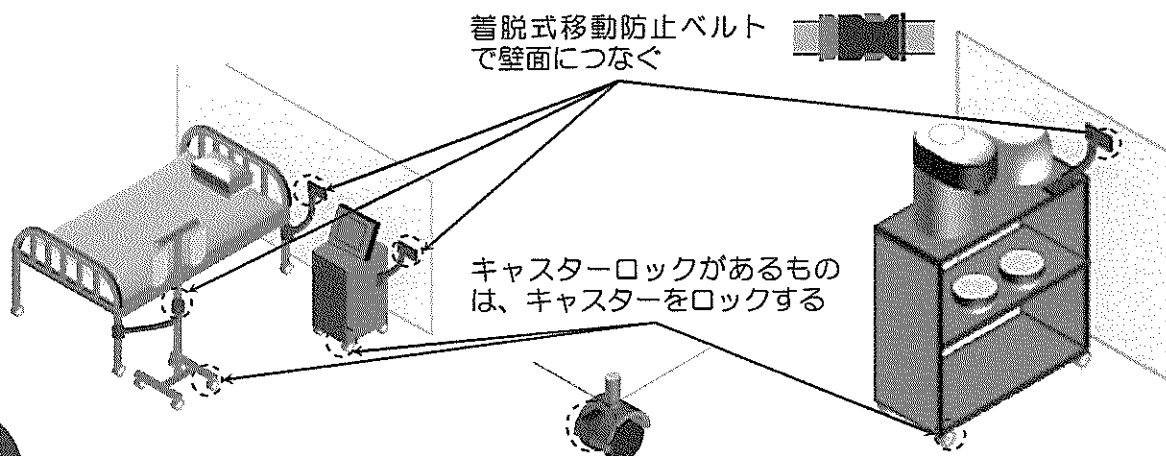


家具類の移動防止対策

Point

○ 日常的に動かす家具類の移動防止対策

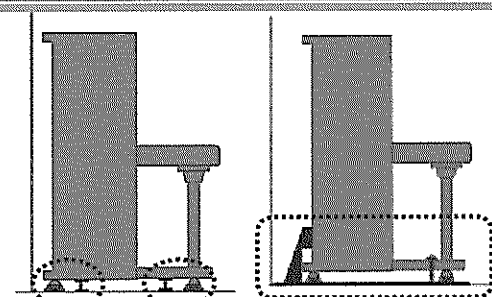
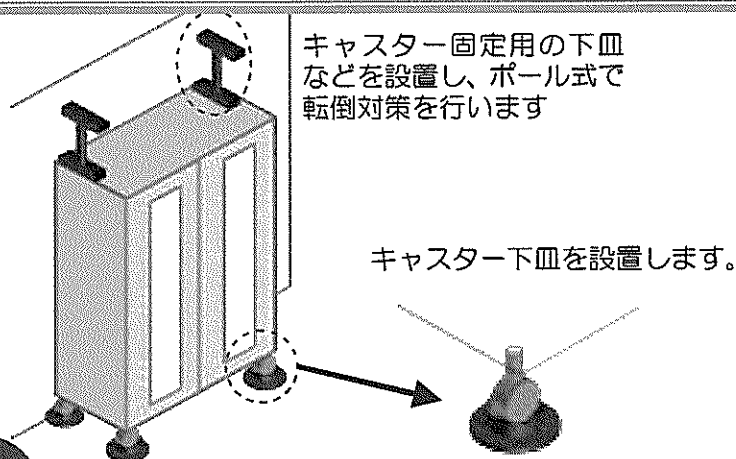
- ・移動時以外は必ずキャスターロックをかけましょう。
- ・定位置がある場合は、壁面や床面などに固定された着脱式のベルトなどで繋げましょう。



Point

○ 日常的に動かさない家具類の移動防止対策

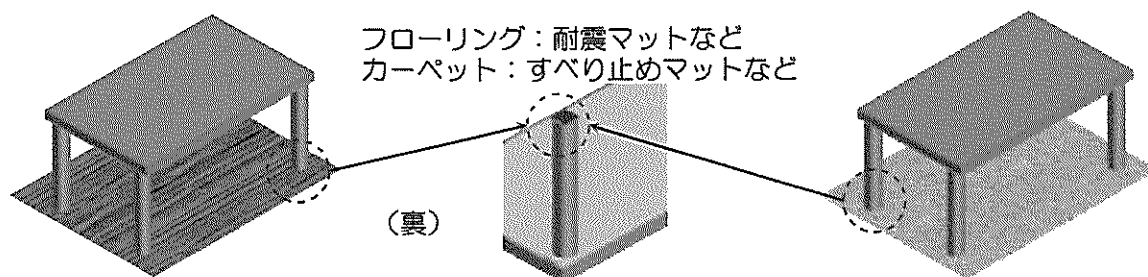
- ・キャスター固定用の下皿等を設置し、ポール式器具等で転倒防止をしましょう。
- ・キャスターとアジャスターが設置されている機器は、アジャスターを使用しましょう。



Point

○ キャスターなしの家具類への対策（壁に接して配置することが困難な家具類）

- ・フローリングなど固く平らな床面には、床と家具との接触部に粘着式の耐震マットを設置しましょう。
- ・カーペットの床面では、床と家具との接触部にすべり防止マットを設置しましょう。

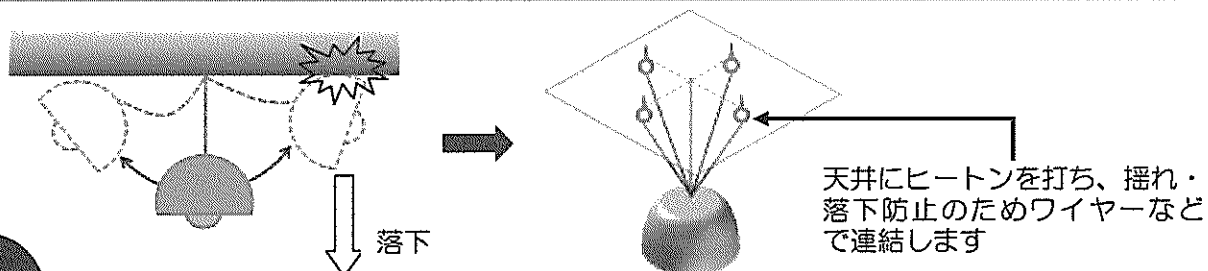


大きくゆっくりした揺れに対し注意すべき家具類への対策

Point

○ 吊り下げ式照明

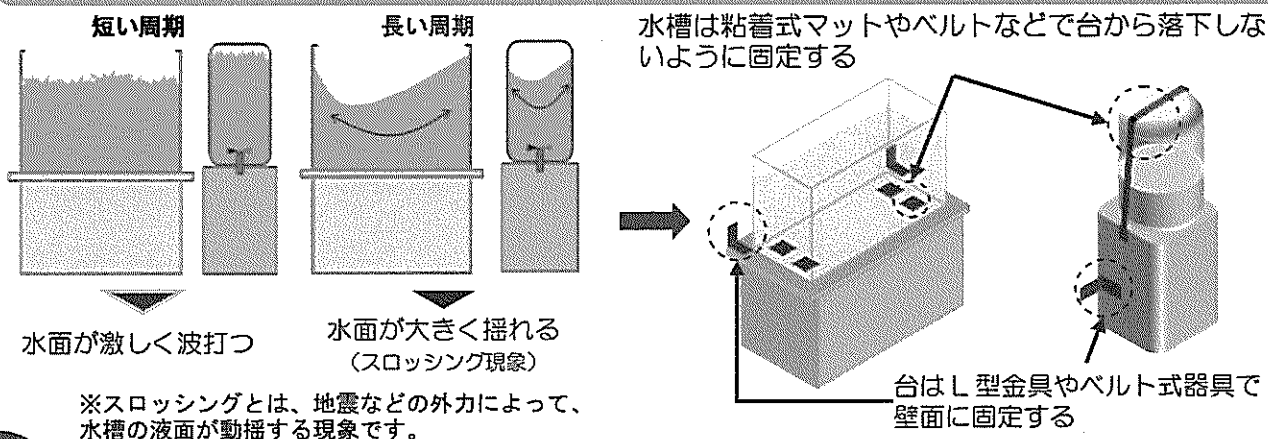
- ・大きく揺らされることによって天井に衝突し、落下する危険があります。
- ・ワイヤー固定等で揺れを防止しましょう。



Point

○ 観賞用水槽、ウォーターサーバーなど水をためるもの

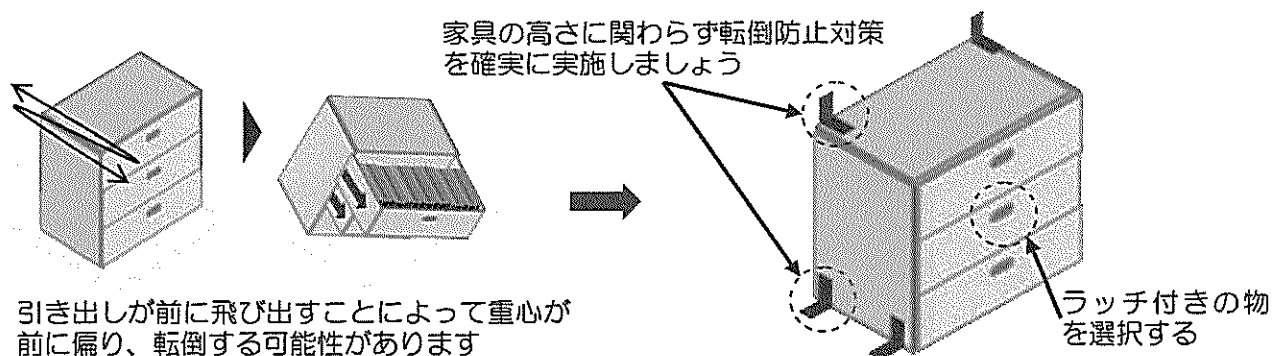
- ・中の水がスロッシング*を起こすと、水槽の重心が大きく変動を繰り返して転倒する危険が大きくなります。
- ・水槽と台を固定するだけではなく、台を壁と固定しましょう。



Point

○ 引き出し型の収納家具

- ・引き出し方向と揺れの方が一致した場合に引き出しが飛び出すことによって、重心位置が移動し転倒します。
- ・引き出し式の収納家具には、なるべく重いものは収納しないようにしましょう
- ・引き出しにラッチが付いているものを選択しましょう。

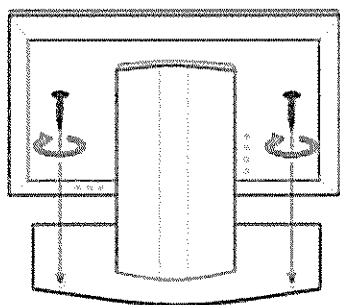


家電製品の転倒・落下・移動防止対策

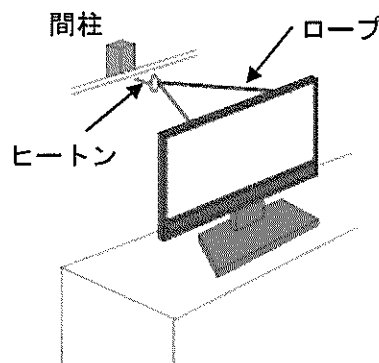
● テレビの転倒・落下・移動防止対策

Point

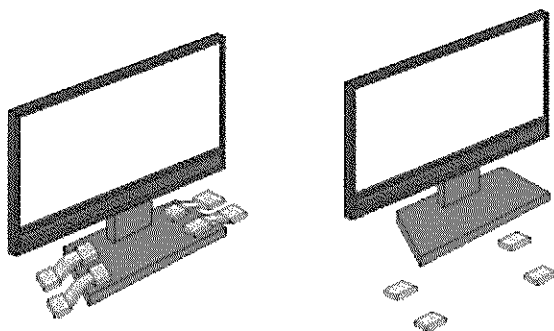
- 床、壁に固定されたテレビ台とテレビを直接固定するのが最も確実な方法です。
- ストラップを使って連結・固定する場合は、テレビ本体の形状・重量に応じて本数を増やすことが重要です。（4本以上）
- 粘着性マットで固定する場合は重量、台座の形状のほかに、取付け面の凹凸にも注意しましょう（凹凸が大きいと粘着しない。）。
- 壁等とヒートンを使用して固定する場合は壁の強度と、テレビの重量に耐えるヒートンや紐の太さ、強度を確認しましょう。
- 取り扱い説明書に従い固定しましょう。
- キャスター付きのテレビ台は、移動防止対策をしておくことが重要です。



薄型テレビ本体（または脚など）を、直接ボルト等でテレビ台に固定することができる商品は、取扱説明書の方法に従って取り付けてください。

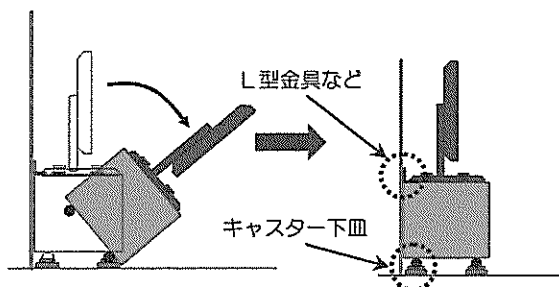


壁からヒートン及びロープ等で転倒防止をする場合は、ヒートンは壁の強度のある間柱等に取り付けるとともに、テレビの重量に耐えるヒートン（リング式）及びロープを選びます。



テレビがテレビ台へのネジ固定に対応したものとなっていない場合は、ストラップ式器具や粘着マット式等で固定します。

この場合、テレビの重量等に応じて、ストラップ式や粘着マットの数を増やします。



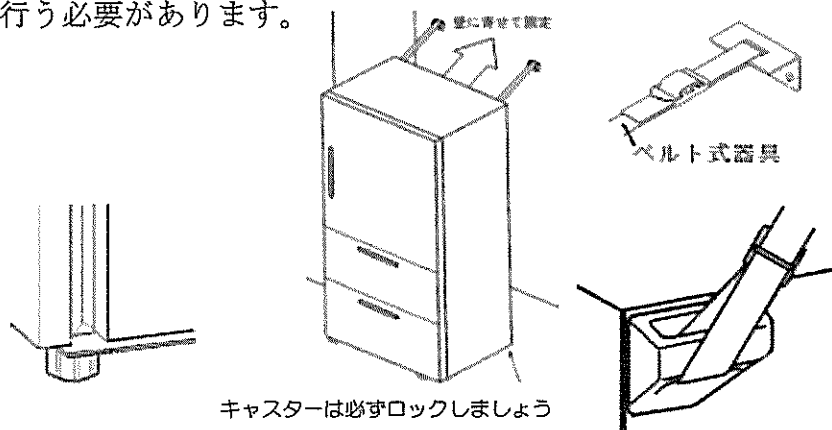
テレビは重心が高いため、テレビをテレビ台に固定したのみでは、テレビ台ごと転倒することがあります。テレビ台にも転倒防止対策を行うことが重要です。

● 冷蔵庫の転倒・移動防止対策

Point

- 冷蔵庫の背面上部のベルト取付け部分と壁とをベルトで連結すると、効果が高くなります。
- 冷蔵庫は、移動や転倒したときに備え、避難の障害にならないように置き方を工夫しましょう。
- 冷蔵庫の固定脚を引き出し、ロックするとともに、必ず上部固定も併用しましょう。

冷蔵庫の底には移動用のキャスターが付いているため、地震の揺れで容易に大きく移動することがあります。脚の部分のロックを行うとともに、転倒防止対策を実施する必要があります。冷蔵庫の転倒・移動防止には、冷蔵庫の上部をベルトなどで背面の壁と連結することが有効ですが、壁側にネジ止めをする器具の場合は、壁の強度のある部分で行う必要があります。

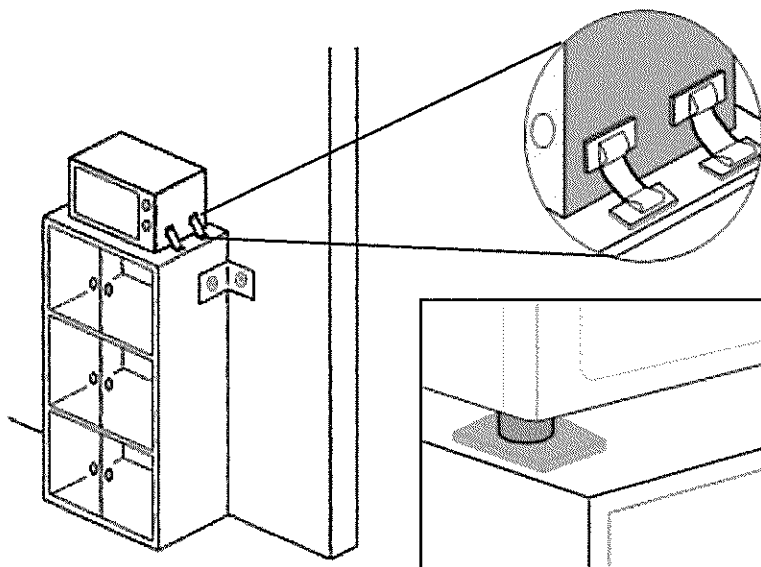


キャスターは必ずロックしましょう

● 電子レンジの落下・移動防止対策

Point

- 電子レンジ本体を台または壁に固定するとともに、レンジ台を床または壁と固定しましょう。



ストラップ式を用いて電子レンジを固定した例

粘着マット式を用いて電子レンジを固定した例

多く寄せられる質問

質問 1 対策器具の値段や販売先を教えてください。

対策器具の価格は、対策器具の種類によって異なり、安いもので数百円から、高いもので数千円程度です。家具販売店やホームセンターをはじめ、百貨店の防災用品コーナーなどで販売しています。

質問 2 対策器具の取付け業者を教えてください。

お近くの工務店やシルバー人材センターで取り付けてくれるところがありますので、確認して下さい。

また、対策器具の取付けサービスを実施している家具販売店や、ホームセンターで家具類の転倒・落下・移動防止方法やガラス飛散防止フィルム等の貼り方についてのアドバイザーを置いている店舗もあります。

質問 3 対策器具の助成制度について教えてください。

区市町村では、高齢者や障害者世帯に対して、対策器具等を無料や少額で取り付ける事業を実施しているところがあります。ただし、対象としている方や助成制度の内容については、各区市町村で違いますので確認して下さい。

質問 4 東京消防庁には、対策方法を説明した資料はありますか？

東京消防庁では、これまで家具の転倒等に関する実験を実施しており、安全な家具の置き方をはじめ、効果的な転倒防止器具の取付け方法やガラス類の飛散防止に関する指導指針をまとめました。

転倒防止措置の指針については、東京消防庁のホームページ※に掲載しています。

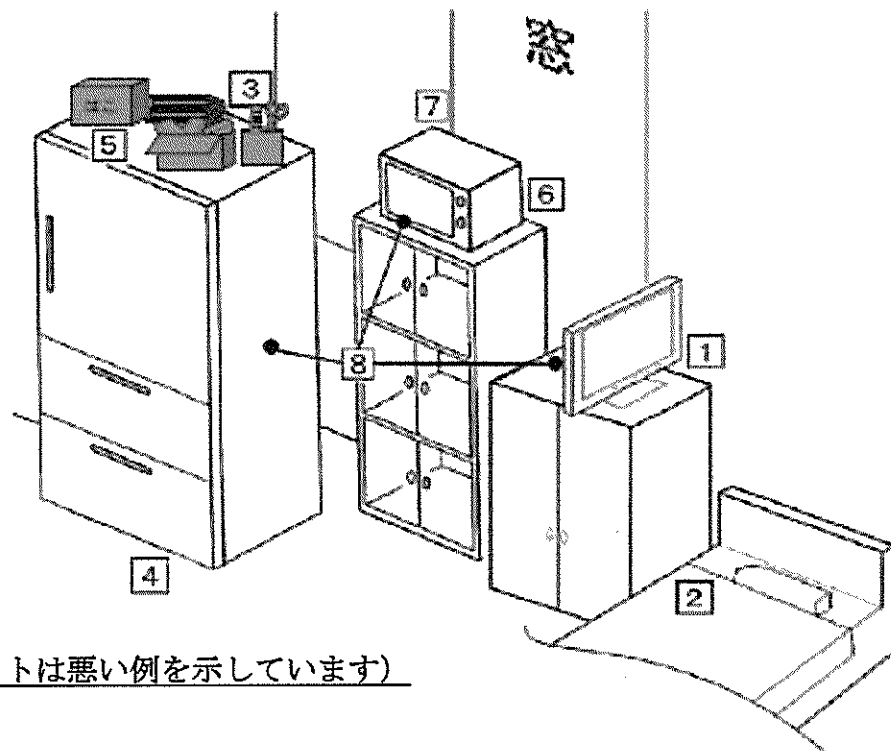
また、この指導指針を基に、「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」を作成し、各消防署に配置しております。

※東京消防庁のホームページ (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>)

チェックリスト

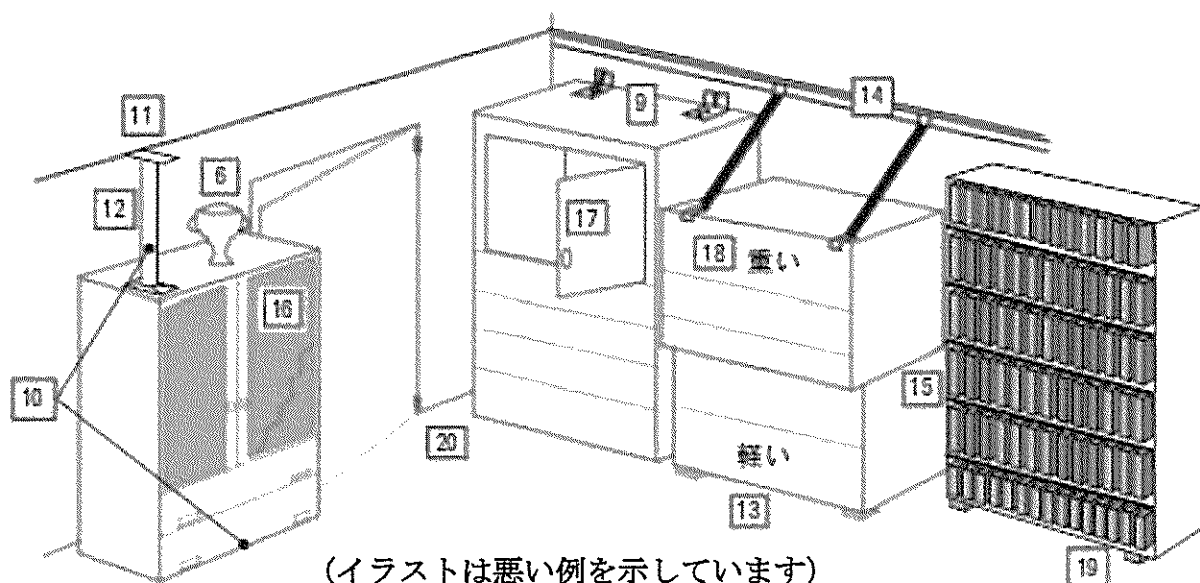
● 家庭内の転倒・落下・移動防止チェックリスト

このチェックリストを使用し、ご自宅の家具類の転倒・落下・移動防止対策を行いましょう。



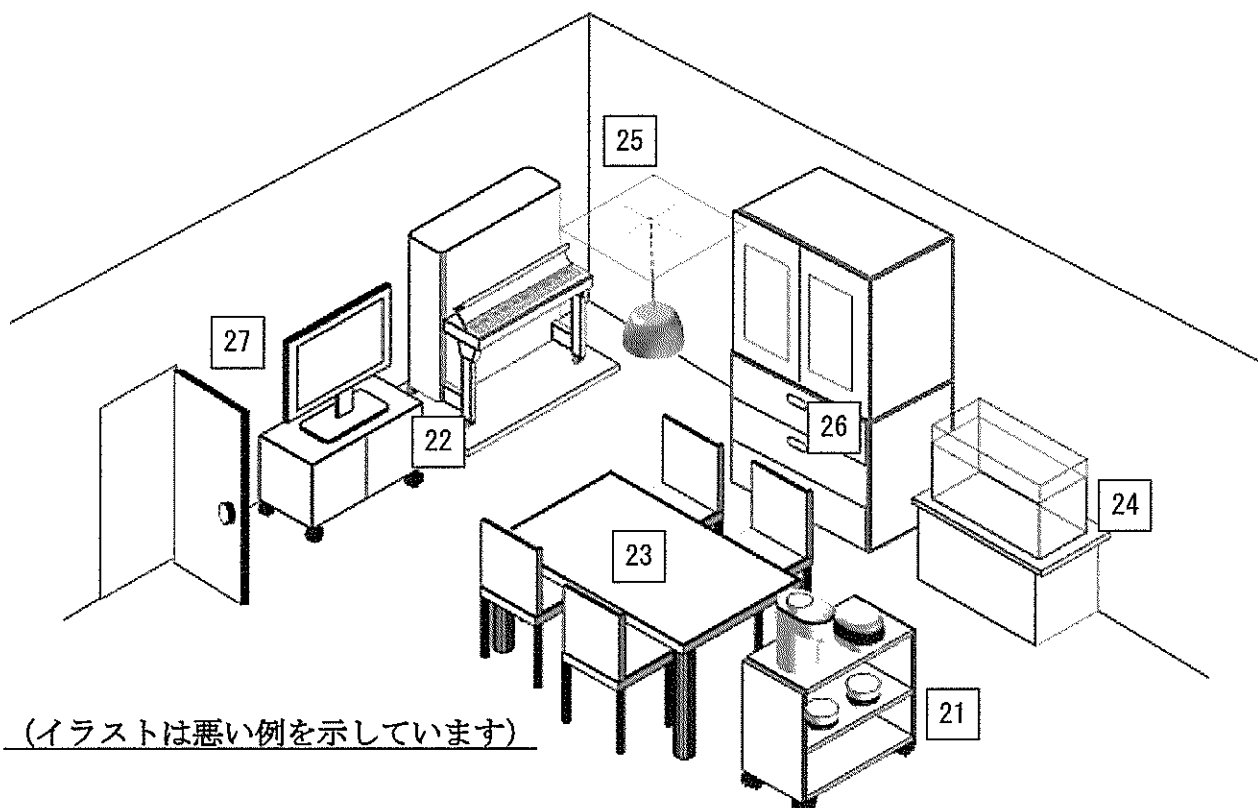
(イラストは悪い例を示しています)

	項目	チェック
1	テレビを壁またはテレビ台に固定するとともに、テレビ台も固定している。	
2	テレビが転倒・落下・移動しても、人に当たったり、避難障害にならないところに置いている。	
3	冷蔵庫を、ベルトなどで壁と連結している。	
4	冷蔵庫が移動しても、避難障害にならない場所に設置している。	
5	冷蔵庫や家具類の上に、落下しやすい物を置いていない。	
6	電子レンジをレンジ台などに固定するとともに、レンジ台も固定している。	
7	窓ガラスの近くに、大型の家電製品や家具を置いていない。	
8	家電製品は、付属している取扱説明書に従って転倒・落下・移動防止対策を行っている。	



9	Ｌ型金具を使用する場合は、壁の下地材（間柱など）や柱など、強度がある部分に固定している。	
10	ポール式を使用する場合は、ストッパー式やマット式と併用している。	
11	ポール式を使用する際、天井に強度がない場合は、あて板で補強している。	
12	ポール式は、できるだけ奥に取り付けている。	
13	ストッパー式は、家具の端から端まで敷いている。	
14	石膏ボードに接着されているだけの付け鴨居の場合は、補強したうえで、転倒防止器具を取付けている。	
15	上下に分かれている家具は、上下を連結している。	
16	ガラスにはフィルムを張るなど、飛散防止をしている。	
17	収納物が飛び出さないよう、扉に開放防止器具を付けている。	
18	重いものを、できるだけ下に収納している。	
19	固定に用いる器具は、家具類の重さや形状に応じて選んだ。	
20	家具が転倒しても、避難路を塞がない置き方をしている。	

◎ 高層階（概ね１０階以上）では、以下のことについても確認しましょう



21	日常的に動かすキャスター付き家具類は、動かさないときはキャスターロックをするとともに、着脱式ベルトなどで壁につなげている。	
22	日常的に動かさないキャスター付き家具類は、キャスターをロックして下皿を設置するとともに、転倒防止対策をしている。	
23	壁に接していないテーブル等には、脚に滑り止めをしている。	
24	観賞用水槽等を台と固定し、台を壁と固定している。	
25	吊り下げ式の照明に揺れ防止をしている。	
26	引き出し式の家具類にはラッチがついているものを使用するなど、引き出しの飛び出し防止をしている。	
27	出入口の近くにキャスター付きの家具類を置いていない。	

地震 その時10のポイント

東京消防庁では、東日本大震災を受け、「地震その時10のポイント」を改定しました。

地震時の行動

地震だ！まず身の安全



- ・ 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- ・ 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

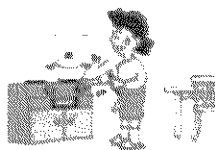
【高層階（概ね10階以上）での注意点】

- ・ 高層階では、揺れが数分続くことがある。
- ・ 大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



地震直後の行動

落ち付いて 火の元確認 初期消火



あわてた行動 けがのもと

窓や戸を開け 出口を確保

門や塀には 近寄らない

地震後の行動

改定

火災や津波 確かな避難

正しい情報 確かな行動

確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

協力し合って 救出・救護

避難の前に安全確認 電気・ガス

家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック

— 室内の地震対策 —

平成24年7月 第2版

東京消防庁防災部震災対策課

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>

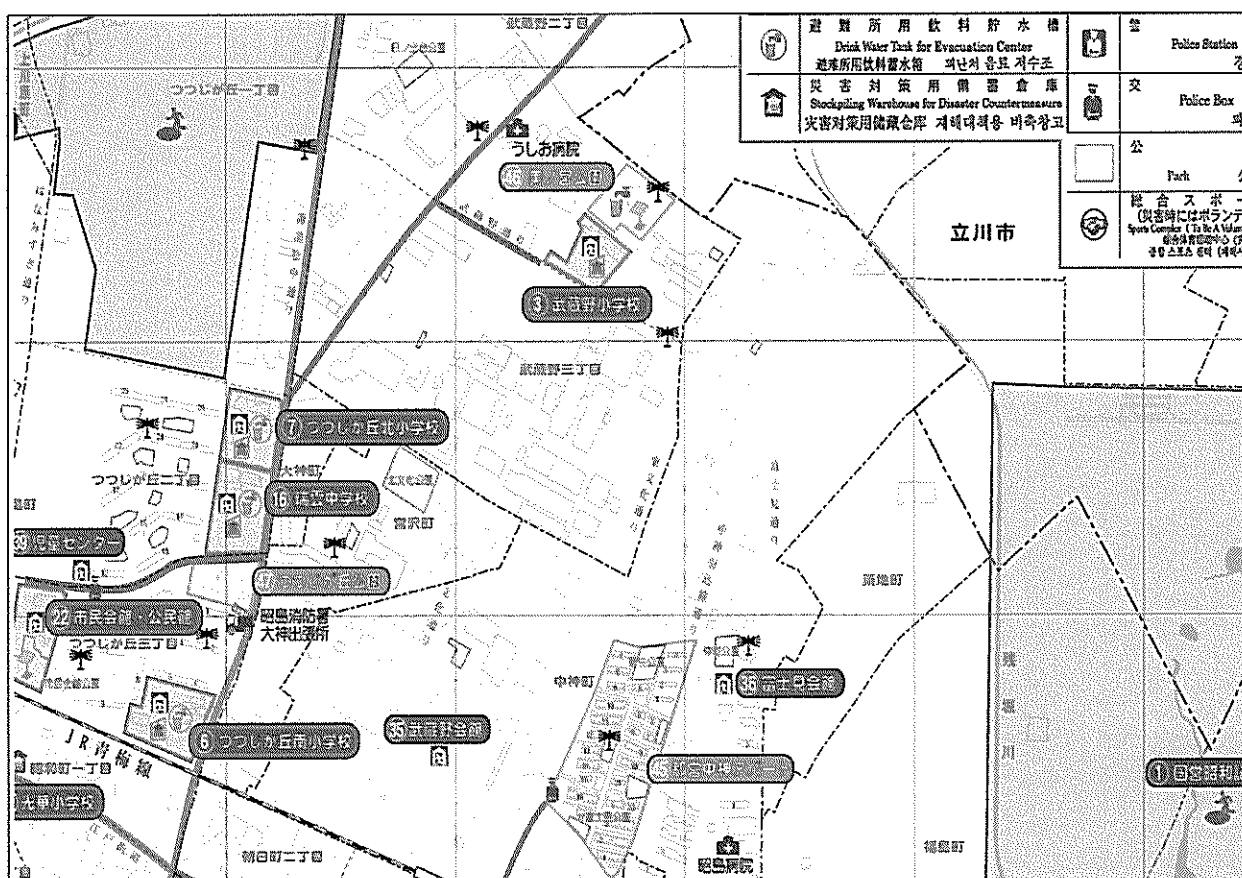


第3章 避難所について

3. 1 避難場所と避難所の定義

名 称	内 容
避難所	災害による家屋の倒壊、焼失などで被害を受けた方、または被害を受ける恐れのある方を一時的に受け入れ保護するために開設する学校施設（体育館・校舎等）
市立会館等	何らかの事情で集団の避難生活を送るのが困難な方を一時的に受け入れ保護するために開設する施設（集会室・会議室等）
二次避難所 （福祉避難所）	高齢や障害があるなどで介護を必要とし、集団の避難生活を送るには困難性がある者を一時的に受け入れ保護するために開設する施設（保健福祉施設）
一時（いつとき） 避難場所	避難所へ避難する際に近隣の人が一時的に集合して様子を見る場所で、安全が確保できるスペースのある学校のグラウンド、公園等
広域避難場所	大規模災害時に発生する延焼火災やその他の危険から生命を保護するのに必要な面積を有する大規模公園、緑地等のオープンスペースで、身の安全を確保するための広場

3. 2 実際の避難場所・避難所



【学校避難所】	【会館避難所】	【二次避難所】	④7つつじが丘公園
③武蔵野小学校	③5武蔵野会館	あいぽっく	【広域避難場所】
⑦つつじが丘北小学校	③6富士見会館	【一時避難場所】	①国営昭和記念公園
⑩瑞雲中学校	②2市民会館・公民館	④5都営中神アパート	②昭和の森ゴルフコース
⑥つつじが丘南小学校	②9児童センター	④6美の宮公園	

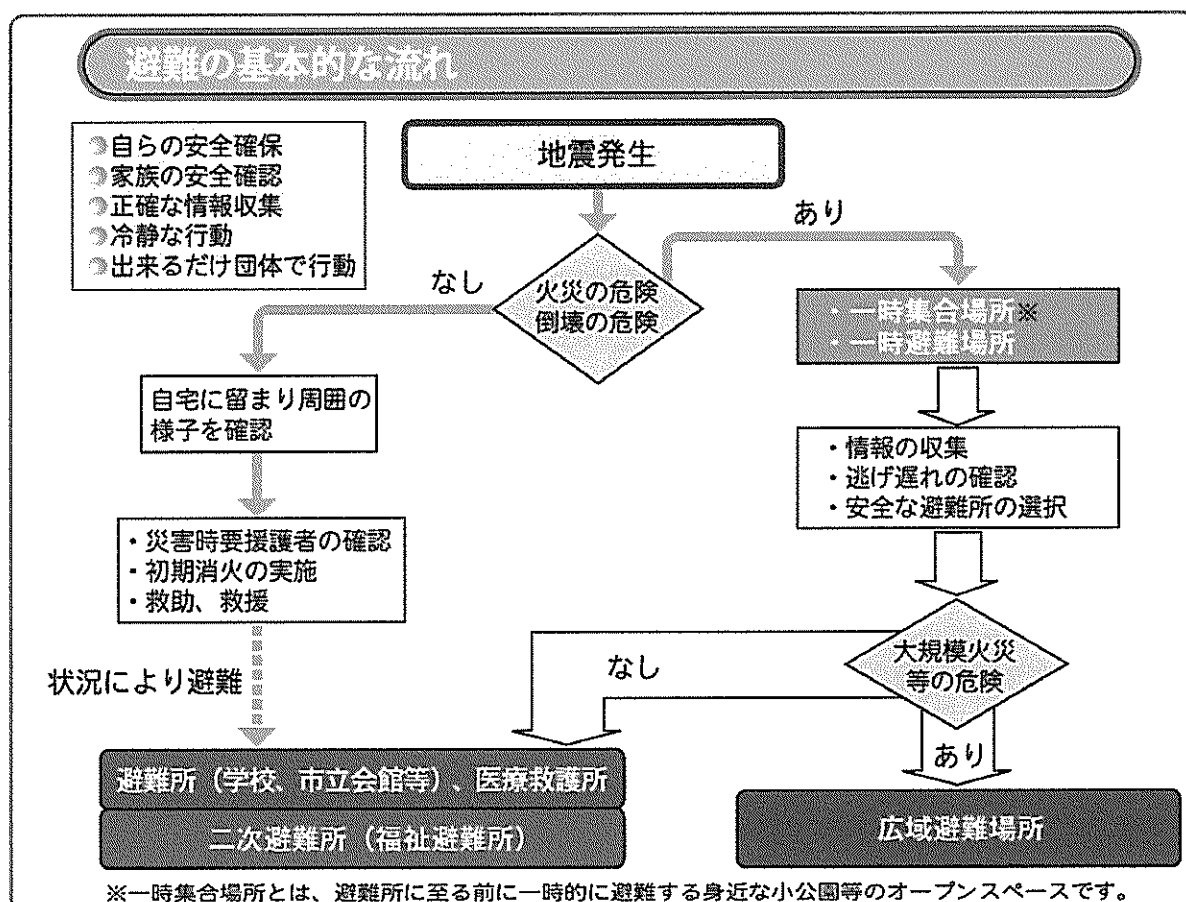
3. 3 避難の流れについて

①市民が地震等の災害発生により避難しなければならない場合は、まず一時的に身の安全を確保するため、公園、学校のグラウンド、緑地などオープンスペースのある「一時避難場所」や「広域避難場所」へ避難します。地域によって避難場所は指定されていませんので、あらかじめ家族と相談して避難場所を決めておくといよいでしょう。

※15 ブロック地域の一時避難所、広域避難場所は前項を参照してください。

②長期避難が予想される場合または屋内への避難が必要と判断した場合は、市が開設する「避難所」へ避難することになります。

下図は基本的な避難の流れを示しています。



③自主防災組織の一時集合場所について

15 ブロックでは各自治会単位で避難するときに集まる一時集合場所を設定しています。ひとりでの避難に不安や困難がある場合は、自治会単位の一時的集合場所にまずは避難しましょう。下表は各自治会の一時的集合場所ですので、参考にしてください。

昭文自治会	新畑こども広場	ブルーミング自治会	武蔵野3丁目児童公園
中神団地自治会	東側駐車場	文化自治会	お祭り広場
バーデン自治会	中庭滝前	むさしの自治会	自治会集会所
日の出自治会	日の出公園	メゾン自治会	北文化公園

3. 4 避難所収容の対象となる者

- ①災害によって現に被害を受けた者
- ②災害によって被害を受ける恐れのある者
- ③帰宅困難者

※ 災害発生直後は、上記要件を満たしているか否かの客観的判断は困難なので、避難が必要であって受け入れを求める者がいれば収容する。

3. 5 各避難所の収容人数

施設名	収容人数	施設名	収容人数
武蔵野小学校	464	富士見会館	204
つつじが丘南小学校	559	市民会館・公民館	557
つつじが丘北小学校	539	児童センター	464
瑞雲中学校	561	保健福祉センター	894
武蔵野会館	309		

3. 6 避難所の管理運営にあたる職員について

昭島市は、避難所の運営にあたる職員を次の通りに定めています。

①管理責任者

避難所全体の管理運営を統括する者で、市災害対策本部の職員を配置する。

②施設管理者

避難所の施設管理を統括する者で、学校避難所にあつては学校長、それ以外の避難所にあつてはしの通常時の組織における施設管理者とする。

③配置職員

避難所の管理運営にあたる市災害対策本部の職員で、避難所の規模や開設期間により適切な人数を配置する。学校避難所における教職員の身分上の取り扱いについては校長の職務命令により行う「職務」として取扱い避難所運営業務を補助執行する。

④初動班Ⅱの職員

学校避難所の近隣に居住する伊職員であらかじめ初動班Ⅱの職員として任命されている者。(体育館・簡易備蓄倉庫のカギを保管)

3. 7 避難所の開設について

災害発生直後の学校は、避難所である前に、一時避難場所になっているため、近隣住民が避難してくることが予想されます。施設管理者である学校長及び、学校教職員、初動班Ⅱが中心となり児童・生徒及び避難者の安全を確保する必要があります。

学校避難所は、災害発生後ただちに開設されるわけではありません。市災害対策本部の初動班Ⅱの職員と施設管理者が施設の詳細な状況を市災害対策本部に報告し、本部が派遣した応急危険度判定士の判定により施設が安全だと確認された後に、必要とあれば避難所が開設されます。それまでは、施設内に入ることはできません。施設に被害があった場合は他校などに避難所が移ることもあります。誘導はその都度行われますので、落ち着いて指示を待ってください。

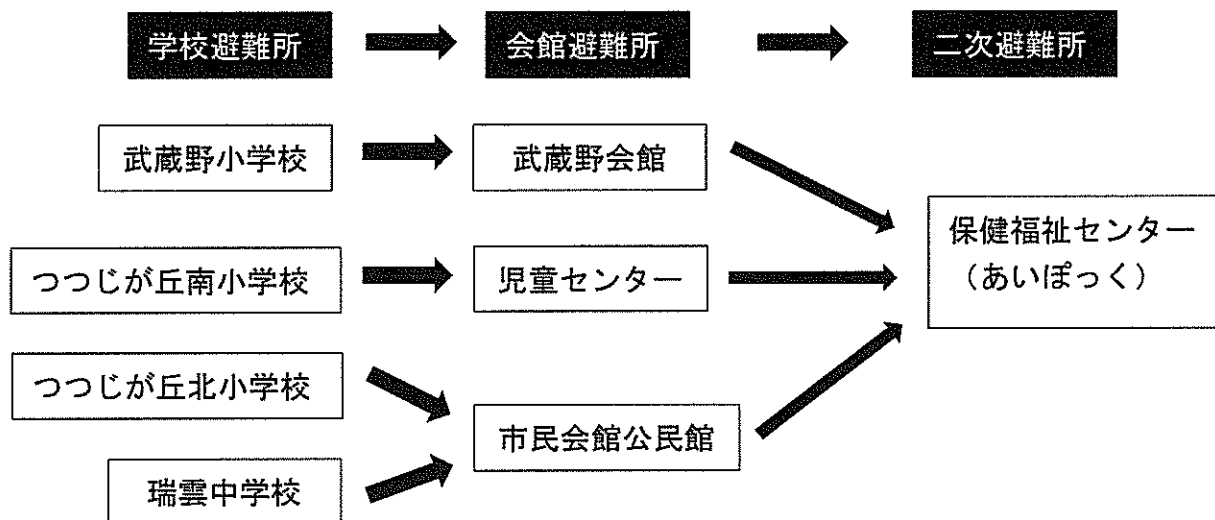
避難所を開設した時は、防災無線、広報車等により地域住民に周知されます。家にいたら身の危険があると判断した場合は、避難所に入所することになります。

- ① 避難者カードに必要事項を記入
- ② 体育館への移動
- ③ 傷病者であるか否かのチェック

を受けて、避難所に入所します。

3. 8 災害時要援護者への対応について

災害時要援護者の避難所については、原則として本人の意思が尊重されますが、会館避難所及び二次避難所（福祉避難所）に優先的に収容されます。会館避難所及び二次避難所への収容は、基本的には以下のとおりになります。



武蔵野小学校 備蓄物質一覧

平成23年4月1日現在

品 名	備蓄数	備 考
毛 布	300 (枚)	
カ ー ペ ッ ト	0 (枚)	
ゴ ザ	300 (枚)	
大 型 炊 き 出 し 器	1 (セット)	
発 電 機	1 (台)	
コ ー ド リ ー ル	1 (個)	
灯 光 器	1 (機)	
懐 中 電 灯	1 (個)	
トランジスタメガホン	1 (個)	
防 水 シ ー ト	10 (枚)	
ト ラ ロ ー プ	3 (本)	
角 ス コ ッ プ	1 (本)	
剣 ス コ ッ プ	1 (本)	
大 ハ ン マ ー	1 (本)	
ツ ル ハ シ	1 (本)	
掛 け 矢	1 (本)	
救 急 セ ッ ト	1 (箱)	
消 火 器	1 (台)	
と ん 汁	1 (箱)	180 食
け ん ち ん 汁	2 (箱)	360 食
カ ン パ ン	15 (箱)	360 缶
救 急 道 具 セ ッ ト	1 (台)	
台車	1 (台)	
ろ 水 機	0 (台)	
仮 設 ト イ レ	1 (台)	
携 帯 ト イ レ	100 (袋)	
カセットコンロ・ヤカン	3 (組)	
ガ ソ リ ン の 缶 詰	8 (缶)	
電 池	10 (個)	単一 4 本、単二 6 本
軍 手	12 (双)	

第4章 自治連15ブロック地域合同防災訓練報告

4.1 経過

昭島市自治会連合会には、99の自治会が組織され、多くの自治会に自主防災組織があり、独自の活動を行っています。しかしながら、非常時の避難所運営など、避難所へ集まってきた各自治会を統括する組織がないのが現状です。そこで、武蔵野会館運営協議会では、初期段階では自助の重要性の徹底と、共助の組織作りの必要性を認識し、平成23年9月に「防災準備委員会」を立ち上げ、検討を始めました。

前提として、「東京都地域の底力再生事業助成事業」として助成交付金を受けることを考慮し、昭島市のご指導をいただきながら進めましたが、その過程で、武蔵野会館運営協議会では、助成交付金を受けられないことから、武蔵野会館運営協議会と自治連15ブロックが共同して行う合同防災訓練として自治連15ブロックが申請を行うことになり、自治連15ブロック、武蔵野会館運営協議会は、それぞれの定期総会で提案、承認されました。

平成24年度になり、「防災準備委員会」は、「防災会議」と名称を変更し継続して検討を行い、新たに「自治連15ブロック地域合同防災訓練実行委員会」を立ち上げ、「地域の防災まちづくり 昭島自治連15ブロック内防災力向上事業」という助成事業名で、新たなメンバーを加えて具体的な活動を進めました。この委員会には、自治連15ブロックの住民の避難場所の一つが武蔵野小学校であることから、武蔵野小学校にも委員会メンバーとして参加していただくよう、協力をお願いしました。

目標は、9月4日（武蔵野小学校で児童引取り訓練が予定されていました）と11月3日（武蔵野会館まつり開催日）に防災訓練を行うこととし、当日の訓練内容の検討や、申請した備品の調達などを行い予定通り行うことができました。

当日の様子のご報告とともに、検討期間中に提出された資料を整理し、添付しました。

資料

1. 会議などの活動記録
2. 組織図
3. 実行委員名簿
4. 訓練進行表
5. 武蔵野小学校引取り訓練実施計画
6. 購入品一覧
7. 避難者カード（A）
8. 避難者カード（B）
9. 避難者登録カード（C）
10. 武蔵野小学校見取図
11. 武蔵野会館見取図
12. 決算書
13. ポスター
14. チラシ

4.2 防災訓練報告

4.2.1 Part1（9月4日）

9月4日13時15分、震度6の地震が発生したという想定で15ブロックの各自治会すべてが参加する大掛かりな避難訓練を行いました。

武蔵野小学校では、児童の引き取り訓練が行われ、防災頭巾をかぶった児童が保護者に連れられて帰宅しました。

各自治会では、避難誘導訓練として、近隣の安否確認、一時避難所への誘導、避難所への誘導等を行い、14時30分、避難所として設定された武蔵野小学校校庭へ集合し、避難者カードを提出しました。

避難所訓練としては、開会式の後、消防署、消防団による救助訓練、防災倉庫の見学、避難所（体育館）の見学を行いました。途中、雷雲が接近して来たため、急遽テントなどを撤去し、炊き出し試食は体育館で行いました。

訓練終了後、五十嵐校長、昭島消防署大神出張所の由村所長からご講評をいただき終了となりました。

平日の昼間の開催という条件にもかかわらず、参加者は298名でした。

○ 参加者数

団 体 名	参 加 人 数
文 化 自 治 会	17
メ ゾ ン 自 治 会	36
日 の 出 自 治 会	54
昭 文 自 治 会	46
む さ し の 自 治 会	35
バ ー デ ン 自 治 会	32
ブ ル ー ミ ン グ 自 治 会	16
中 神 団 地 自 治 会	9
武 蔵 野 小 学 校	20
子 供 ボ ラ ン テ ィ ア	12
消 防 署 ・ 消 防 団	10
市 役 所	6
工 業 団 地	3
自 治 連	2
合 計	298（内実行委員：29）

○ 進行経過

項 目	進 行 表	実際の進行
参 集	14:30	14:35
開 会 式	14:35	14:40
救 助 訓 練	14:45	14:45
見 学	15:00	14:55
試 食	—	15:10
閉 会 式	15:30	15:25

4.2.2 Part2 (11月3日)

11月3日、武蔵野会館まつりに、15ブロック地域合同防災訓練 (Part2) として、新畑こども広場で起震車による地震体験と、武蔵野会館 2 階個別学習室で防災講演会を行いました。

○ 地震体験 (10:30~11:30)

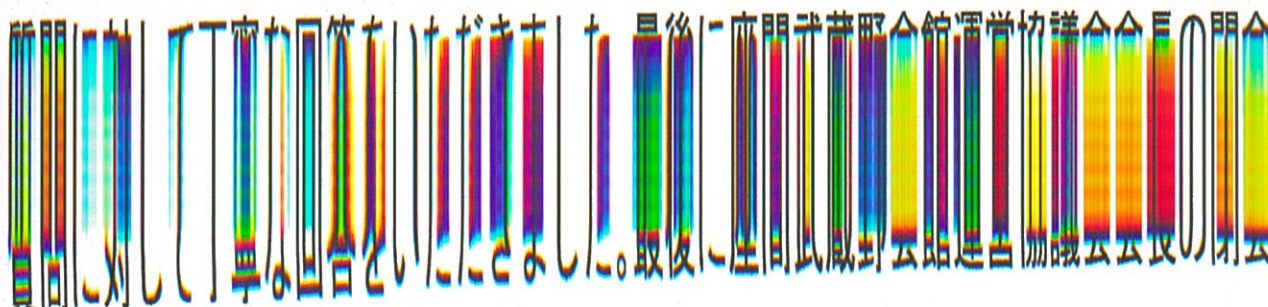
震度 7 では、全員机にしがみついて恐怖を体験しました。

武蔵野会館横の空き地 (今回は臨時駐輪場として使用) で開催すればもっと多くの参加者が体験できたと思います。

参加者は約 50 名でした。

○ 防災講演会 (14:30~15:30)

畑山実行委員長の開会挨拶の後、昭島市役所総務部防災課小松課長により、【いかに地震から身をまもるか】、続いて東京消防庁昭島消防署石川中隊長により【家具等の転倒防止について】、DVD を使用して講演がありました。続いて、質疑応答時間を設け、熱心な



の挨拶で有意義な講習会を終了しました。

会場の入り口では、非常食、転倒防止対策グッズの展示があり、みなさん真剣に見学していました。

参加者は約 30 名でした。

○ 進行経過

項 目	進 行 表	実際の進行
参 集	14:30	14:35
開 会 式	14:35	14:40
救 助 訓 練	14:45	14:45
見 学	15:00	14:55
試 食	—	15:10
閉 会 式	15:30	15:25

4.2.2 Part2（11月3日）

11月3日、武蔵野会館まつりに、15ブロック地域合同防災訓練（Part2）として、新畑こども広場で起震車による地震体験と、武蔵野会館2階個別学習室で防災講演会を行いました。

○ 地震体験（10:30～11:30）

震度7では、全員机にしがみついて恐怖を体験しました。

武蔵野会館横の空き地（今回は臨時駐輪場として使用）で開催すればもっと多くの参加者が体験できたと思います。

参加者は約50名でした。

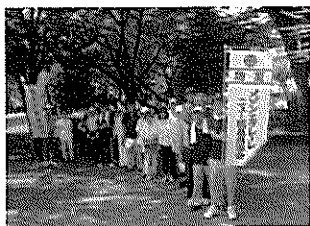
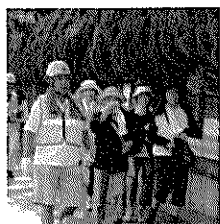
○ 防災講演会（14:30～15:30）

畑山実行委員長の開会挨拶の後、昭島市役所総務部防災課小松課長により、【いかに地震から身をまもるか】、続いて東京消防庁昭島消防署石川中隊長により【家具等の転倒防止について】、DVDを使用して講演がありました。続いて、質疑応答時間を設け、熱心な質問に対して丁寧な回答をいただきました。最後に座間武蔵野会館運営協議会会長の閉会の挨拶で有意義な講習会を終了しました。

会場の入り口では、非常食、転倒防止対策グッズの展示があり、みなさん真剣に見学していました。

参加者は約30名でした。

4.2.3 15ブロック地域合同防災訓練（Part 1）記録 9月4日

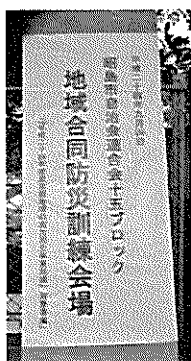
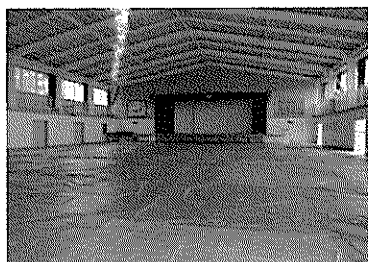


各自治会の避難誘導



開会式

会場と各種訓練



4.2.4 15ブロック地域合同防災訓練（Part2）記録 11月3日

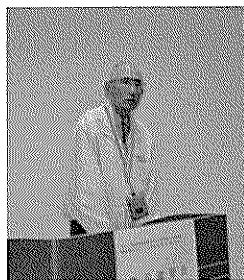
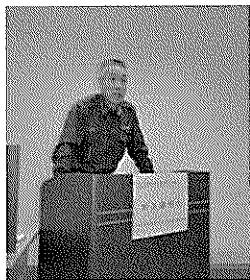
地震体験（新畑こども広場）



防災講演会（2階個別学習室）



上：開会挨拶をする畑山実行委員長と集まった聴講者



左：昭島市役所防災課 小松課長

中：昭島消防署 石川中隊長

右：閉会挨拶 座間会長



左：非常食の数々

右：転倒防止用グッズ

4.2.5 反省

昭島市自治会連合会15ブロック地域合同防災訓練（9月4日）実施後、参加者から反省点を提出していただきました。項目ごとに分類し、ほぼ全文を掲載しました。

① 全般について

- ・ ブロックとして初めての開催であったため、訓練内容も含め手探り状態だったと思います。それでもなかなか内容はよかったと・・・
- ・ 課題は残ったでしょうが、何を於いても実施したことは意義があったと考えます
- ・ 防災訓練が集中して飽き気味（自治会独自の防災訓練を実施済であった）
- ・ 防災訓練の内容は、8月26日の昭島市総合防災訓練と重なり2番煎じで新鮮味がなかった
- ・ 避難所訓練は、体育館に移動しただけで安否確認カードや避難者カードなどが生かされていなかった

② 開催日について

- ・ 平日の開催には無理がある
- ・ 9/4 開催日決定に問題がある
- ・ 事前に話し合いも無く、決定されたことをブロックが各自治会に言い渡したに過ぎない
- ・ 本来ブロック会議で十分話し合いをして決めるべき訓練であるのでできる限りの参加を働きかけなくては・・・平日は疑問？
- ・ 平日の火曜日で、かつ武蔵野小学校の児童引取り訓練に引き続いての防災訓練でしたが、248名の参加があり、うち児童の参加が32名でした。当初は、重複した訓練に心配もありましたが、逆にそれがプラスにはたらいでの結果と考えます
- ・ 通常の日にもかかわらず参加者が思ったより多く、合同防災訓練を開催できたことは評価できると思います

③ 訓練内容について

- ・ 避難誘導、安否確認、避難者カード、炊き出しとブロックとしての役目はこのくらいと思われる
- ・ 避難場所としての体育館、防災倉庫の見学など、周知してもらいよかったと思う

④ 引取り訓練との関連

- ・ 防災訓練の受付に、引き取り訓練参加者の保護者から、手続き方法について聞かれたが答えられず、職員室まで案内しました。もし可能であれば、受付に事情の分かる先生の配置があればと思いました
- ・ 親御さんの足元、服装を覩てチョット違和感を覚えた（遊びに行くのか、買い物に行くのかと感じた）
- ・ 何か学校が早く終わって楽しんでいるように感じた
- ・ 児童、親御さんの一時帰宅後の、避難訓練に参加される方が少なかったのは残念だった

- ・ 子供達が学校から戻ってくるのが遅く、集合時間に間に合わなかった

⑤ 運営面

- ・ 実行委員さんが予想以上に集まってくださり、早く行動ができた
- ・ 体育館のシートが剥がれてしまいやすかったので、養生テープでしっかり止める必要があった
- ・ 受付、来賓などの前垂れが必要だった
- ・ 場内の案内の放送が聴き取りにくかった。実際のケースでは混乱なく人々を誘導するには、指示あるいは案内が明確に伝わる手段が必要
- ・ 天気が急変して、閉会式は体育館での実施になったが、早めの判断がよく、事故がなくてよかった
- ・ 防災訓練中の降雨による会場変更も混乱なく行われた
- ・ 雨天の進行をキチンと考えるべきだった

⑥ 開会式

- ・ シャベリはメガホンでなく、マイクがよかった
- ・ 東京都の補助金で何を買ったかなど詳しく説明した方がわかりやすかったのでは？

⑦ 閉会式について

- ・ 片付けが先行し、閉会式に人がそろわなかった。班長はいるべきだった

⑧ 救助訓練

- ・ 早く終わりすぎ
- ・ 隊員はシャベリが苦手ということがわかり、こちらで仕切った方がよかったと感じました
- ・ 実行委員がさくらで質問すれば盛り上がったかも
- ・ 時間の関係と思うが、人工呼吸、AEDの取り扱いなどの訓練があったらよかったですね

⑨ 備蓄倉庫見学

- ・ 昭島市の担当者から、簡易備蓄倉庫の備蓄物資、生活物資、応急食料の在庫の説明を受けたが、各家庭で最低3日間の非常食量、飲料水の確保がなぜ必要なのか、もっと細かく説明してほしかった
- ・ 備蓄倉庫での職員の方の話が長すぎて備蓄の内容が印象に残らなかった

⑩ 避難所

- ・ シート準備は大成功だった
- ・ 当日の天候異変により講評が避難所(体育館)で行われ、多くの人が避難所に集まって、避難所の雰囲気は多少感じたと思ったが、段ボールなどで家族単位の区画(2区画くらい)などがあつたらなおリアルに感じたと思う(数年前の東京都の防災訓練では、そう

いう訓練があったと記憶している)

- ・ 次回の訓練では、避難所の仕切りなどを設けて、避難所の生活体験を実施してみたい
その際は、体育館のトイレの前はスペースとしたい
- ・ 体育館での内容が、ただ自治会毎にまとまってあいさつを聞いているだけの様に思われた
- ・ 災害時の訓練として、ごみの分別も徹底し、同じ形の容器は各自がごみ袋に積み重ねて入れる等、実際の災害避難所生活も体験した方がよい

⑪ 炊き出し訓練

- ・ ボランティアの児童は、炊き出しのアルファ米のパック詰め、おにぎり作りから後片付けまで積極的に行動し高学年児童のたくましさを感じた
- ・ 小学6年生が炊き出し班のボランティアを、一生懸命やってくれました。2回3回と訓練を重ねる中で、訓練内容を具体化して、小学生、中学生の参加を定着できれば良いと思います
- ・ 炊き出しに児童が協力してくれた点は非常に良かった
- ・ 訓練に参加された児童の皆さんはご苦労様でした
- ・ 配食時間が決めていなかった
- ・ 参加人数分は必要

⑫ 今後の課題

- ・ 有事の際、ブロックとしてどう纏めるか、又組織運営するかまだまだでしょうが・・・
- ・ 今後自治会での啓発、小規模訓練を重ねて、会員の防災・減災についてのレベルアップを図っていきたい
- ・ 中神工業団地協力会、中神北口商店会の参加のあり方
- ・ 地域に居住する「災害ボランティア？」の活用
- ・ 武蔵野小学校では、避難者を収容しきれないのは明らかであり、何らかの指針を出してほしい
- ・ 手助けの必要な人をどうやって避難させるか、具体的に考えていかないといけない
- ・ 防災設備・機材を点検稼働させなくてもよいのか？ いざという時に使用できない・稼働しないということになるのでは
- ・ 15ブロック地域の勤務者などはどうしていくのか？（企業の防災体制によるが）
- ・ この訓練を継続して行い、よりよくしていく実践的な組織（防災体制）作りが必要なのでは？
- ・ ブロックとして防災時の動きは今回でほぼ理解できたと考えるが、今回の実行委員が続けるわけでないので、改めて15ブロックの防災組織を作る必要があると考える。
- ・ 有事の際はまず各自治会防災組織が動きますが、その次にブロックとして纏まりが必要となるはず、その時、組織体制がなくては・・・
- ・ 市行政側の防災組織との連携ももちろん必要となります
- ・ ブロックとしての役目は①避難誘導②避難場所の提供③生活環境の確保（トイレ、食事など）④避難者の確保 等課題と思います

- ・ 訓練は如何に混乱させず、スムーズに避難者の安全を確保できるかです
- ・ 底力再生事業の助成金でいろいろ備品をそろえていただきましたが、まだまだ不足だと思います。ブロックとして何を用意すべきか、充分検討して更なる整備をお願いします
- ・ 地域住民が自宅で避難生活する場合の注意点、昭島市内の危険個所の情報共有も必要
- ・ 今回は支援を必要とする人にまで声をかけなかったが、8/26の訓練の時民生委員の方が担当する該当者に知らせるのに、1時間半を要したと聞いていますが、やはり隣近所で声を掛け合うシステムを作っておく必要性を感じました

⑬ その他

- ・ 防災訓練役員から、引き取り訓練参加の保護者に対して、防災訓練への参加を呼び掛けていたが、参加者の増につながったと思う
- ・ 仮要援護者のうち「昭島市要援護者登録制度」説明により、実施後ただちに登録手続きを行った世帯が4世帯あり、今後も登録が必要と思われる世帯もあり、一面ではあるが訓練による前進であった
- ・ 本来の避難所とは異なり、遠いため、自転車、車の使用も認めた
- ・ 訓練参加者に防災食品の味は好評

4.2.6 児童ボランティアの感想

15ブロック地域合同防災訓練に児童ボランティアとして参加した頂いた武蔵野小学校高学年児童12名からアンケートをいただき、学校でまとめていただきました。

◎ アンケートに教えてください。

(1 とてもそう思う 2 まあまあそう思う 3 あまりそうは思わない 4 思わない)

	1	2	3	4
ボランティアとして参加して良かった	10名	2名	0名	0名
おにぎり作りやとんじる作りは楽しかった	10	2	0	0
またボランティアをしても良い	7	5	0	0
本当に災害が起きたとき、避難してきた人の役に立ちたい	11	1	0	0

◎ 感想

5年生

- ・ボランティアとして参加して、いろいろなことをしました。おにぎりやとんじるを作って、みんな喜んでくれていたので良かったです。おにぎりやとんじるを災害の時に、わたしたちがちゃんと練習のようにできるようにしたいと思いました。そして、みんなに喜んでもらいたいです。
- ・おにぎり作りやとんじる作りが役に立てればいいなと思いました。ボランティアをまたやって、人の役に立てればいいなと思いました。
- ・おにぎりやとんじるを作れてすごく楽しかったです。参加してよかったと思いました。
- ・本当の地震が起こったら、たくさんの人のお手伝いをしようと思いました。このボランティアにはきちょうな体験をさせていただきました。たくさんの方に喜んでいただけたと思っています。
- ・このボランティアに参加することは、とても大切だと感じました。地震の時にはどうやって学校にいるのか、どうやって食料などをもらうのかなどを考えました。
- ・おにぎりを配る時に、「ありがとう」「おいしくいただきます」など言われ、とてもうれしかった。ご飯をにぎる時の担当の人の説明がわかりやすくてよかった。1回家に帰ってから参加したので、とてもいそがしかった。
- ・本当の災害の時に、みんなをまとめてくれる6年生がいるといいと思う。

6年生

- ・今回のようにボランティアとして参加するのは初めてだったので、とてもいい経験になりました。
よくテレビで見ていた食料を配っている様子を自分でやってみて、とてもなにげないことでも、人の役に立つことは重要なことなんだとわかり、これからも参加したいと思いました。
また、とん汁を配っている時に、みなさんが、「ありがとう。」「おつかれさま。」と言っ

てくれたことが、うれしかったです。

- ・人の役に立っているというのが嬉しかった。経験したことがあると、災害が起きたときに、少し早く行動できると思った。いつ災害が起こるか分からないので、もし、災害があったときのために、このようなことをするとよいと思いました。

- ・とん汁を配っているときに、受け取ってくれた人が、「ありがとう。ごくろう様。」などと言ってくれるのがうれしかったです。

最初は、ボランティアなんて…と思ったけど、やってみると意外に楽しくて、いい体験になりました。

- ・地震が起きたときの行動がよく分かった。次からはもっともっとはやく行動したい。

- ・参加して人の役に立ったのはうれしかったので、本当の災害の時も、役に立ちたいです。とん汁配りもまたやりたいです。災害の時はもっともっと大変なんだろうと思いました。

- ・おにぎりを作るのは、みんなで協力してやったから楽しかった。とん汁をわたしたら、「ありがとう。」とか、声をかけてもらうのがうれしかった。

本当に災害があった時、役に立ったらいいなと思った。

- ・おにぎりやとん汁作りは楽しかったけど、おにぎりの米をたるところからできたらいいなと思いました。

会議などの活動記録

準備委員会設立から、実施、東京都への報告までの経過

平成23年

- 9月15日 第1回防災準備委員会
- 10月29日 第2回防災準備委員会
- 12月10日 第3回防災準備委員会

平成24年

- 1月26日 第4回防災準備委員会
- 3月23日 第5回防災準備委員会
- 4月19日 武蔵野会館運営協議会・自治連15ブロック防災訓練打合わせ
- 25日 武蔵野会館運営協議会・自治連15ブロック防災訓練打合わせ
- 5月11日 第6回防災準備委員会
- 20日 武蔵野会館運営協議会定期総会
- 23日 自治連15ブロック・武蔵野小学校との打ち合わせ
- 27日 自治連15ブロック定期総会
- 30日 助成交付金申請

6月 8日 第7回防災会議

22日 第8回防災会議

28日 第1回自治連15ブロック地域合同防災訓練実行委員会

29日 助成金交付決定

7月 4日 第9回防災会議

11日 第2回自治連15ブロック地域合同防災訓練実行委員会

20日 第10回防災会議

26日 班長会議

8月 1日 第3回自治連15ブロック地域合同防災訓練実行委員会

7日 班長会議

25日 班長会議

29日 第4回自治連15ブロック地域合同防災訓練実行委員会

9月 4日 自治連15ブロック地域合同防災訓練 (Part1)

26日 班長会議

10月 5日 第5回自治連15ブロック地域合同防災訓練実行委員会

12日 テキスト作成班会議

20日 テキスト作成班会議

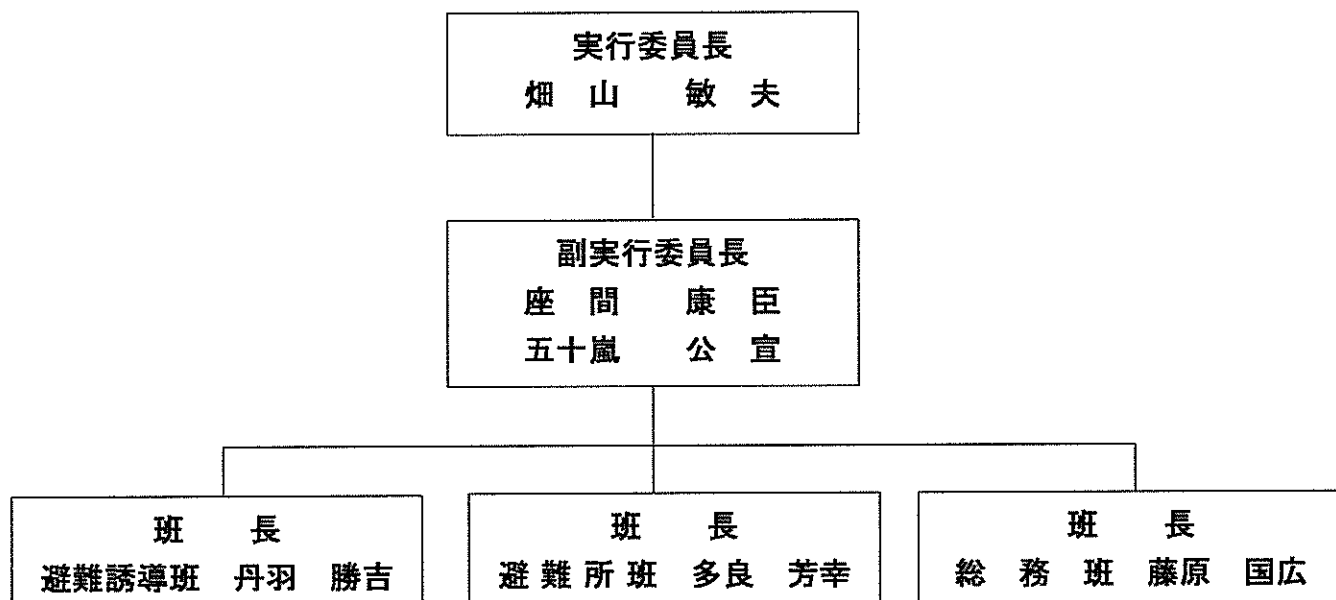
11月 3日 自治連15ブロック地域合同防災訓練 (Part2)

11月15日 テキスト作成班会議

11月18日 第6回自治連15ブロック地域合同防災訓練実行委員会、テキスト配布

11月21日 東京都へ報告書提出

15ブロック地域合同防災訓練実行委員会 組織図



役割

実行委員長：総括責任

副実行委員長：実行委員長を補佐、代行

避難誘導班：校外における避難誘導、警備、安否確認の内容検討・実施

班長：丹羽勝吉

班員：

避難所班：避難所運営・管理、受付、非常食炊き出しなどの内容検討・実施

班長：多良芳幸、

班員：

総務班：事務処理全般、会計、行政連絡・報告、広報、資材・備品発注管理 等

班長：藤原国広

班員：佐藤薫、畑山敏夫、松本智子、市田頼子、松谷広美

平成24年 昭島市自治会連合会15ブロック地域合同防災訓練 実行委員名簿

No	担 当			氏 名	所 属	役 職
	①	②	③			
1	○			多良 芳幸	昭文自治会	自治会長
2	○			福田 協司	昭文自治会	
3	○			清水 繁雄	中神北口商店会	
4	○			大澤 澄子	中神団地自治会	
5	○			岸 昭次	中神団地自治会	武蔵野会館運営協議会
6	○			青山 敦司	バーデン自治会	
7	○			久保 真由美	バーデン自治会	ウィズユース副委員長
8	○			荒井 真一	日の出自治会	
9	○			甲斐 裕規	ブルーミング自治会	武蔵野小PTA会長
10	○			妻島 章	ブルーミング自治会	自治会長
11	○			座間 康臣	文化自治会	武蔵野会館運営協議会・文化シニアクラブ
12	○			日出 嘉治	文化自治会	
13	○			小澤 光男	むさしの自治会	防災部長
14	○			宇野 達朗	むさしの自治会	武蔵野小ウィズユース委員長
15	○			伊藤 正己	むさしの自治会	むさしの防犯支部長
16	○			五十嵐 公宣	武蔵野小学校	校長
17	○			三沢 俊行	メゾン自治会	自治会長
18	○			高瀬 武	メゾン自治会	交通安全部長
19		○		原田 信也	昭文自治会	
20		○		佐俣 孝一	昭文自治会	昭島市民生児童委員
21		○		小川 俊雄	昭文自治会	昭文いきいきクラブ
22		○		秋山 伸子	昭文自治会	昭島市民生児童委員
23		○		北野 和之	昭文自治会	
24		○		泉谷 勉	昭文自治会	武蔵野会館運営協議会
25		○		内木 孝司	中神団地自治会	自治会長
26		○		三浦 行夫	バーデン自治会	自治会長
27		○		保志 一	日の出自治会	
28		○		島本 久	日の出自治会	日の出シルバークラブ
29		○		丹羽 勝吉	日の出自治会	自治会長
30		○		丹羽 のぶ	日の出自治会	昭島市民生児童委員
31		○		村木 勉	日の出自治会	武蔵野会館運営協議会
32		○		内田 貴士	ブルーミング自治会	
33		○		小宮 心一	文化自治会	自治会長
34		○		高松 勉	文化自治会	武蔵野会館運営協議会・文化シニアクラブ
35		○		松田 隆雄	むさしの自治会	むさしのもくせい会
36		○		中島 慶久	むさしの自治会	安協むさしの支部長
37		○		山崎 さえ子	むさしの自治会	昭島市民生児童委員
38		○		横内 正博	メゾン自治会	
39		○		伊藤 良昭	メゾン自治会	メゾンシニア会 会長
40			○	松本 智子	昭文自治会	武蔵野会館運営協議会
41			○	松谷 広美	バーデン自治会	15ブロック事務局
42			○	市田 頼子	バーデン自治会	15ブロック事務局
43			○	畑山 敏夫	バーデン自治会	15ブロック長
44			○	藤原 国広	むさしの自治会	自治会長
45			○	佐藤 薫	武蔵野小学校	生活指導

①避難所班 ②避難誘導班 ③総務班

平成24年 昭島市自治会連合会15ブロック地域合同防災訓練 進行表

9:30 班長集合(武蔵野会館) 機材運び出し、武蔵野小学校に移送	
避難誘導班	
避難所班・総務班	
※荷物搬入車輛以外の、車・自転車は、校舎の北側に駐車・駐輪してください。	
10:40 全実行委員集合 ①打ち合わせ	10:40 全実行委員集合 ①打ち合わせ
11:00 ②会場設営 体育館設営(ブルーシート・自治会名表示) 立て看板、案内表示の設置 防災倉庫備品展示準備	11:00 ②会場設営 テント設営(2張り) 受付設置(机6 椅子18)昇降口前 炊き出し訓練準備(食材・器具搬入)
12:00 ☆各自治会に戻り準備	12:00 ☆各自治会に戻り準備
13:15 震度6地震発生 各自治会ごとに活動開始 ①近隣の安否確認 ②要援護者支援 ③一時避難所誘導 ④避難経路安全確認 ⑤避難所への誘導 ⑥児童帰宅訓練のサポート ※防災旗、訓練旗をご持参ください。 ※誘導者は、腕章を付けてください。	13:15 学校に集合し活動開始 担当ごとに ①避難所準備(体育館) ②受付準備(テント内) ③見学準備(防災倉庫・校舎) ④炊き出し準備(家庭科室)炊込みご飯・トン汁 ⑤救助訓練(消防署) ⑥開会式・閉会式準備 ※各自治会の防災ヘルメット、ベスト、腕章を着用してください。 担当 ☆受付 ☆見学 防災倉庫(防災課職員) 体育館(先生) ☆救助訓練(消防署) ☆炊き出し(児童・先生) ☆記録 ☆開会式・閉会式 ※炊き出し班は、上履きをご持参ください。
14:00 消防署 到着 救助訓練準備 正門から進入 消防車1ワゴン車1 第一消防団消防車1	
14:30 各自治会が避難所に参集 ①参集 ②避難カードの提出 ③開会式参加 ○挨拶○内容説明 ④救助訓練(消防署・消防団) ⑤見学(防災倉庫・校舎) ※2グループに分かれます。 避難所訓練終了	14:30 各自治会が避難所に参集 ①校庭への誘導 ②受付 ③開会式進行 ④炊き出し訓練(調理室→テント) ⑤見学者誘導 避難所訓練終了
15:30 ※総評 ※挨拶 参加者誘導 ↓ 自治会ごとに解散	15:30 片付け ↓ 解散
16:50 班長 武蔵野会館に移送、機材収納	

『平成24年度東京都地域の底力再生事業助成』対象事業

引き取り訓練実施計画（第7回）

資料 5

平成24年6月20日

武蔵野小学校 生活指導部

- 1 日時 平成24年9月4日(火) 5校時(13:15より)
- 2 目的 災害時(地震、台風など)に児童を速やかに避難させ、安全かつ確実に保護者に引き渡すことができるようにする。
- 3 想定 13時15分、平常での下校が難しい緊急事態(震度5弱の地震が24時間以内にくる)が発生する。児童の安全を図るため、保護者に迎えに来てもらう必要がある。

4 方法・時程

時間	担当	流れ
10:20	生活指導部	校舎内・昇降口表示確認(表示については、前日に準備しておく)
13:15	担任	簡単清掃を終わらせる
13:15	副校長	緊急放送で職員召集
	職員	職員室へ集合(児童には、ランドセルを準備し、座って待つよう指示)
	校長	職員へ対応の指示
13:20	担任	学級指導 《下校準備》 ・下駄箱から外履きと傘を教室に持ってくる。 ・上履き袋を持たせる。 《下校指導》 ・防災頭巾は使用する。 (訓練なので、門まではしっかりかぶっていくよう指導) ※職員はヘルメット着用
13:35	校長	災害についての話(放送) ※本部は職員室
13:40	担任	高学年の児童より、引き取り開始 各クラスの前方ドアの所で引き渡す
	保護者	教室前の廊下で待機 移動は右側通行
14:00	担任 集団下校地区班担当教諭	残留児童の人数を名簿で確認し、体育館へ連れていく。 体育館で担当教員が集め、引率して集団下校させる。 ※学童児童は地区別集合場所には行かず、担任が把握し、直接学童集合場所に行く。
	集団下校地区班担当教諭 担任	集団下校後、副校長に報告 報告事項：担当地区・人数・無事に送り届けたこと チェックした引き取り人名簿を担当(野村)へ提出 チェック項目 ①引き取り完了児童の引き取りチェック欄にチェック ②引き取り人を○で囲む ③引き取り児童数・残留児童数・合計児童数を記入

5 引き渡しの際の確認事項

- ①引き取り人には、13時35分までに来校してもらい、避難の様子を参観してもらう。
- ②必ず「〇〇の父、母」「××の代理人の△△」と名乗ってもらい、引き取り人名簿でチェックしてから児童を引き渡す。(学級担任)
引き取り人名簿に残留児童数を必ず記入する。
- ③防災頭巾は、予め8月30日(木)に持ってくるよう、夏休み前に連絡する。9月5日(水)再び持参。

購入備品一覧

No	品 名	単価(円)	数 量	単 位	合 計	備 考
1	トランシーバー	15,800	4	台	63,200	IC4100
2	防 災 ベスト	2,500	40	着	100,000	2 色 各 20 着
3	防 災 ヘルメット	3,500	25	個	87,500	
4	訓 練 用 のぼり	2,000	8	本	16,000	
5	訓練実施用のぼり	2,000	8	本	16,000	
6	防 災 腕 章	350	100	個	35,000	
7	防 災 テ ン ト	100,000	2	基	200,000	2k × 3k
8	防 災 保 管 庫	270,000	1	台	270,000	
9	安否確認用グッズ	400	300	枚	120,000	2 枚組 150 セット

防災倉庫

外部寸法 (mm) : W1470×D2770×H2075

内部寸法 (mm) : W1283×D2498×H1814

面 積 : 3.6 m²



ヘルメット、ベスト、腕章



テント、訓練用のぼり



購入備品一覧

No	品 名	単価(円)	数 量	単 位	合 計	備 考
1	トランシーバー	15,800	4	台	63,200	IC4100
2	防 災 ベスト	2,500	40	着	100,000	2 色 各 20 着
3	防 災 ヘルメット	3,500	25	個	87,500	
4	訓 練 用 のぼり	2,000	8	本	16,000	
5	訓練実施用のぼり	2,000	8	本	16,000	
6	防 災 腕 章	350	100	個	35,000	
7	防 災 テント	100,000	2	基	200,000	2k×3k
8	防 災 保 管 庫	270,000	1	台	270,000	
9	安否確認用グッズ	400	300	枚	120,000	2 枚組 150 セット

防災倉庫

外部寸法 (mm) : W1470×D2770×H2075

内部寸法 (mm) : W1283×D2498×H1814

面 積 : 3.6 m²

ヘルメット、ベスト、腕章 テント、訓練用のぼり



平成24年 昭島市自治会連合会15ブロック地域合同防災訓練

避難者カード

自治会名	
------	--

代表者氏名	
-------	--

誘導責任者氏名	
---------	--

訓練参加人数	総 数	名
内訳	一般参加者	名
	武蔵野小学校 児童数	名
	実行委員	名

○訓練参加の皆さま、お疲れ様でした。

○武蔵野小学校到着後、受付に、このカードを提出してください。

○参加者内訳について

※一般参加者→訓練に参加された、自治会員数を記入してください。

※児童数→学校の引き取り訓練終了後、この訓練に参加した児童数を記入してください。

※実行委員数→この訓練に実行委員として参加された自治会員数を記入してください。

「『平成24年度東京都地域の底力再生事業補助金』対象事業」

避難者カード

当避難所に避難された方は、恐れ入りますが下記によりお名前をお知らせください。
ご家族ごとに記入をお願いします。

住所					避難所名:	
電話					武蔵野小学校	
登録 No.	氏 名	続柄	性別	年齢	避難所に来た日時	備 考 (できれば職業などを記入ください。)
			男 女		月 日 午前・午後 時頃	
			男 女		月 日 午前・午後 時頃	
			男 女		月 日 午前・午後 時頃	
			男 女		月 日 午前・午後 時頃	
			男 女		月 日 午前・午後 時頃	
			男 女		月 日 午前・午後 時頃	
			男 女		月 日 午前・午後 時頃	
			男 女		月 日 午前・午後 時頃	

特記事項

昭島市立武蔵野小学校

避難者登録カード

太枠の中を記入してください。(記載できる範囲で結構です。)

登録No.

～

①	代表者					住所			
② 避難者	入所日時	月	日	時	分	電話			
		氏名	年齢	性別	退所日	③	所属自治会		
							住所		
							親族等連絡先氏名		
							電話		
						ペットの同行避難	種類		
							特徴		
						個人情報の取り扱い	ご親戚などに安否をお知らせするために、氏名・年齢・性別をマスコミに公開したり、他からの問い合わせに対して回答予定ですが、希望しない場合は、○で囲んでください。		
		一緒に避難してきた人の氏名のみ記入してください						希望しない	
	④	注意点	(ご家族に、病気や障がいなどの特別な配慮を必要とする人など、注意点がありましたら、記入してください。)						

-----切り取り線-----

昭島市立武蔵野小学校

避難者登録カード(控)

○このカードは、無くさないように、お持ちください。

登録番号	～
------	---

滞在場所	
------	--

代表者氏名	
-------	--

登録人数	
------	--

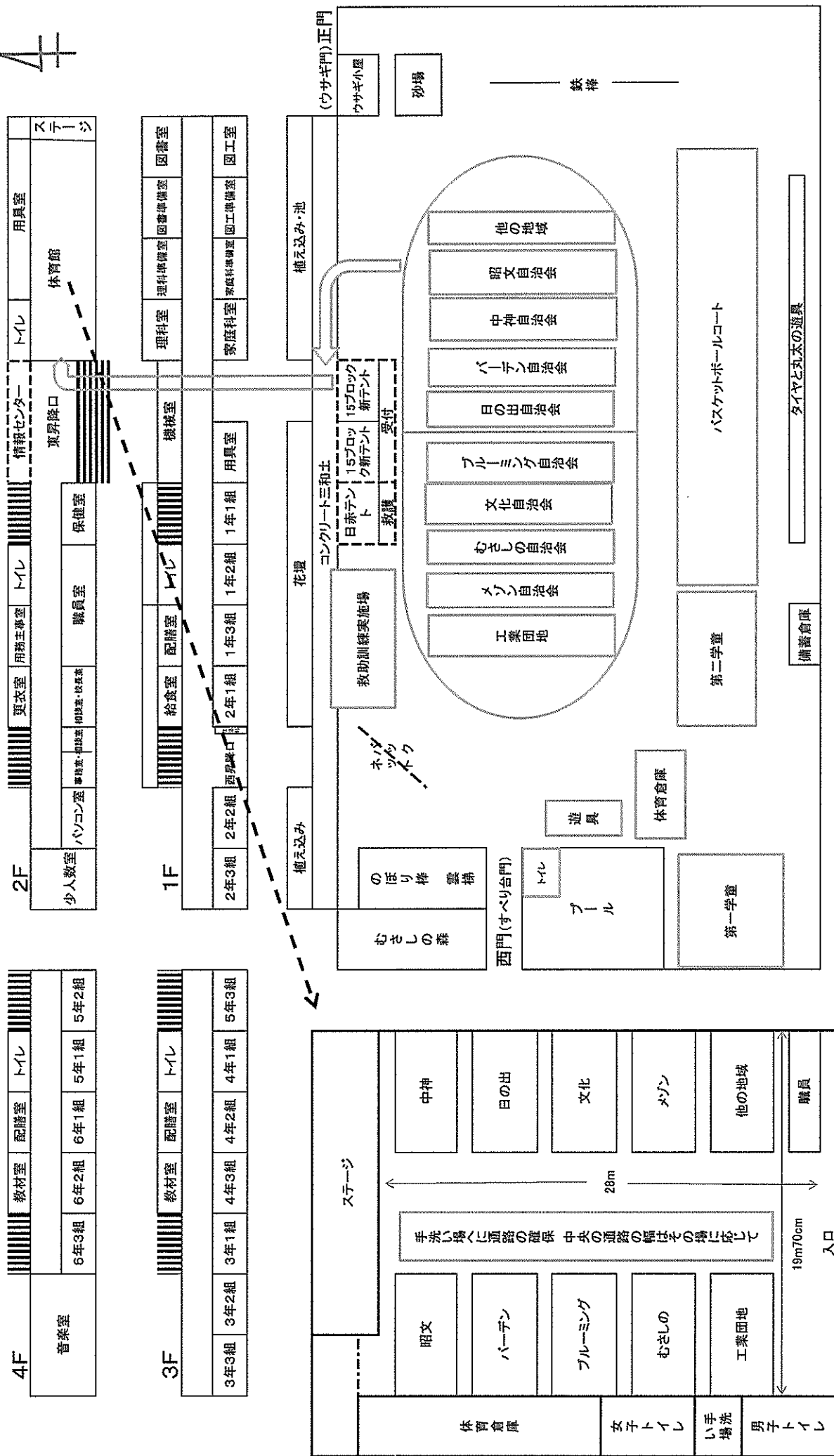
○震災避難所は、共同生活の場です。常に協力し合い、皆が生活しやすい場所にしましょう。

○身体の調子が悪いときは、すぐに伝えましょう。

○生活上の悩みや意見は、小さなことでも避難所スタッフに相談してください。

○災害時要援護者(高齢者、障がいのある人、乳幼児、妊婦、病気のある人など)に配慮しましょう。

○避難者に、変更があった場合(合流や退所)は、必ず避難所本部にお知らせください。

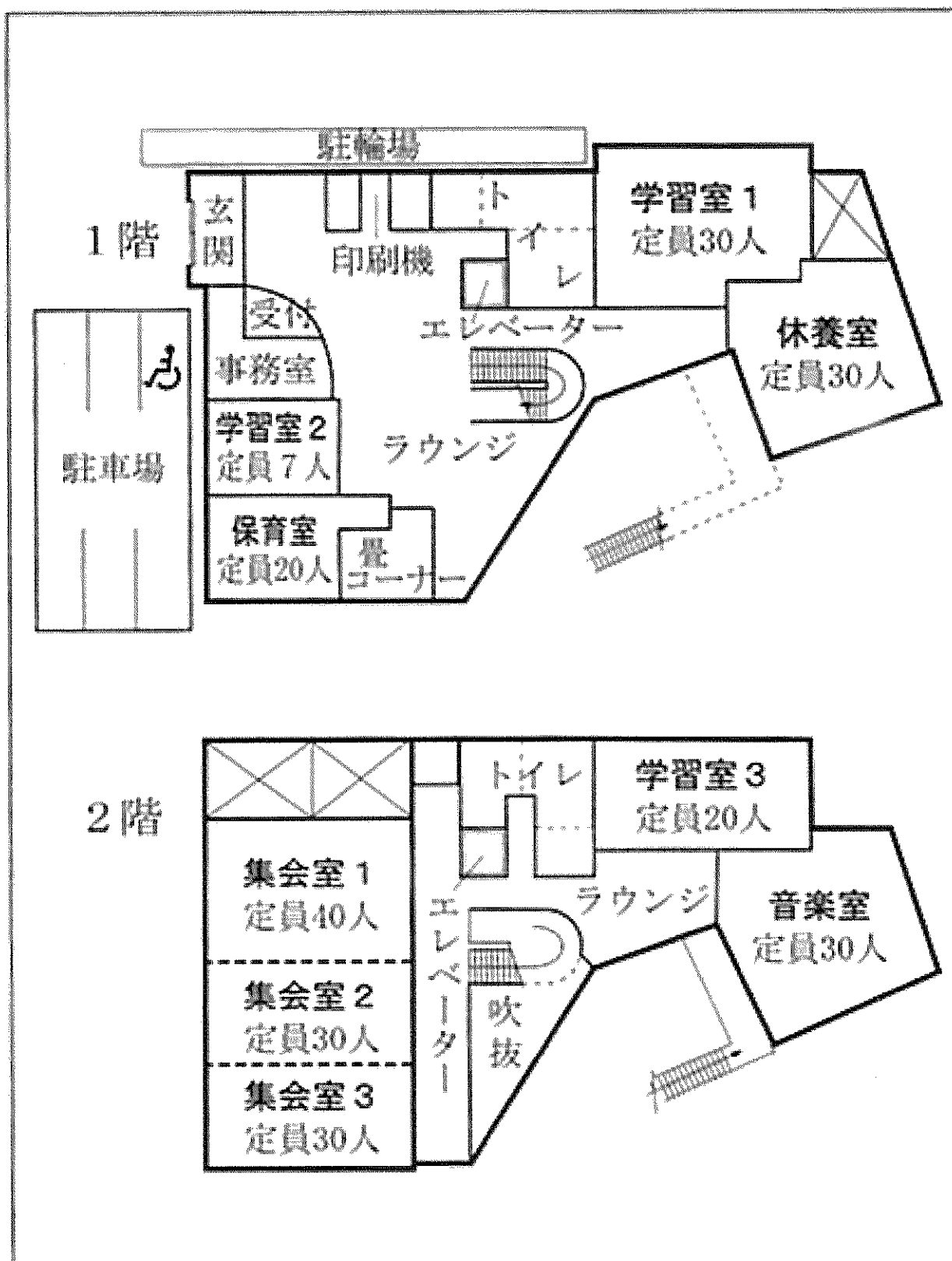


※点線枠内は「昭島市避難所運営マニュアル」第1章(6)避難所に設けるべきスペース」に書かれているスペース名とその指定場所です。

武蔵野会館見取図

住所：昭島市中神町 1 1 7 2 - 1

電話：042-500-4320

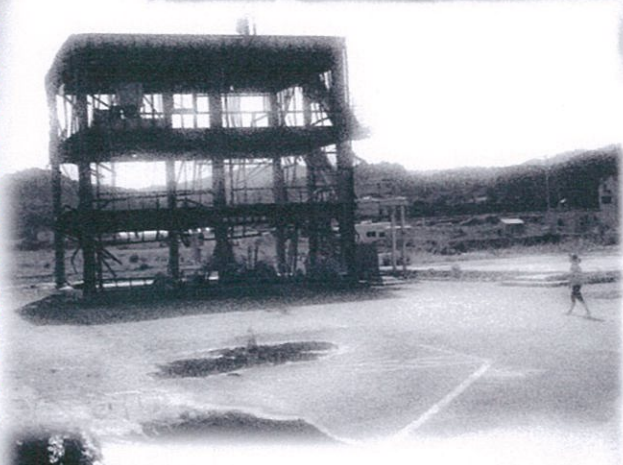
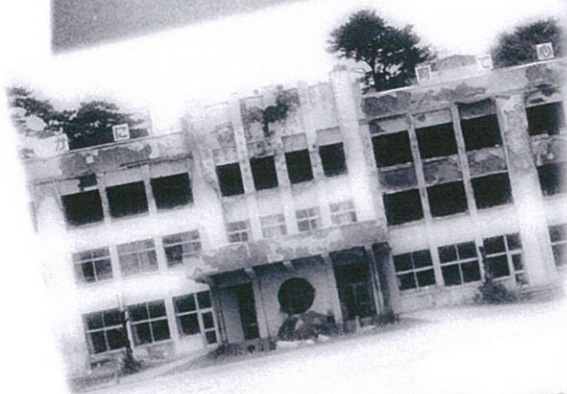


団 体 名	昭島市自治会連合会15ブロック
-------	-----------------

(単位:円)

科 目	収入内容				金額	
I 収入の部						
1 東京都助成金収入 (1,000円未満切捨て)	東京都地域の底力再生事業助成				1,000,000	
2 その他収入	昭島市自治会連合会15ブロック				51,200	
収入合計					1,051,200	
科 目	支出内容	単価	数量	消費税 割引等	金額	領収書 番号
II 支出の部						
1 事業費						
① 謝礼金						
② 打合せ経費	第1実行委員会 30本	150	30		4,500	1
	第2実行委員会 30本	150	30		4,500	2
	第3実行委員会 30本	150	30		4,500	3
	第4実行委員会 30本	150	30		4,500	4
	第5実行委員会 30本	150	30		4,500	5
	第6実行委員会 30本	150	30		4,500	6
③ 物品購入費	トランシーバー	15,800	4		63,200	7
	防災ベスト	2,500	40		100,000	7
	防災ヘルメット	3,500	25		87,500	7
	訓練用のぼり	2,000	8		16,000	7
	訓練実施用のぼり	2,000	8		16,000	7
	防災腕章	350	100		35,000	7
	防災テント	100,000	2		200,000	8
	防災倉庫	270,000	1		270,000	9
	安否確認用グッズ	400	300		120,000	10
	ポスター用紙	10,000	1		10,000	11
	配布資料用紙	1,075	2		2,150	12
	配布資料用紙	970	2		1,940	13
	インク代	5,910	1		5,910	14
	炊き出し用紙皿、コップ	50	400		20,000	15
	防災講習会テキスト	1,400	20		28,000	16
④ 印刷経費						
⑤ 役務費						
⑥ 委託料						
⑦ レンタル・リース料						
⑧ 工事費						
			小計	小計①	1,002,700	
(2) 助成対象外経費 (その他経費)	ブルーシート				8,980	
	反省会費				39,520	
			小計	小計②	48,500	
支出合計				小計①+②	1,051,200	
収支差額					0	

いざという時、あなたは大切なものを守れますか？
訓練したことも満足にできない、それが災害です。
私たちの足元には、何がありますか？



平成 24 年
9月4日
火曜日

昭島市自治会連合会
15ブロック地域

合同防災訓練

昭島市立武蔵野小学校

集 合 14時30分

主催 昭島市自治会連合会15ブロック

協力 昭島市立武蔵野小学校・昭島市役所・昭島市立武蔵野会館運営協議会

昭 文 自 治 会
中 神 団 地 自 治 会
バーデン自治会
日 の 出 自 治 会
ブルーミング自治会
文 化 自 治 会
むさしの自治会
メゾン自治会

災害から身を守るため、自治会ごとに避難する訓練です

【想定】午後1時15分

昭島市に震度6の地震が発生

合	昭島市自治会連合会 15ブロック地域		同
防	災	訓	練

平成24年9月4日（火）14:30～
昭島市立武蔵野小学校校庭集合

8月26日（日）昭島市総合防災訓練とは違う防災訓練です

◆参加自治会の集合場所◆

昭 文（新畑こども広場）
中神団地（東側駐車場）
バーデン（中庭滝前）
日の出（日の出公園）

※集合時間は自治会ごとに違います。

フルーミング（武蔵野3丁目児童公園）
文 化（お祭り広場）
むさしの（自治会集会所）
メゾン（北文化公園）

避難誘導訓練

自治会ごとに避難行動を開始し、集合時間の14時30分までに「武蔵野小学校に避難すること」が目標となります。

具体的な避難行動とは以下の6つです。

- ①近 隣 の 安 否 確 認
- ②要 援 護 者 支 援
- ③一 時 避 難 所 誘 導
- ④避 難 経 路 安 全 確 認
- ⑤避 難 所 へ の 誘 導
- ⑥児童帰宅訓練のサポート

避難所訓練

各自治会が武蔵野小学校に集合した後、校庭・体育館・専科教室にて避難所の体験訓練を行います。

具体的な体験訓練とは以下の5つです。

- ①避 難 所 開 設 訓 練
- ②避 難 者 カードの作成
- ③見学（防災倉庫・校舎）
- ④炊 き 出 し 訓 練
- ⑤救 助 訓 練（消防署）

※自治会単位で指示に従ってください。

◆◆訓練の詳しい内容については、各自治会長までお問い合わせください◆◆

第5章 東京都地域の底力再生事業助成について

5.1 地域の底力再生事業助成とは

地域の課題や住民のニーズが多様化する中、行政だけでなく多様な主体(町会・自治会・企業・NPOなど)と連携し、公共的な課題を解決していくことが求められています。

この「地域の底力再生事業助成」では、地域において多様な主体が連携し、積極的に課題を解決していく力を「地域力」とよんでいます。

この助成金は、地域活動の担い手である町会・自治会の皆さんが行う地域の課題を解決するための取組を推進し、「地域力」の向上を図る事業に対して、東京都が助成を行うものです。

5.2 申請できる団体

東京都内に所在する地縁団体(町会・自治会)を対象とします。

申請できる団体の種類	略 称	例
区市町村の範囲を越えた地縁団体の 連合組織	都町連	東京都町会連合会
区市町村を単位とする地縁団体の 連合組織	町自連	〇〇区町会連合会 〇〇市自治会連合会
区市町村内の一部地域を単位とする 連合組織	地区連	〇〇地区町会連合会
区市町村内の単一町会・自治会	単一	〇〇町会 〇〇自治会

5.3 対象となる事業

町会・自治会が地域の課題を解決するために取り組む事業が対象(既に実施している事業も対象)となります。

なお、平成24年4月1日から平成25年3月31日までに実施し、完了する事業が対象となります。

今年度から、地域の課題を解決するために取り組む事業のうち、都が進める重要施策の推進につながる事業を「東京都が取り組む特定施策の推進につながる取組」とし、以下の4分野を設けています。

「東京都が取り組む特定施策の推進につながる取組み」

- 1 防災・節電運動
- 2 青少年健全育成活動
- 3 高齢者の見守り活動
- 4 防犯活動

5.4 助成金額

ご申請いただく団体の種類と事業区分により限度額が異なります。
下記の表でご確認ください。

(下の表の金額は、は、1事業あたりの上限額を示しています。)

事業区分		補助率		
A 地域の課題解決のための取組		今までに本助成金を受けたことがある団体	助成対象経費の 1/2	都町連 町自連 200 万円
		今までに本助成金を受 けたことがない団体	助成対象経費の 10/10	
B 東京都が取り組む特定施策の 推進につながる取組		助成対象経費の 10/10		地区連 100 万円
	1 防災・節電活動	※次年度以降も同一分野で申請可。 ただし、補助率は助成対象経費の 1/2。		単一 20 万円
	2 青少年健全育成活動			
	3 高齢者の見守り活動			
	4 防犯活動			

※助成金は千円単位とし、端数については切捨てとします。

東京都生活文化局都民生活部管理法人課市民交流国際係

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

都庁第一本庁舎 27階 北側

電話 03(5388)3166(直通)

Eメールアドレス S0000667@section.metro.tokyo.jp

第 6 章 参考情報

参考情報

このテキストを作成するにあたり、多くのホームページ（ＨＰ）を検索し、また出版物を見ましたが、主に以下に示したＨＰなどを参考にしました。詳細は本文をご覧ください。

- ・首都直下地震等による東京の被害想定（平成 24 年 4 月 18 日）：（東京都防災ＨＰ）

<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/japanese/tmg/pdf/20120418gaiyou.pdf>

- ・東京都防災対応指針（平成 23 年 11 月）：（東京都防災ＨＰ）

<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/japanese/tmg/pdf/231125bousaitaiouhonsatu.pdf>

- ・家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック：（東京消防庁ＨＰ）

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-bousaika/kaguten/handbook/2407-all.pdf>

- ・地震が来る前に子どものためにできること（東京都福祉保健局ＨＰ）

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kodomo/shussan/nyuyoji/saitai_pamphlet.html

- ・「地域の底力再生事業助成」ガイドライン（平成 23 年度）：（東京都生活文化局都民生活部ＨＰ）

<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/tiikiryokufiles/tiikiryoku.html>

- ・昭島市避難所運営マニュアル（平成 23 年 8 月改訂）

- ・昭島市地域防災計画（平成 19 年修正 平成 24 年修正版発行予定）

- ・昭島市防災マップ（平成 19 年 3 月）

- ・地震に対する備え！（2012 年 10 月昭島市自治会連合会作成）

防災講習会テキスト

発行年月日	平成24年11月18日
編集・発行	昭島市自治会連合会15ブロック地域合同防災訓練実行委員会
発行責任者	畑山敏夫
編集者	福田協司、藤原国広 松本智子

いざという時、あなたは大切なものを守れますか？
訓練したことも満足にできない、それが災害です。
私たちの足元には、何がありますか？

平成 24 年
9月4日
火曜日

昭島市自治会連合会
15ブロック地域

合同防災訓練

昭島市立武蔵野小学校

集 合 14時30分

主催 昭島市自治会連合会15ブロック

協力 昭島市立武蔵野小学校・昭島市役所・昭島市立武蔵野会館運営協議会

昭 文 自 治 会
中 神 団 地 自 治 会
バーデン自治会
日 の 出 自 治 会
ブルージング自治会
文 化 自 治 会
むさしの自治会
メゾン自治会

いざという時、あなたは大切なものを守れますか？
訓練したことも満足にできない、それが災害です。
私たちの足元には、何がありますか？

平成 24 年
9月4日
火曜日

昭島市自治会連合会
15ブロック地域

合同防災訓練

昭島市立武蔵野小学校

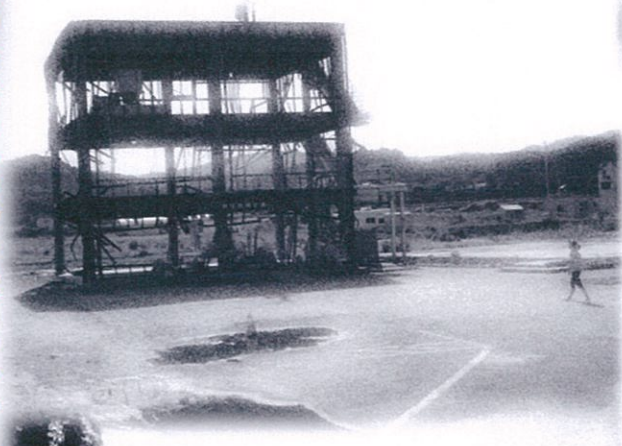
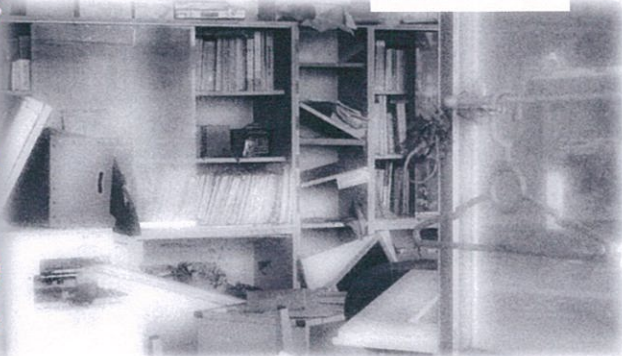
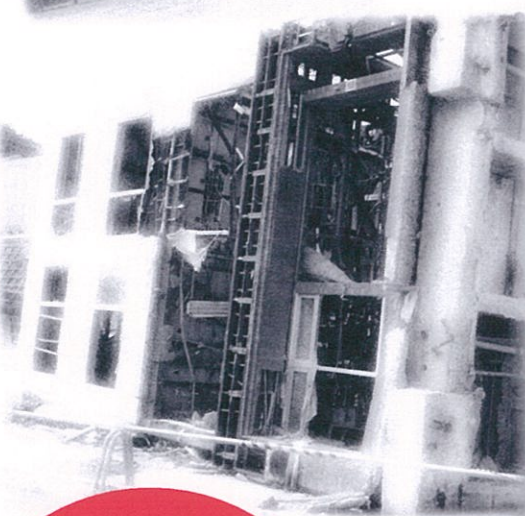
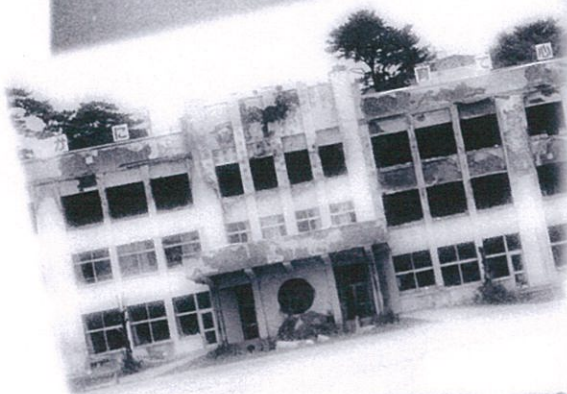
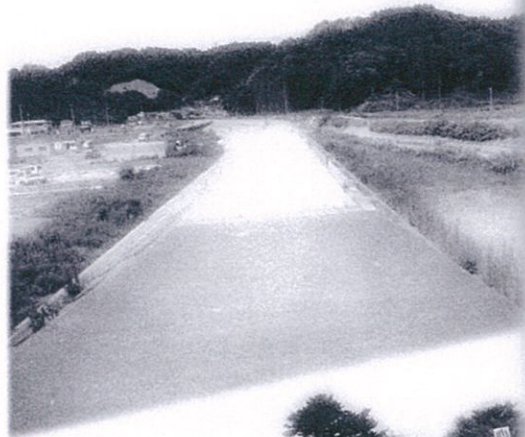
集 合 14時30分

主催 昭島市自治会連合会15ブロック

協力 昭島市立武蔵野小学校・昭島市役所・昭島市立武蔵野会館運営協議会

昭 文 自 治 会
中 神 団 地 自 治 会
バーデン自治会
日 の 出 自 治 会
ブルージング自治会
文 化 自 治 会
むさしの自治会
メゾン自治会

いざという時、あなたは大切なものを守れますか？
訓練したことも満足にできない、それが災害です。
私たちの足元には、何がありますか？



平成 24 年
9月4日
火曜日

昭島市自治会連合会
15ブロック地域

合同防災訓練

昭島市立武蔵野小学校

集 合 14時30分

主催 昭島市自治会連合会15ブロック

協力 昭島市立武蔵野小学校・昭島市役所・昭島市立武蔵野会館運営協議会

昭 文 自 治 会
中 神 団 地 自 治 会
バーデン自治会
日 の 出 自 治 会
ブルーミング自治会
文 化 自 治 会
むさしの自治会
メゾン自治会

いざという時、あなたは大切なものを守れますか？
訓練したことも満足にできない、それが災害です。
私たちの足元には、何がありますか？

平成 24 年
9月4日
火曜日

昭島市自治会連合会
15ブロック地域

合同防災訓練

昭島市立武蔵野小学校

集 合 14時30分

主催 昭島市自治会連合会15ブロック

協力 昭島市立武蔵野小学校・昭島市役所・昭島市立武蔵野会館運営協議会

『平成 24 年度東京都地域の底力再生事業助成』対象事業

昭 文 自 治 会
中 神 団 地 自 治 会
バーデン自治会
日 の 出 自 治 会
ブルージング自治会
文 化 自 治 会
む さ し の 自 治 会
メ ゾ ン 自 治 会